

can-am®



2017

オペレーターズ
ガイド

本書には、安全性、車両および
メンテナンス情報に関する
内容が含まれています。



MAVERICK™ X3 シリーズ

警告

このガイドをよくお読みください。重要な安全情報が記載されています。
オペレーターの最少年齢: 18 才 (運転免許証を所有する者) このオペレーターズガイドは車両内に保管してください。

警告

運転には危険が伴います。十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

安全のため、このオペレーターズガイドおよび車両上のラベルに示されているすべての警告を読み、これらに従ってください。**これらの警告に従わない場合、重傷や死亡事故を招く恐れがあります。**

このオペレーターズガイドは、常に車両に保管してください。

警告

この「オペレーターズガイド」、「**安全に関する DVD (Safety DVD)**」、および製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項や指示を無視すると、死亡事故や重傷の原因となる場合があります。

警告

この車両は、運転経験のある他の車両の性能を超えている可能性があります。新しい車両に慣れるまで十分に時間をかけてください。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

警告

本製品は、米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害、または生殖毒性を引き起こすことが知られている化学製品を含んでいます。

カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) です。
米国内の製品代理店は BRP US Inc. です。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc. に帰属します。

Can-Am®

DPS™

ROTAX®

XPS™

D.E.S.S.™

Maverick™

X™

本書には以下の会社の商標が含まれています。

† Visco-Lok ist eine Marke der GKN Viscodrive GmbH.

† QS3 ist eine Marke der Fox Factory, Inc.

はじめに

| | |
|------------|---|
| Deutsch | Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com |
| English | This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com |
| Español | Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com |
| Français | Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com |
| 日本語 | このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguides.brp.com |
| Nederlands | Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com |
| Norsk | Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com |
| Português | Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com |
| Suomi | Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com |
| Svenska | Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com |

新しいCan-Am®サイドバイサイドビークルをご購入いただき、ありがとうございます。本製品は、BRPの限定保証および、お客様が必要とされる部品、アクセサリ、そしてサービスを用意しているCan-Amの認定ディーラーのネットワークによって支えられています。

納品時には、お客様に保証範囲をお知らせいたします。また、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために、お客様に納品前チェックリストにご署名いただいています。

各ディーラーとも、お客様が満足されるように努めています。全般的なサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

乗車前に確認すべきこと

ご自身や同乗者の事故のリスクを減らすために、このオペレーターズガイドを読んでから車両を運転してください。


また、車両に貼付されているすべての警告ラベルを読み、安全に関するビデオをご覧ください。

オペレーターズガイドの警告に従わないと、重傷や死亡事故につながる恐れがあります。

安全上の警告

本ガイドに記載されている安全に関する安全上の警告の種類、特徴および本ガイドでどのように使用されているかを以下に説明します。

警告記号⚠は、人が負傷する恐れがあることを示します。

 **警告**

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

⚠注意 指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示します。

📌注記 指示に従わなかった場合、車両の構成部品などに重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

このオペレーターズガイドは、この新しい車両の所有者／運転者／同乗者に運転、メンテナンス、および安全運転に関する指示事項をご理解いただくために作成したものであり、製品を正しく使用するためには欠かせないものです。

本オペレーターズガイドは車両内に保管し、メンテナンスやトラブルシューティングの際、また他の人に指導する際に参照してください。

本ガイドは、各言語に翻訳されています。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、ウェブサイト www.operatorsguides.brp.com にアクセスしてください。

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を持っています。その後の変更により、製造された製品と本ガイドに記載の説明または仕様との間に差異が生じる場合があります。BRPは何らの義務を負うことなく、いかなるときでも製品の仕様、設計、機能、型式、装置などを変更したり、製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドと安全に関するDVDを必ず車両内に入れておいてください。

目次

| | |
|-----------------------|---|
| はじめに..... | 1 |
| 乗車前に確認すべきこと..... | 1 |
| 安全上の警告..... | 1 |
| このオペレーターズガイドについて..... | 2 |

安全に関する情報

| | |
|------------------------|---|
| 一般的な注意..... | 8 |
| 一酸化炭素中毒の防止..... | 8 |
| ガソリンによる火事や危険などの防止..... | 8 |
| 高温部分による火傷の防止..... | 8 |
| アクセサリーおよび改造..... | 8 |

| | |
|---------------------------------|----|
| 安全運転 - 責任..... | 9 |
| 所有者 - 責任ある行動が必要です..... | 9 |
| オペレーター - 資格を持ち、責任ある行動が必要です..... | 9 |
| 慎重な運転..... | 10 |
| 乗員拘束システム..... | 10 |
| 地形条件..... | 10 |

| | |
|--------------------|----|
| 走行前点検..... | 12 |
| 走行前点検用チェックリスト..... | 12 |

| | |
|-----------------|----|
| 乗車準備..... | 15 |
| 乗車前に..... | 15 |
| 走行時の衣類・装備類..... | 15 |

| | |
|---------------|----|
| 事故の防止..... | 17 |
| 横転や転倒の防止..... | 17 |
| 衝突の回避..... | 18 |

| | |
|----------------|----|
| 車両の走行..... | 19 |
| 練習の実施..... | 19 |
| オフロードでの運転..... | 20 |
| 一般的な運転技術..... | 20 |

| | |
|------------------|----|
| 荷物の運搬と作業の実施..... | 25 |
| 車両を使用した作業..... | 25 |
| 荷物の運搬..... | 25 |

| | |
|-------------------|----|
| 製品上にある重要なラベル..... | 28 |
| ハングタグ..... | 28 |
| 警告ラベル..... | 28 |
| 適合ラベル..... | 36 |
| 技術情報ラベル..... | 37 |

車両についての情報

| | |
|--------------------|----|
| 基本操作部..... | 40 |
| 1) ステアリングホイール..... | 40 |
| 2) アクセルペダル..... | 40 |
| 3) ブレーキペダル..... | 41 |
| 4) シフトレバー..... | 41 |

| | |
|--|----|
| 二次コントロール..... | 43 |
| 1) RF D.E.S.S キーおよび RF D.E.S.S. ポスト..... | 43 |
| 2) エンジンのスタート/ストップボタン..... | 44 |
| 3) ロー/ハイビームヘッドライトスイッチ..... | 44 |
| 4) 2WD/4WD スイッチ..... | 44 |
| 5) スポーツ/ECO モードスイッチ..... | 45 |

| | |
|---------------------------------|-----------|
| 6) オーバーライドスイッチ..... | 45 |
| 7) DPS スイッチ..... | 46 |
| 多機能ゲージ (アナログ/デジタル) | 47 |
| 多機能ゲージの説明..... | 47 |
| ゲージの設定..... | 51 |
| 装備..... | 52 |
| 1) チルトステアリング..... | 53 |
| 2) カップホルダー..... | 53 |
| 3) 同乗者用ハンドグリップ..... | 54 |
| 4) グローブボックス..... | 54 |
| 5) 工具キット..... | 54 |
| 6) フットレスト..... | 54 |
| 7) ドア..... | 55 |
| 8) シートベルト..... | 55 |
| 9) 運転席..... | 56 |
| 10) 助手席..... | 58 |
| 11) 燃料タンクキャップ..... | 58 |
| 12) カーゴラック..... | 59 |
| 13) リカバリーフック..... | 59 |
| 14) ホイールスクレーパー..... | 59 |
| 15) 12 ボルト電源出力..... | 60 |
| 16) センターミラー..... | 60 |
| 乗り心地の調整..... | 61 |
| サスペンションの調整ガイドライン..... | 61 |
| サスペンションの工場設定..... | 62 |
| サスペンション調整..... | 63 |
| DPS 機能..... | 66 |
| 燃料..... | 67 |
| 燃料に関する要件..... | 67 |
| 車両への給油手順..... | 67 |
| ガソリン容器への給油..... | 68 |
| 慣らし運転期間..... | 69 |
| 慣らし運転中の運転..... | 69 |
| 基本手順..... | 70 |
| エンジンの始動..... | 70 |
| 電装システムの起動..... | 70 |
| トランスミッションのシフト..... | 70 |
| 適切なレンジ (ローまたはハイ) の選択..... | 70 |
| エンジンの停止と車両の駐車..... | 71 |
| ドライブベルトの耐久性を最大限にするためのアドバイス..... | 71 |
| 特殊手順..... | 73 |
| CVT に水が混入した場合の対処..... | 73 |
| バッテリーがあがった場合の対処..... | 73 |
| 車両が横転したときの対処..... | 73 |
| 車両が水に沈んだ場合の対処..... | 73 |
| 車両の移送..... | 74 |
| 車両の持ち上げおよび支持..... | 75 |
| 車両フロント部..... | 75 |
| 車両リア部..... | 75 |

メンテナンス

| | |
|----------------------|-----|
| メンテナンススケジュール..... | 78 |
| 粉塵が非常に多い条件..... | 78 |
| メンテナンススケジュールの例..... | 78 |
| メンテナンススケジュール..... | 79 |
| メンテナンスの手順..... | 82 |
| エンジンエアフィルター..... | 82 |
| フロントグリルキット..... | 83 |
| CVT エアフィルター..... | 83 |
| エンジンオイル..... | 84 |
| オイルフィルター..... | 86 |
| ラジエーター..... | 87 |
| エンジン冷却水..... | 87 |
| マフラスパークアレスター..... | 90 |
| ギアボックスオイル..... | 90 |
| スパークプラグ..... | 92 |
| CVTカバー..... | 94 |
| ドライブベルト..... | 95 |
| ドライブおよびドリブンプーリー..... | 96 |
| バッテリー..... | 96 |
| ヒューズ..... | 97 |
| ライト..... | 98 |
| ドライブシャフトブーツ..... | 99 |
| ホイールベアリング..... | 99 |
| ホイールおよびタイヤ..... | 99 |
| サスペンション..... | 102 |
| ブレーキ..... | 104 |
| シートベルト..... | 104 |
| 車両のお手入れ..... | 105 |
| 使用後のお手入れ..... | 105 |
| 車両の清掃と保護..... | 105 |
| 保管およびシーズン前の準備..... | 106 |

技術情報

| | |
|--|-----|
| 車両の識別..... | 108 |
| 車両識別番号..... | 108 |
| エンジン識別番号..... | 108 |
| 無線周波数デジタルコード化セキュリティシステム (RF D.E.S.S.キー)..... | 108 |
| 騒音放射制御システムの規制..... | 109 |
| EC 適合宣言書..... | 110 |
| 仕様..... | 111 |

トラブルシューティング

| | |
|------------------------|-----|
| トラブルシューティングガイドライン..... | 124 |
| 多機能ゲージのメッセージ..... | 128 |

保証

BRP 限定保証（米国およびカナダ）：2017 CAN-AM® SSV.....132
米国 EPA 排出ガス関連保証.....135
BRP 国際限定保証：2017 CAN-AM® SSV.....137
欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証：2017 CAN-AM® SSV.....140

顧客情報

個人情報.....146
お客様窓口.....147
 北米.....147
 ヨーロッパ.....147
 オセアニア.....147
 南米.....147
 アジア.....148
住所と所有権の変更.....149

安全に関する情報

一般的な注意

一酸化炭素中毒の防止

どのエンジンの排気ガスにも、致命的なガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸うと、頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱を招き、場合によっては死に至ることがあります。

一酸化炭素は、エンジンの排気ガスを見たりその匂いを感じないとしても、存在する恐れがある、無色、無臭、無味、無味なガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に達することがあり、急速にその影響を受けて、自身を守ることができなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間から数日に長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ新鮮な空気を吸い、医師にご相談ください。

一酸化炭素による重傷や死亡を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い場所、または部分的に閉じられた場所で車両を絶対に運転しないでください。扇風機を使ったり窓やドアを開けてエンジンの排気ガスを換気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに早く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口部からエンジンの排気ガスが建物に入る恐れがある場所では、絶対に屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や危険なものの防止

ガソリンは可燃性が極めて高く、爆発性する可能性が高いものです。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を減らすために、以下の指示に従ってください：

- 燃料の保管には、許可されたガソリン容器だけを使用してください。
- 絶対に車両上でガソリン容器にガソリンを補充しないでください。静電気の放電により燃料に着火する恐れがあります。

- ガソリン容器や液体危険物は、この車両用に設計されたり承認されたものでない限り、絶対にカーゴラックに置いて運搬しないでください。
- 「給油手順」の指示内容を厳守してください。
- 燃料キャップが正しく取り付けられていない状態では、絶対にエンジンを始動したり運転したりしないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 絶対に、口でガソリンを吸い上げないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、ガソリンが目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹸と水で洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の防止

運転中に、特定のコンポーネントが高温になる場合があります。火傷を防止するために、運転中や運転直後はこれらにコンポーネントに触らないでください。

アクセサリおよび改造

承認を受けていない改造や、BRPが認定していないアタッチメントや用品の使用は避けてください。これらの改造は、BRPによる試験を受けていないため、衝突事故や人身事故の危険性を高め、車両が違法になる場合があります。例えば、別のタイヤを装着するなどの改造は、車両のハンドリングに影響を及ぼして衝突の危険性を高めま

す。車両で使用できるアクセサリについては、認定 Can-Am ディーラーにご相談ください。

安全運転 - 責任

本製品は、高い性能を持つオフロード車両です。オペレーターは責任を持ち、横転、転倒、衝突などの事故を防止するために注意する必要があります。車両の安全装置（保護構造、シートベルト、ドアなど）や保護具（ヘルメットなど）があっても、これらの事故で負傷したり、死亡する危険性は常にあります。重傷や死亡事故の危険を減らすため、このセクションの規定に従ってください。

所有者 - 責任ある行動が必要です

このオペレーターズガイドを読み、安全に関するビデオをご覧ください。

必ず車両の安全な動作状態を点検、確認してから走行してください。このオペレーターズガイドに記載のメンテナンススケジュールに必ず従ってください。

責任があり、高性能車両を任せることができる人以外には、絶対に車両を運転させないでください。車両使用者について、初心者や若いオペレーターを監督したり、ルールや制限（同乗者を監禁することができるかどうか、車両に乗って行ってよいこと、走行してよい場所など）を設けたりすることも考慮してください。

オペレーターの経験、車両の用途および環境に基づいて、適切なキー（RF D.E.S.S キーおよびRF D.E.S.S. ポスト）を選択してください。

車両を使用する予定の人に、安全に関する情報を伝えてください。すべてのオペレーターおよび同乗者が要件を満足し、安全情報に従うことに同意していることを確認してください。ユーザーを補助して、車両を熟知してもらうようにしてください。

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については最寄りのディーラーまでご連絡ください。可能な限り、認定BRPディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお願いいたします。認定BRPディーラーで定期的に保守を受けていただければ、安全に関するサービスキャンペーンなどをいち早くお伝えすることができます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早く認定BRPディーラーにお問い合わせいただくようお願いいたします。

オペレーター - 資格を持ち、責任ある行動が必要です

このオペレーターズガイドを読み、安全に関するビデオをご覧ください。

運転操作や車両の一般的な動きを完全に熟知してください。

これまでに運転経験のある他のオフハイウェイ車両（OHV）の性能を上回っている可能性があります。この OHV についてよく理解してください。これは高い性能を持つ車両です。経験の浅いオペレーターはリスクを見落とし、さまざまな地形条件で見られるこの車両固有の動作に驚く可能性があります。

利用できる場合はトレーニングコースを受講し（トレーニングコースが利用できるかどうかについては、認定Can-Am ディーラーに問い合わせるか、<http://www.rohva.org/> でご確認ください）、**「練習の実施」**のセクションにある実地練習を行ってください。危険がなく各操作の応答を感じることができると適切な場所で、運転の練習を行ってください。練習は低速で行います。高速での走行は、十分な経験、知識、および適した走行条件が必要となります。

最少年齢は 16 才とします。

正しく着座できるだけの身長が必要です：シートベルトを締めた状態で背中がバックレストにもたれ、両手でステアリングホイールを持ち、ブレーキとアクセルペダルの全ストローク範囲に右足が届き、左足をフットレストにしっかり置くことができなければなりません。

地域の法令に従って、該当の運転免許証を所有していなければなりません。

薬やアルコール類を摂取した状態や、疲れていたり体調が悪いときは絶対にこの車両を使用しないでください。こうした状態では、応答が遅くなったり判断力が低下します。

同乗者の運搬

1 名だけを同乗させることができます。同乗者はコックピット内で正しく着座する必要があります。

同乗者は、常に正しく着座できるだけの身長が必要です：シートベルトを締めた状態で背中がバックレストにもたれ、両手でハンドグリップを持ち、右

足はフットレストに、左足を車両のフロアにしっかり置くことができなければなりません。

薬やアルコール類を摂取した状態や、疲れや体調の悪さを感じる人を絶対に乗せしないでください。こうした状態では、応答が遅くなったり判断力が低下します。

同乗者に車両の警告ラベルを読むように指導してください。

地形の状況を把握してそれに順応することに集中できる能力や判断力が同乗者に十分備わっていない場合は、絶対にその人を乗せしないでください。サイドバイサイドピークルの場合は特に、同乗者は目の前の地形に常に注意を払い、飛び跳ねる動きに対応できなければなりません。

慎重な運転

- この車両は、他の車両と異なる動きをします。十分な注意を払わないと、急旋回、急加減速などの急な操作、斜面や障害物上での走行の際に、衝突や横転を引き起こしやすくなります。
- 過剰な速度で運転しないでください。必ず地形、視認性、運転条件、およびご自分の経験に適した速度で走行してください。
- 絶対にジャンプ、横滑り、ドーナツターンなどのスタント操作をしないでください。
- 急旋回中は、絶対に急加速または急減速を行わないでください。急加速または急減速により横転する場合があります。
- 絶対にスリップや横滑りをしようとししないでください。車両がスリップまたは横滑りし始めた場合は、スリップまたは横滑りの方向に対してカウンターステアを当ててください。氷など極度に滑りやすい路面ではゆっくり進み、制御不能なスリップの発生を抑えるために十分に気を付けてください。
- 後進するときは、車両後ろ側に障害物や人がいないことを必ず確認してください。死角に注意してください。後進しても安全なときは、ゆっくり進んでください。

- この車両に表示されている最大積載量を絶対に超えないようにしてください。速度を下げて十分な制動距離を取り、「荷物の運搬と作業の実施」のサブセクションにある指示に従ってください。
- この車両が重いことを忘れないでください。車両が転倒または横転すると、その正味重量だけでもオペレーターが脱出できなくなる場合があります。

乗員拘束システム

- この車両は、オペレーター 1 人、同乗者 1 人 1 を乗せ、両者が保護具（このセクションの「走行時の衣類・装備類」を参照）を着用することを前提に設計されています。
- オペレーターと同乗者は、走行中に常にドアをロックして、シートベルトを着用しなければなりません。

地形条件

- この車両は、舗装面を走行するように設計されていません。車両を舗装面で短時間だけ使用しなければならぬ場合は、ステアリングホイール、アクセルペダルおよびブレーキペダルの急な操作を避けてください。
- 必ずゆっくり走行し、不慣れな地形上を運転するときは十分注意してください。この車両を運転するときは、地形条件の変化を見逃さないように必ず注意してください。時間を取って、さまざまな環境において車両がどのように動くかを学習してください。
- 極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地でこの車両を運転する場合、そのような土地での操作に必要なスキルを学び、練習するまでは絶対に運転しないでください。そのような種類の土地では、特に注意を払ってください。
- 車両やオペレーターにとって勾配が急すぎる斜面では、絶対にこの車両を運転しないでください。緩やかな傾斜地で練習してください。

- 「車両の走行」のサブセクションで説明されているように、斜面の上り下りに関する正しい手順に必ず従ってください。斜面を上るまたは下る前に、地形をよく確認してください。表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は、絶対に上ったり下ったりしないでください。傾斜地の頂上を高速で走り抜けないでください。
- トレーラーをけん引するときは（ヒッチが装備されている場合）、絶対に険しい斜面の上り下りや斜面の横断はしないでください。
- 新しい土地で運転する前に、障害物がないか必ず確認してください。障害物上を運転するときは、「車両の走行」のサブセクションで説明されている正しい手順に必ず従ってください。
- 「車両の走行」のサブセクションの規定よりも速く流れている水や水深が深い場所では、絶対にこの車両を運転しないでください。ブレーキが濡れている場合は制動力が低下することを忘れないでください。水から出た後はブレーキのテストを行ってください。必要に応じて、ブレーキを数回かけてブレーキを乾燥させます。
- 車両は、地形の中で利用できる最も平らな場所に正しく駐車するようにしてください。シフトレバーはパーキングに入れ、エンジンを停止し、キーを抜いてから車両を離れます。
- 車両はどこでも安全に走行すると思いつまさないでください。穴、くぼみ、バンク、柔らかいまたは硬い「地面」などの不規則性による突然の地形の変化によって、車両が転倒したり不安定になる場合があります。このような状況を避けるために、速度を下げて必ず前方の地形を確認してください。車両が転倒や横転を始めた場合、直ちに横転する方向に操舵するのが最善の方法です。絶対に手や足で横転を防止しようとししないでください。手足をケージの内側から外に出さないようにしてください。

走行前点検

必ず車両の安全な動作状態を点検、確認してから走行してください。このオペレーターズガイドに記載のメンテナンススケジュールに必ず従ってください。



走行前に、必ず走行前点検を実施し、運転中に発生する恐れのある問題を発見します。乗車前の点検により、問題になる前にコンポーネントの摩耗や劣化を確認できます。発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減してください。

この車両を使用する前に、オペレーターは下記の走行前点検用チェックリストを使用して必ず点検を行ってください。

詳細は、「メンテナンス手順」を参照してください。

走行前点検用チェックリスト

エンジン始動前にすべきこと（キーはオフの状態）

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ | |
|---------|---|---|--|
| タイヤ | タイヤの空気圧と状態を確認します。 | | |
| | 71.12 cm | | - フロント：152 kPa 以上、積載時159 kPa - リア：152 kPa 以上、積載時207 kPa |
| | 73.66 cm | | - フロント：131 kPa 以上、積載時138 kPa - リア：138 kPa 以上、積載時186 kPa |
| | 76.20 cm | | - フロント：117 kPa 以上、積載時124 kPa - リア：165 kPa 以上、積載時214 kPa |
| ホイール | 損傷や異常な遊びがないかホイールを点検し、ラグナットとビードロック（装備されている場合）が締め付けられているか確認します。 | | |
| ラジエーター | ラジエーターが汚れていないか点検します。 | | |
| フロントグリル | フロントグリルキットが汚れていないか点検します。 | | |
| エンジンオイル | エンジンオイルのレベルを点検します。 | | |
| 冷却水 | 冷却水レベルの点検します。 | | |
| ブレーキオイル | ブレーキオイルレベルを点検します。 | | |

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|----------------|--|---|
| エンジンエアフィルター | エンジンエアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。 | |
| エアボックス | エアボックスを点検し、（粉塵の多い環境や砂地を走行するときは）必要に応じて清掃します。 | |
| CVT エアフィルター | CVTエアフィルターを点検し、清掃します（粉塵の多い環境を走行するとき）。 | |
| ドライブシャフトブーツ | ドライブシャフトブーツの状態を点検します。 | |
| 荷物および積載量 | 荷物の積載量： 荷物を運搬するときは、最大積載量（90 kg）を順守してください。 車両総重量： 車両総重量（オペレーター、同乗者、荷物、（ヒッチにかかる）垂直荷重、および付属のアクセサリーを含む）が286 kgを超えないようにしてください。 | |
| | トレーラーやその他の装置をけん引する場合（ヒッチが装備されている場合）： <ul style="list-style-type: none"> - ヒッチおよびトレーラーボールの状態を点検します。 - （ヒッチにかかる）垂直荷重やけん引荷重を順守してください。 - トレーラーがヒッチに正しく固定されていることを確認します。 | |
| リアカーゴラック | ラック上の荷物が正しく固定されているか点検します。 | |
| シャーシおよびサスペンション | シャーシやサスペンションのコンポーネント（アッパーおよびロアアーム、ホイール、ショックアブソーバー、スプリング）に異物などが付いていないか車両下部を点検し、コンポーネントを正しい手順で清掃します。 | |

エンジン始動前にすべきこと（キーはオンの状態）

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|------|---|---|
| ゲージ | ゲージ内のインジケータランプの動作を点検します（D.E.S.S. キーがオンで、スタート/ストップボタンを軽く押します）。 | |
| | ゲージ内にメッセージがないか確認します。 | |

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|-----------------|---|---|
| ライト | ヘッドライトとテールライトの動作および汚れが付着していないか点検します。 | |
| | ハイビームとロービームの動作を点検します。 | |
| | ブレーキライトの動作を点検します。 | |
| シート、ドアおよびシートベルト | シートの調整具合を点検し、走行前にロック装置が正常に係合していることを確認します。 | |
| | ドアに損傷がないか点検します。損傷が見つかった場合はドアを交換してください。 両方のドアを閉めて、ラッチがしっかりかかっていることを確認します。 | |
| | シートベルトに損傷がないか点検します（リトラクター、バックルおよびロックグタブを含む）。シートベルトを締め、シートベルトがしっかり固定された状態で体に対して締まっていることを確認します。 | |
| アクセルペダル | アクセルペダルを数回踏んで、アクセルペダルが支障なく動作し、放したときに静止位置に戻ることを確認します。 | |
| ブレーキペダル | ブレーキペダルを踏んで、強い抵抗を感じ、放したときに静止位置に完全に戻ることを確認します。 | |
| 燃料レベル | 燃料レベルを確認します。 | |

エンジン始動後にすべきこと

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|-----------------|--|---|
| ステアリング | ステアリングホイールを左右にいっぱいまで回し、支障なく動作することを確認します。 | |
| RF D.E.S.S. ポスト | D.E.S.S. キーを D.E.S.S. ポストから引いて、D.E.S.S. ポストが正常に動作していることを確認します。 | |
| シフトレバー | シフトレバー（P、R、N、HおよびL）の動作を確認します。 | |
| 2WD/4WD セレクター | 2WD/4WD セレクターの動作を確認します。 | |
| ブレーキ | 数フィートゆっくりと前進させて、ブレーキをかけます。かけたときに、ブレーキペダルに抵抗感が感じられなければなりません。ペダルを放したとき、ペダルは静止位置に戻らなければなりません。オペレーターの入力操作に対して、ブレーキが十分応答しなければなりません。 | |

乗車準備

乗車前に

走行前点検を行って、車両の安全動作状態を確認してください。「走行前点検」のサブセクションを参照してください。

オペレーターおよび同乗者は、

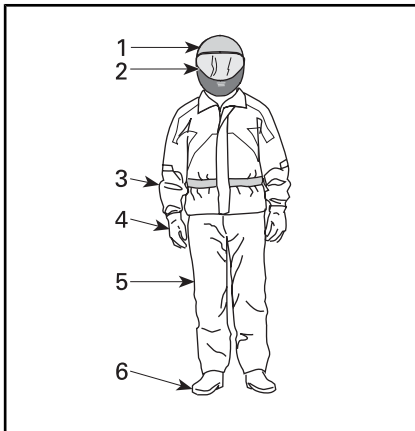
- 正しく着座する必要があります。
- 両方のドアを開けてシートベルトを締める必要があります。
- 適切な走行時の衣類・装備類を着用してください。（下記「走行時の衣類・装備類」のサブセクションを参照してください。）

走行時の衣類・装備類

オペレーターおよび同乗者が、下記のものを含む防護服や保護具を必ず着用することが重要です。

- 使用が認められたヘルメット
- 保護メガネ
- ブーツ
- グローブ
- 長袖シャツまたはジャケット
- ロングパンツ

条件によっては、曇り止めゴーグルが必要になる場合があります。



走行時の衣類・装備類

1. 使用が認められたヘルメット
2. 保護メガネおよび顔用保護具
3. 長袖シャツまたはジャケット
4. グローブ
5. ロングパンツ
6. ブーツ（足首をカバーする靴）

天候条件は、服装を決めるとききの助けとなります。冬場に快適性を最大限して霜焼けにならないようにするには、考えられる最も寒い天候に応じた衣類を着用してください。肌の上に防寒用下着を着用すると、断熱性が高くなります。

車両に巻き込まれたり、木の枝や背の低い木々に引っ掛かる恐れのあるだぶついた服を着用しないでください。

ヘルメットおよび保護メガネ

ヘルメットは頭および脳をけがから守ります。車両にケージやドアがあっても、物がコックピットに入って頭に当たったり、頭がケージ自体や車外の物にぶつかったりする場合があります。最高のヘルメットを使ってもけがを100%防止できるわけではありませんが、統計によると、ヘルメットの使用は脳損傷のリスクを大幅に減少します。そのため、走行中は必ず安全運転を心がけて、ヘルメットを着用してください。

ヘルメットの選び方

ヘルメットは、居住している州、行政区または国の基準を満足するように製造されたもので、正しく着用できるのでなくてはなりません。

顔用保護具が付いたヘルメットは、正面の衝撃からも保護するため、より良い選択となります。また、異物、石、虫などから身を守ってくれます。

オープンフェイスヘルメットは、顔やあごに対する同様の保護機能がありません。オープンフェイスヘルメットを着用する場合、取り付け可能なフェイスシールドまたはゴーグルを使用する必要があります。普通の眼鏡やサングラスは、オペレーターにとっての十分な目の保護具にはなりません。それらは、割れたり外れたりするため、目を風や空気中の異物から保護しません。

冬場の走行条件では、ニット帽、目出し帽、フェイスマスクを必ず携帯または着用してください。

色付きのフェイスシールドまたはゴーグルは昼中しか使用しないでください。夜や照明が十分ではない場所で使用しないでください。色を見分ける能力が損なわれる場合は、使用しないでください。

走行時のその他の衣類・装備類

靴

必ずつま先が保護された靴を履いてください。滑り止めソールが付いた足首を覆う丈夫なブーツはより高い保護機能を発揮し、足をフットレストに正しく置くことができます。

アクセルやブレーキペダルに絡む恐れのある長い靴紐の使用は避けてください。

冬場の走行条件では、ナイロン製またはレザー製のアッパー、そして取り外し式のフェルトライナーが付いたゴム底ブーツが最も適しています。

ラバーブーツの使用は避けてください。ラバーブーツは、ペダルの裏側やペダルの間に挟まって、ブレーキおよびアクセルペダルの正常動作が損なわれる恐れがあります。

グローブ

頑丈なグローブは手を風、太陽、熱、寒さおよび飛んでくる異物から守ります。手にびったり合うグローブは、ステアリングハンドルのグリップ感を向上させ、手を疲れにくくさせます。強化された丈夫なモーターサイクルまたはATV用のグローブは、事故や横転した場合の手の保護に大いに役立ちます。グローブが分厚すぎる場合、コントロールしづらくなります。

冬場の走行条件では、十分な断熱効果のあるスノーモーターバイク用グローブで手を保護し、親指と他の指がコントローラ類を操作できるようにしておいてください。

ジャケット、パンツおよびライディングスーツ

ジャケットまたは長袖シャツ、およびロングパンツ、またはライディング用のつなぎを着用してください。質の高いATVタイプの保護具は快適さを提供し、不快な環境的要素による影響を受けないようにします。衝突事故の場合、頑丈な素材でできた高質の保護具は損傷を防いだり、軽減します。

涼しい天候では、低体温にならないように気をつけてください。低体温では、体の温度が低くなりすぎると集中力の低下、体の遅い反応、そしてスムーズで適格な筋肉の動きの損失を招きかねません。涼しい天候では、防風ジャケットおよび絶縁的衣類などの適切な保護具が不可欠です。適度な温度

でも、走行中に発生する風によってとても寒くなります。

涼しい天候に適切な保護具は停止中だと暑く感じるはずですが、後で脱げるように重ね着してください。防風のアウターを保護具の上に重ね着することで冷たい空気が皮膚に届くのを防ぐことができます。

雨具

雨天時に運転する必要がある場合、レインスーツまたは防水ライディングスーツの使用を推奨します。長時間の走行では、雨具を持参するよう推奨します。濡れていなければ、オペレーターはより快適であり注意力が低下することもありません。

聴覚保護具

走行中に長い間、風やエンジン音に晒されていると、永久的な難聴を引き起こす可能性があります。耳栓など、正しく着用された聴覚保護具は難聴の防止に役立ちます。聴覚保護具を使用する場合は、使用する前に地域の法令をお確かめください。

事故の防止

横転や転倒の防止

サイドバイサイドビークルは、他の車両と異なる動きをします。サイドバイサイドビークルは、（ホイールベースやトラック幅、地上高、サスペンション、ドライブトレイン、タイヤなどが）オフロード地形に対応するように設計されています。そのため、主に舗装道やスムーズな地形で使用するために設計されている車両であれば転覆しない状況で、サイドバイサイドビークルが転覆する可能性があります。

転回時の急旋回、急加減速などの急な操作、または斜面や障害物上での走行の際に、横転などの事故が起きやすくなります。突然の操作や攻撃的な走行は、平坦で障害物のない場所であっても、横転したり、コントロールを失う原因となることがあります。車両が横転した場合、コックピットの外にある体の一部（腕、足、頭など）が押しつぶされたり、ケージや車両の他の部品に挟まれたりする可能性があります。また、地面、コックピット、または他の物体などによる衝撃で負傷する可能性もあります。

横転のリスクを減らすために：

- 転回時には注意してください。
 - 速度や環境に対してステアリングホイールを大きく回しすぎたり、速く回しすぎたりしないでください。速度や環境に合わせてステアリングの入力操作を調整してください。
 - カーブにさしかかったら速度を下げてください。曲がっているときは、急ブレーキをかけないでください。
 - 曲がっているときは、たとえ停止した状態からであっても急加速しないでください。

- ドーナツターン、スリップ、横滑り、フィッシュテール、ジャンプなどのスタント操作を行わないでください。車両がスリップまたは横滑りし始めた場合は、スリップまたは横滑りの方向に操舵してください。ブレーキを強くかけないでください。ホイールがロックします。
- 舗装面は避けてください。この車両は舗装面を走行するように設計されていないため、舗装面では横転する恐れがあります。舗装面で走行しなければならない場合は、ゆっくり曲がり、低速で進み、急加速や急ブレーキを避けてください。

この車両は、斜面や凹凸のある地形では横方向に横転したり、前後方向に転倒したりすることがあります。

- 斜面の横断（傾斜の上り下りではなく、スロープを横切る走行）は避けてください。可能な場合は、傾斜を横切るのではなく、傾斜を真っ直ぐ上るか下るようにしてください。傾斜を横切る必要がある場合は十分な注意を払い、滑りやすい面、障害物、くぼみを避けてください。車両が横転または横滑りし始めたと感じた場合、可能であれば斜面を下る方に操舵してください。
- 険しい斜面を避けて、このガイドにある斜面の上り下りに関する手順に従ってください。
- 穴、くぼみ、バンク、柔らかいまたは硬い地面などの不規則性による突然の地形の変化によって、車両が転倒したり不安定になる場合があります。目の前の地形を確認し、凹凸のある場所では速度を下げてください。

この車両は、荷物を運搬したりけん引しているときに異なる挙動を示します。

- 速度を下げて、このマニュアルにある荷物の運搬やトレーラーのけん引に関する指示に従ってください。
- 斜面や粗い地形を避けてください。
- 十分な停止距離を確保してください。

横転への備え

- 両方のドアを閉めてシートベルトを締め、手や足が外に出ないようにします。
- 走行中はケージにつかまらないでください。横転時に手がケージと地面の間で押しつぶされる可能性があります。手は、ステアリングホイールかハンドグリップを握るようにしてください。
- 絶対に腕や脚で横転を防止しようとしないでください。車両が転倒または横転する恐れがあると考えた場合、オペレーターは両手でステアリングホイールを握り、左足をフットレストに置いて踏ん張るようにしてください。同乗者は、両手でハンドグリップを握り、両足をフロアに置いて踏ん張るようにしてください。

衝突の回避

この車両は高速に達します。高速時は、特に過酷なオフロード条件において、制御不能に陥ったり衝突時に負傷するリスクが高くなります。過剰な速度で運転しないでください。必ず地形、視認性、運転条件、およびご自分の経験に適した速度で走行してください。フルスピードやフル加速能力が妥当と思われる状況において、パフォーマンスキーの使用を控えることを検討してください。

ダートや砂利がある場合でも、この車両を公道、一般道または高速道路上では絶対に運転しないでください。一般道や高速道路でのこの車両の運転は、他の車両との衝突を引き起こす場合があります。この車両は、一般道で走行するように設計されていません。例えば、この車両は、自動車に適用される車両安全規格を満足していません。多くの法的管轄区域において、この車両を公道で運転することは合法ではありません。

この車両には、乗用車と同じ類の衝突保護装置がありません。例えばエアバッグはなく、コックピットは完全に密閉された状態ではなく、他の車両との衝突を考慮した設計になっていません。そのため、シートベルトを締めてドアを閉じ、使用が認められたヘルメットを着用することが特に重要になります。

車両の走行

練習の実施

走行に出かける前に、管理された環境下で練習することで車両の扱いに慣れることが大変重要です。可能であれば、正式なトレーニングコースを受講してスキルを磨き、車両に関する知識を向上させることも大変良いことです。

練習を行うのに適している場所を見つけ、下記の練習を行ってください。練習場所は、45 m x 45 m 以上で木や岩などの障害物がない所としてください。適した場所を選んで許可を得た後、下記の練習を進めます。

転回の練習

転回は、事故の最もよくある原因の1つです。急に曲がったり速度を出しすぎた場合、車両はトラクションを失ったり横転したりしやすくなります。カーブに差ししかかったら速度を下げてください。

- まず、かなり遅い速度で若干右に曲がる方法を学びます。曲がる前にアクセルペダルを放し、曲がるときにゆっくりとアクセルを再び踏みます。
- 曲がる練習を繰り返しますが、今度は曲がっている間にアクセルのレベルを維持してみましょう。
- 最後に、ゆっくり加速しながら曲がる練習を繰り返します。
- 反対側に曲がる練習を行います。

これらの各練習の中で、車両がどのように応答するかに注意してください。カーブに入る前にアクセルペダルを放し、方向転換を始めやすくするように推奨します。速度およびステアリングの入力操作により、横方向の力が増加するのを感じるようになります。横方向の力をできるだけ低く保ち、横方向の力で車両が横転しないようにする必要があります。

Uターンの練習

Uターンの練習を行います。

- ゆっくり加速して、低速を維持しながらステアリングホイールを徐々に右に回し、Uターンを完了するまでこれを続けます。

- ステアリングの入力操作を変えてUターンの練習を繰り返します。必ず低速で行ってください。
- 反対側にUターンする練習を繰り返します。

このガイドで前述したとおり、車両を舗装道の上で走行させないでください。車両の挙動が異なるため、横転するリスクが増えます。

ブレーキの練習

ブレーキの練習を行って、ブレーキの応答に慣れるようにします。

- 最初は低速で練習してから、速度を上げていきます。
- 直線のコースでさまざまな速度で走り、さまざまな制動力をかけることで、ブレーキの練習を行います。
- 非常ブレーキの練習を行います。最適なブレーキは、直線コースにおいて、高い力をかけてホイールがロックしない状態のときに得られます。

制動距離は車速、負荷、および路面のタイプによって異なることを忘れないでください。また、タイヤおよびブレーキの状態は重要な役割を果たします。

後進の練習

次の段階では後進を使います。

- 車両の両側、リアタイヤの後方に、コーンマーカーを1個置きます。コーンマーカーが見えるまで車両を前進させ、その後車両を停止します。自分の後ろにある障害物を確認するために必要な距離を確認します。
- 後進時に車両自体がどのように動き、ステアリングの入力操作でどのように応答するかを学びます。
- この後進の練習は、必ず低速で行ってください。
- オーバーライド機能の使用に慣れるようにしてください。オーバーライド機能を使用している間は、横転するリスクが高くなるため舵舵しないでください。

非常時のエンジン停止の練習

非常時にエンジンを直ちに停止する方法を学びます。

- 低速で走行しながら、D.E.S.S. ポストから RF D.E.S.S. キーを単純に抜いてください。

これは、走行中にエンジンが停止したときの車両の応答に慣れ、この応答に対処するための練習です。

オフロードでの運転

オフロードでの運転特性は危険なものです。車両走行のために特に整備されていない地形には、地面を構成する物質、形状、険しさが予測できない内在的な危険が存在します。地形自体が連続する危険な要素を呈しており、この地形を走破しようとするオペレーターは、このことを承知の上で受け入れなければなりません。

車両をオフロードで走らせるオペレーターは、最も安全な経路を選択し目の前の地形から目を離さないよう、常に最大限の注意を払う必要があります。この車両に適用される走行時の指示に十分慣れていない人にこの車両を運転させたり、険しく不安定な地形で運転するのは絶対に止めてください。

一般的な運転技術

通常運転時のアドバイス

配慮、注意、経験および運転技術は、車両を運転する際の危険に対する最も良い予防策となります。

障害物や一部の地形に車両が安全に対処できることにわずかも疑いがあるときは、必ず別のルートを選択してください。

オフロード運転では、速度ではなく、パワーとトラクションが重要になります。視認性やご自身の能力に見合わない速い速度での運転はせず、取り得る安全なルートを選択してください。必ずゆっくり走行し、不慣れた地形上を運転するときは十分注意してください。この車両を運転するときは、地形条件の変化を見逃さないように必ず注意してください。極度に粗く、滑りやすく、凍結したり緩んだ地形では十分に注意してください。

傾斜、そして岩や切り株などの障害物に突然の変化がないか、目の前の地形を常に確認してください。これらのも

のにより安定性を損ない、転倒や横転を引き起こす可能性があります。

操作装置類が正常に機能しない場合は、絶対に車両を運転しないでください。認定 Can-Am デイラーにお問い合わせください。

正常な操作を維持するため、両手をステアリングホイールに置き、すべての操作装置類に簡単に手が届くようにしておくよう強く推奨します。これは、足についても言えることです。足が負傷する可能性を最小限にするため、常に左足はフットレストに、右足はフロアに置くようにしてください。体を完全にコックピット内に収めておくことは、車外の物にぶつかるのを防ぐ助けとなります。

コックピット内に入って自分自身や同乗者に当たる可能性がある枝や他の物を確認し、避けるようにしてください。


後進走行

後進走行の際は、車両後ろ側の経路に人や障害物がないことを確認してください。死角に注意してください。後進しても安全であることが確認できたら、ゆっくり進みます。急に曲がらないようにしてください。


警告

後進時のステアリングの入力操作は、横転するリスクを高めます。

注：後進時はエンジン回転数が制限されるため、車両の後進速度も制限されます。


警告

下り坂を後進するときは、重力により、設定されている後進速度よりも車速が上昇します。

道路の横断

道路を横断しなければならない場合は、両側をよく見て接近して来る人や車などがいないか確認し、道路の向こう側にある到達位置を決めます。その位置に向かって真っ直ぐ走行してください。急な針路の変更や急加速はしないでください。横転する状況を引き起こす場合があります。歩道や自転車用レーンは人や自転車用に特別に指定さ

れたものであるため、それらの上を走行しないで行ってください。

舗装面での走行

舗装面は避けてください。この車両は舗装面を走行するように設計されていないため、舗装面では横転する恐れがあります。舗装面で走行しなければならぬ場合は、ゆっくり曲がり、低速で進み、急加速や急ブレーキを避けてください。

水たまりの横断

水たまりは独特の危険物となり得ます。水たまりが深すぎると、車両が「浮いて」転覆する場合があります。水たまりを横切ろうとする前に、水深や流れを確認してください。車両が障害物を安全に乗り越えるには、水深が30 cm以下でなければなりません。水たまりおよび水たまりのバンクの双方において、岩、草、丸太などの滑りやすい面に気を付けてください。トラクションを喪失する場合があります。高速の状態の水たまりに入らないでください。

水は、車両の制動能力に影響します。車両が水たまりから離れた後は、ブレーキを数回かけてブレーキを乾燥してください。

水たまりの近くでは、泥や沼地に遭遇する場合があります。突然の「穴」や深さの変化に備えてください。同様に、特に植物などに覆われた岩や丸太などの危険物に注意してください。

雪や氷の上での走行

走行前点検を行うときに、雪や氷の場所に特に注意してください。雪や氷が溜まっていると、テールランプの視認性が阻害され、通気口が詰まり、ラジエーターやファンを妨げ、操作装置類の動きと干渉する場合があります。車両を開始する前に、ステアリング、アクセルおよびブレーキペダルの自由な動きが干渉されていないか確認してください。

雪で覆われた走行路上を車両が走るとき、通常はタイヤのグリップが下がり、オペレーターからの入力操作に対する車両の応答が異なってきます。グリップが低い面では、ステアリングの応答に切れがなく不正確で、制動距離が長くなり加速性にも影響します。速度を下げ、アクセルペダルを「ふかしたり」しないでください。アクセル

をふかしてもタイヤがスピンするだけであり、オーバーステアリングにより車両の横滑りが発生する可能性があります。強いブレーキは避けてください。ブレーキが強いと、車両が真っ直ぐ滑る可能性があります。もう一度言いますが、操作を予測して安全に速度を下げて、時間と距離に余裕を持って車両のコントロールを維持するのが最善の方法です。

車両を緩い雪で覆われた面の上で走行すると、動いている車両の後方乱気流に雪塵が巻き込まれ、むき出しになっているコンポーネント（ブレーキディスクのような可動部品など）に雪が接触、堆積し、溶けるようになります。水、雪、または氷は、車両のブレーキシステムの影響を与える場合があります。車速を下げる必要がないときであっても、ブレーキを頻繁にかけて氷や雪の堆積を防止し、ブレーキパッドやディスクを乾燥させてください。そのようにする一方で、リスクが低い走行状態においてグリップレベルのテストを行い、入力操作に対する車両の応答の仕方を理解するようにしてください。ブレーキおよびアクセルペダル、そしてフロアボードに雪や氷が付着しないようにしてください。シート、ステアリングホイール、ヘッドライトおよびテールライトの雪を頻繁に拭き落としてください。

積雪によって、岩や木の株などの障害物が隠れることがあります。それらが濡れた状態であれば、車両の身動きが取れなくなったり、ぬかるんだ雪の中で完全にトラクションを失ったりして、走行性能が完全に阻害される場合があります。遠い先を見て、そのような障害物の存在を示している場合がある目視可能な手がかりに、常に注意してください。疑わしい場合は避けるようにしてください。氷が車両、その乗員、積載された荷物を安全に支えられることが確認されるまでは、凍った水路上を走行しないでください。

運転が終わるたびに車両およびすべての可動部品（ブレーキ、ステアリングコンポーネント、ドライブシャフト、操作装置類、ラジエーターファンなど）に堆積している雪や氷を除去するのは良い習慣です。水気のある雪は停止している間に氷に戻るため、次の走行前点検のときに取り除くのがより困難になります。

砂地での走行

砂地および砂丘での走行は、独特の走り味を与えるものですが、守るべき基本的な注意事項があります。濡れた土または細かな砂は、トラクションを喪失させ、車両が横滑りしたり、落下したり、「身動きがとれない」状態になる恐れがあります。こうした状況が発生した場合は、硬い土台となるものを探してください。もう一度言いまわすことが最善の方法です。

砂丘を走行する際は、車両にアンテナタイプの安全フラグを装備しておくといでしょう。これにより、付近の砂丘にいる他の人から自身の位置がより見えやすくなります。別の人の安全フラグが目に見える場合は、慎重に走行を続けてください。

砂利、緩い石地、またはその他のすべりやすい面での走行

緩い石地や砂利上での走行は、氷の上での走行と非常によく似ています。緩い石地や砂利は車両の操舵に影響し、特に高速の状態では横滑りしたり転倒する可能性があります。また、制動距離に影響する場合があります。アクセルを「ふかしたり」横滑りを起こしたりすると、緩んだ石を、後方にある他の人の走路に向けて飛ばしてしまうこととなりますので、覚えておいてください。こうしたことを意図的に行わないでください。

横滑りやスリップが発生した場合は、再度コントロールが得られるまでステアリングホイールを滑っている方向に回すと役に立つ場合があります。急ブレーキをかけてホイールをロックさせないでください。

障害物を乗り越える走行

障害物を乗り越えるときは、ローレンジ (L) を使用します。

「トレイル」上の障害物は、注意して乗り越える必要があります。この障害物には、岩、倒木、くぼみなどがあります。可能なかぎり、これら避けるようにしてください。障害物には、乗り越えるのに大きすぎるまたは危険すぎるため、避けなければならない場合があることを覚えておいてください。目安として、車両の地上高よりも高い障害物は乗り越えないようにしてください。小さな岩や倒木は安全に乗り越

えることができる場合があります。障害物にゆっくりと、できるだけ適切な角度で接近してください。勢いを失わないように速度を調整して、急に加速しないでください。同乗者は、両方のハンドグリップをしっかりとつかみ、フロアで足を踏ん張ってください。手を拳にせずステアリングホイールをしっかりと握り、運転を続けませ。障害物は滑りやすく、乗り越えているときに移動する可能性があることに気を付けてください。

傾斜走行の条件

傾斜やスロープ上を走行するときは、滑りやすい面や地形の変化および障害物に備え、車両内で自身の体を正しく支えるという、2つのことが非常に重要です。滑りすぎる斜面や表面が緩すぎる斜面を上るまたは下るとすると、制御不能に陥る可能性があります。斜面の頂上を高速で走り抜けると、走り抜けた向こう側の地形に備える時間が取れない可能性があります。スロープ上では駐車しないでください。停車または駐車するとき、特に傾斜があるときは、必ずシフトレバーをパーキングに入れて動き出さないようにしてください。急な傾斜地に駐車せざるを得ない場合は、岩やレンガを使ってホイールに輪止めをかけてください。

登坂走行

登坂走行の際は、ローレンジ (L) を使用します。

この車両は、構成上の理由で、登坂中に大変優れたトラクションを発揮するため、トラクションを失う前に転倒する可能性があります。例えば、坂道の頂上がある程度侵食されて、先端が急激に盛り上がっているという地形状況に遭遇するのはよくあることです。この車両は、そのような状況に対応できるように設計されていません。回避ルートを選択してください。

また、傾斜やバンクの反対側の地形条件を知っておくことも、賢明な考えです。対応や降下が不可能な急激な落ち込みもよくあります。

傾斜が険しすぎて上れないと感じた場合は、ブレーキをかけて車両を停止してください。シフトレバーをリバース (R) に入れて、傾斜を後進して下ります。ブレーキをわずかに緩めて、低速を維持してください。転回しようとししないでください。絶対に車両を

ニュートラルの状態にして傾斜を下りないでください。転倒のリスクが高まるため、急ブレーキをかけないでください。

降坂走行

この車両は、急な斜面を安全に下るよりも、急な斜面を登ることに優れています。そのため、上る前に、傾斜を下るための安全な経路があることを確認するのが重要です。

滑りやすい下り坂に対処しながら下ると、車両が滑り下るようになり、横滑りが発生する恐れがあります。着実な速度を維持して、若干加速するなどして、コントロールを得るようにしてください。ブレーキを強くかけないでください。ホイールがロックします。

斜面の横断

可能なかぎり、斜面の横断（斜面を上ったり下ったりするのではなく、斜面を横方向に進むこと）は避ける必要があります。必要な場合は、十分注意を払いながら斜面を横断してください。険しい斜面の横断は横転を引き起こす恐れがあります。また、滑りやすく不安定な面は、制御できない横滑りを引き起こす恐れがあります。車両の片側が反対側よりも高い状態で、片側がさらに高くなって横転を引き起こすような障害物やくぼみはすべて避けてください。車両が横転または横滑りし始めたと感じた場合、可能であれば斜面を下る方に操舵してください。



警告

液体リザーバーを載せて運搬するときは注意してください。リザーバーによって下方向に引かれて横転のリスクが高まり、斜面を横断しているときの車両の安定性に影響を及ぼします。

崖

この車両は、崖での走行に対応するように設計されていません。車両の「底」が当たり、通常はフロントまたはリアホイールのいずれかが崖の上に差しかかると停止します。崖が急で深い場合は、車両が先端から落下したり転倒したりします。

崖での走行は避けて後退し、回避ルートを選択してください。

レクリエーション、グループ、および長距離走行

他の人の権利や限度を考慮してください。他の種類のオフロード用途のために指定されている場所からは離れてください。これには、スノーモービルのトレイル、乗馬コース、スキーのクロスカントリーのコース、マウンテンバイクのトレイルなどがあります。トレイル上に誰もいないと想定しないでください。常にトレイルの右側を維持し、トレイルの片方からもう片方へとジグザグに進まないでください。他のトレイル使用者が前方に現れた場合は、停止するか脇へ寄せる準備をしてください。

地元のサイドバイサイドビークルのクラブにご参加ください。このようなクラブでは、地図やアドバイスが提供され、走行できる場所の情報を入手することができます。近隣にクラブがない場合は、クラブの立ち上げにご協力ください。グループでの走行やクラブの活動は楽しいものであり、社会経験が得られます。薬やアルコール類を摂取した状態、または疲れや体調の悪さを感じる状態で車両を使用しないでください。

他のライダーからの安全離隔距離を保ってください。速度、地形条件、天候、車両の機械的状態の判断、および自分自身が周りの人に対して持っている「判断の信用」は、適切な安全離隔距離をより良く判断するための助けとなります。他の原動機付き車両のように、この車両は「急には」止められません。

走行する前に、どこに行くか、帰る予定時間を誰かに伝えましょう。

走行時間の長さに応じて、追加のツールや非常用装置を搭載してください。ガソリンを補給できる場所も確認してください。遭遇しうる状況に対処するための準備を行ってください。非常用の救急箱は必ず考慮に入れてください。

環境

この車両の長所の1つは、ほとんどの地域から距離のある、人里離れた場所へと向かえることです。しかし、自然そして他の人の楽しむ権利を常に大切する必要があります。環境保護指定区域には乗り入れないでください。森林でできる作物や低木の上での走行、木の伐採、フェンスの取り壊し、ホイー

ルのスピン、地形の破壊はしないでください。「そっと」走るようにしてください。

ごみや異物などがこの車両のエキゾーストやエンジンの他の高温箇所の近くに堆積して着火し、それが乾燥した草に落下した場合、火事が発生する可能性があります。ごみや異物が堆積するような湿地帯、湿原、背の高い草がある所での走行は避けてください。これらの場所で走行する場合は、エンジンおよび高温箇所を点検し、ごみや異物を取り除いてください。ごみや異物については「メンテナンス」のセクションを参照してください。

野生動物を追いかけることは、多くの地域で違法とされています。野生動物は、原動機付き車両に追いかけられた後に、極度の疲労で命を落とすこともあります。トレイル上で動物に出くわした場合は、車両を停止して、注意しながら静かに見守ってください。これは、人生の中の良い思い出の1つとなるでしょう。

「持ち込んだ物は持ち帰る」というルールを守ってください。ごみを散らかさないでください。許可を得ていない限り、キャンプファイヤーは行わないでください。行う場合は、乾燥した地域から離れた場所でのみ行ってください。トレイル上でご自身が生み出す危険が、後日であっても他人や自分自身を負傷させる場合があります。

農地を大切にしてください。私有地を走る前に、土地の所有者の許可を必ず得てください。穀物、家畜、土地の境界線を大切にしてください。

最後に、小川や湖、川を汚さないでください。車両の排気ガス量が変わるため、エンジンやエキゾーストシステムを改造したり、それらのコンポーネントを取り外したりしないでください。

荷物の運搬と作業の実施

車両を使用した作業

車両は、除雪や貨物の運搬に至るさまざまな軽作業を行うのに役立ちます。認定 Can-Am ディーラーでさまざまなアクセサリーを入手することができます。考えられる負傷を防止するため、アクセサリーに付属の説明書や警告に従ってください。車両の最大積載重を必ず守ってください。過積載は車両のコンポーネントに過剰な応力をかけるため、故障を引き起こす可能性があります。重い荷物を引いたり持ち上げたり、または車両を手で押す際、無理をしないようにしてください。

荷物の運搬

車両に積まれた荷物は、車両のハンドリング、安定性、および制動距離に影響します。オペレーター、同乗者、荷物およびアクセサリーの重量、ならびにトレーラー垂直荷重を含む車両の最大積載量を超えないでください。「荷物」が滑ったり落下して事故を起こす可能性があることに注意してください。

| 車両の最大積載量 | |
|----------|--|
| 286 kg | 乗員、荷物、追加されたアクセサリー、ヒッチにかかる垂直荷重（該当する場合）を含む |

下記に示すのは、車両総重量の適切な配分の例です。

| 車両総重量の適切な配分の例（ローレンジ） | | | | |
|----------------------|-------|--------|-------|--------|
| オペレーター と同乗者 | 荷物の重量 | アクセサリー | 垂直荷重 | 車両総重量 |
| 171 kg | 31 kg | 25 kg | 59 kg | 286 kg |

注：車両のトランスミッションがハイレンジのときは、カーゴラックと垂直荷重を組み合わせた重量が 90 kg を超えてはいけません。

制御不能になったり載せた荷物を紛失するリスクを減らすには、これらの推奨事項に従ってください。

荷物を運搬するときの車両の設定

総重量（オペレーター、同乗者、荷物、およびアクセサリーの重量、ならびにトレーラーの垂直荷重（該当する場合）を含む）が 195 kg を超えると、タイヤが膨らんで圧力が最大になります。

| 最大圧力 | | |
|----------|---------|---------|
| サイズ | フロント | リア |
| 71.12 cm | 159 kPa | 207 kPa |
| 73.66 cm | 138 kPa | 186 kPa |
| 76.20 cm | 124 kPa | 214 kPa |

注：同乗者や重い荷物を運搬するときは、それに応じてサスペンションを再調整してください。

注：カーゴラックで重い荷物を運搬したり、荷物を載せたトレーラーをけん引するときは、シフトレバーを L（ローレンジ）にして運転してください。

カーゴラックへの搭載

注記 積み降ろしの際、90 kg の重量制限を超えないでください。

荷物はできるだけ低く積んでください
- 荷物が高いと車両の重心が高くなり、安定性が低下します。荷物はでき

るだけラック上に均等に置いてください。

カーゴラックでは荷物を固定してください。荷物をケージや車両の他の部分に固定しないでください。正しく固定されていないと、荷物が滑ったり落下したりして乗員や居合わせた人に当たる可能性があります。また、走行中にずれて、車両のハンドリングに影響することもあります。

高い位置にある物はオペレーターの視認性に影響し、事故の際に発射物のような動きをする場合があります。横に突き出した荷物は、茂みや木の枝などの障害物に引っ掛かたり挟まれたりする恐れがあります。荷物がブレーキライトを覆ったり邪魔したりしないようにしてください。荷物がカーゴラックから突き出していないこと、および荷物が視界を遮っておらず、車両の操作装置と干渉していないことを確認してください。

荷物をカーゴラックに過剰に乗せないでください。

警告

ガソリン容器や液体危険物は、この車両用に設計されたり承認されたものでない限り、絶対にカーゴラックに置いて運搬しないでください。

警告

絶対に過積載やけん引はせず、不適切な方法で貨物を運搬したりしないでください。荷物を運搬したりトレーラーをけん引するときは、地形条件に応じて安全に速度を下げて、傾斜や粗い地形は避けてください。制動距離を長めに取ってください。高い重心による影響を抑えるため、できるだけ荷物を低く積んで固定します。ここで示した推奨事項に従わないと、車両のハンドリングに変化が生じて事故を引き起こす可能性があります。

貨物の運搬

(ヒッチが搭載されている場合)

絶対に貨物をケージにつなげてけん引しないでください。車両の転倒を引き起こす可能性があります。貨物をけん引するには、トレーラーヒッチ（取り

付けられている場合）のみを使用してください。

緊急事態の場合、リカバリーフックを使用して立ち往生した車両を正常な状態に戻してください。

チェーンやケーブルを使用して貨物をけん引するときは、発進する前にたるみがなく、けん引中は張力を保つようにしてください。

チェーンやケーブルを使用して貨物をけん引するときは、ブレーキを徐々にかけるようにしてください。貨物の慣性によって衝撃が発生することがあります。

貨物をけん引するときは、最大けん引荷重を守ってください。「トレーラーのけん引」のサブセクションを参照してください。

警告

たるみにより、チェーンやケーブルが破断たり反発を引き起こしたりすることがあります。

別の車両をけん引するときは、別のの人に被けん引車を運転してもらうようにしてください。被けん引車に乗っている人は、車両のブレーキをかけたり、制御不能にならないようにステアリングホイールを操作する必要があります。

貨物をけん引しているときは速度を下げて、徐々に曲がってください。斜面や粗い地形を避けてください。険しい傾斜は避けてください。特に、傾斜面上や同乗者がいるときは、制動距離を長めに取ってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

トレーラーのけん引

(ヒッチが搭載されている場合)

注記 トレーラーをけん引するにあたり、BRP 認定のリアヒッチが車両に正しく取り付けられている必要があります。

トレーラーを装備した車両の運転は、特に傾斜のあるスロープにおいて転倒するリスクが非常に高くなります。車両の後方でトレーラーを使用する場合は、そのヒッチが車両側のヒッチに対応していることを確認してください。トレーラーが車両とともに水平になっていることを確認します。（一部の場

合、車両側ヒッチに専用のエクステンションの取り付けが必要になる場合があります。) セキュリティーチェーンやケーブルを使用して、トレーラーを車両に固定します。

トレーラーをけん引しているときは速度を下げ、徐々に曲がってください。斜面や粗い地形を避けてください。険しい傾斜は避けてください。特に、傾斜面上や同乗者がいるときは、制動距離を長めに取ってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

トレーラーに対して貨物を不適切に搭載すると、制御不能になる場合があります。推奨する最大けん引荷重と最大垂直荷重を順守してください(「最大けん引荷重」表を参照)。タンクにいくらかの重量がかかっていることを確認してください。

貨物がトレーラーに安全に固定され、荷重が均等に分散された状態であることを必ず確認してください。均等に分散されてバランスの取れたトレーラーであれば、運転も楽になります。

トレーラーのけん引時は、シフトレバーを必ずL(ローレンジ)にしてください。さらに、トルクを高めにすることで、ローレンジでの運転がリアタイヤへの荷重の増加を補助することになります。

停止または駐車するときは、車両およびトレーラーのホイールをブロックして動かないようにします。

貨物を積載したトレーラーを切り離すときは注意してください。貨物が自分自身や他の人の上に倒れる場合があります。

トレーラーけん引するときは、ヒッチ上のラベルに示されている最大けん引荷重を順守してください。

製品上にある重要なラベル

ハングタグ

この車両には、重要な安全情報が記載されているハングタグおよびラベルが付属しています。

この車両に乗る人は、必ずこの情報をよく読み理解した上で乗車してください。



代表例：カナダおよび米国向けの全モデルに適用。カナダと米国以外の地域においては、認定された当社モデルと同等のモデルに適用。米国環境保護庁基準



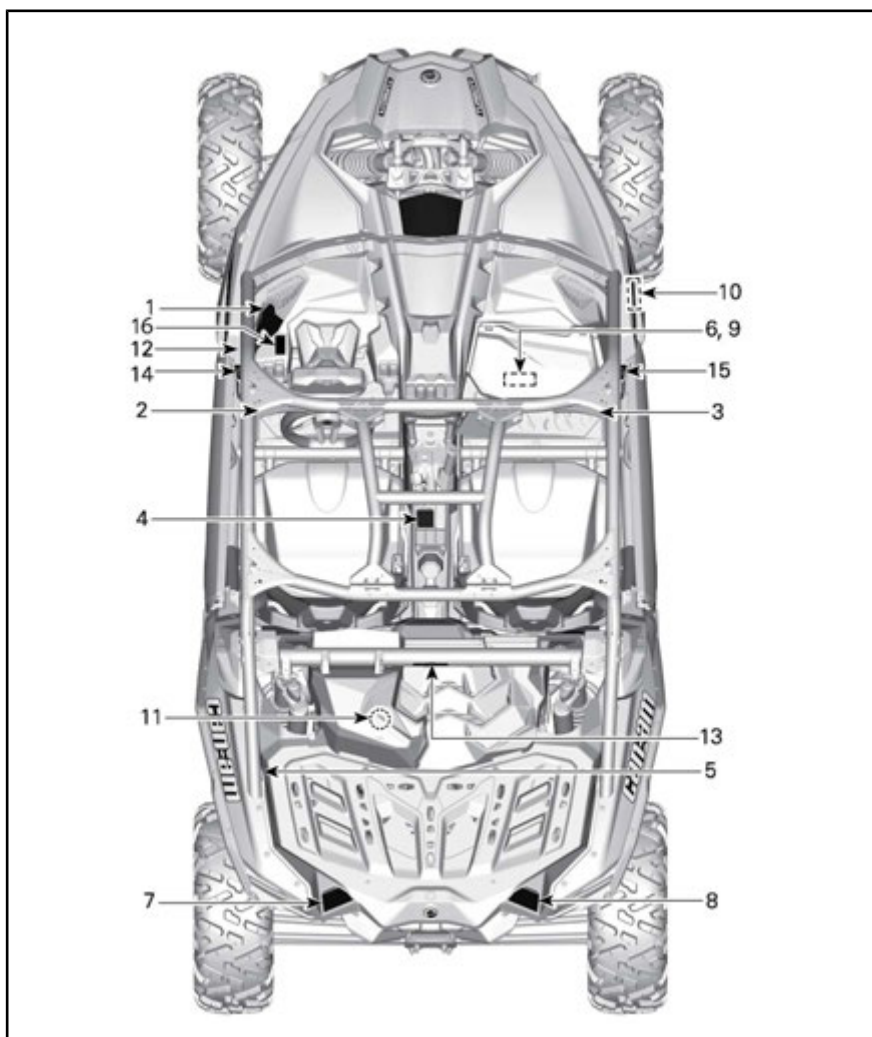
警告ラベル

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。

これらのラベルは、オペレーター、同乗者またはその場に居合わせる人の安全のために、車両に貼ってあります。

以下のラベルは車両に付いているため、車両の一部として扱ってください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。認定 Can-Am デイラーにお問い合わせください。

注：このガイドおよび製品に何らかの矛盾がある場合、製品の警告ラベルがこのガイドのラベルよりも優先されます。





ラベル 1



ラベル 2



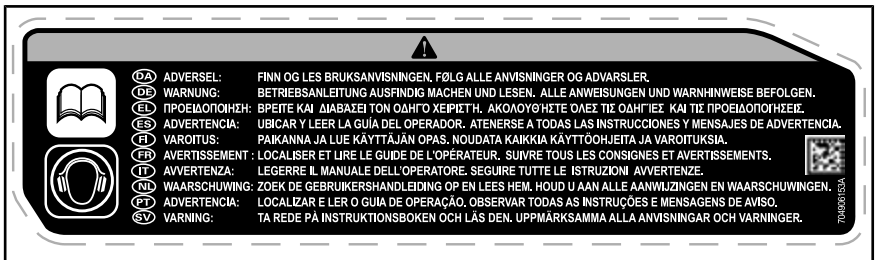
ラベル3



ラベル 4



ラベル 5



ラベル 6

警告

過積載は制御不能な状態を招きます。制御不能になると、重傷や死亡事故を招く恐れがあります。

オペレーター、同乗者およびアクセサリーの重量、ならびにトレーラーの垂直荷重を含む車両の積載量 (286 kg (630lb)) を **絶対に** 超えないでください。

絶対に このキャリアで同乗者を運ばないでください。後部最大積載量: 均等に分散させた状態で 90 kg (200 lb) (該当の場合は、トレーラーの垂直荷重を含む。)

貨物は **必ず** 固定してください。



704906240B

ラベル 7

警告

ガソリン容器、可燃物用容器または液体危険物用容器をキャリアの上に **絶対に** 置かないでください。これらのものを置くと、爆発を引き起こす恐れがあります。

絶対に 貨物をカーゴ部に取り付けてけん引しようとししないでください。けん引すると車両が転倒する恐れがあります。貨物をけん引するには、トレーラーヒッチまたはリカバリーフックのみを使用してください。



704906241B

ラベル 8

注意



ストレージコンパートメント
最大積載量: 5 kg

704906154B

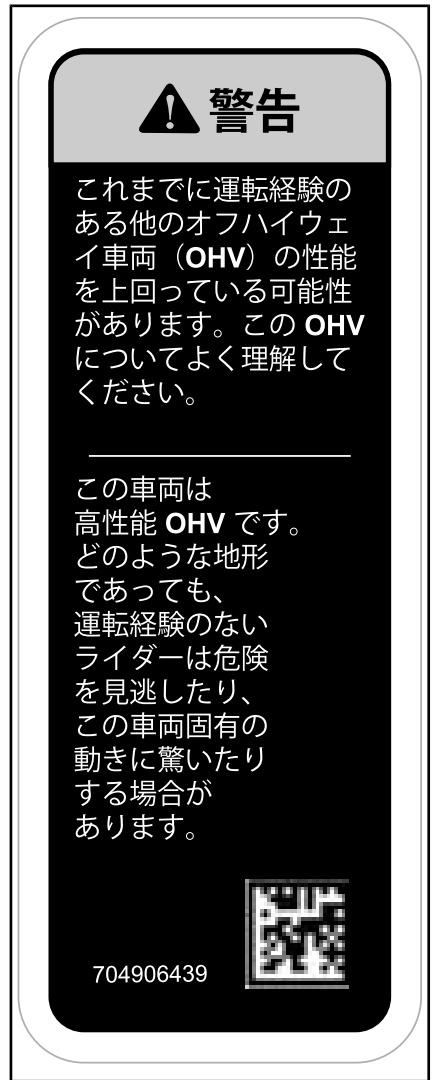
ラベル 9



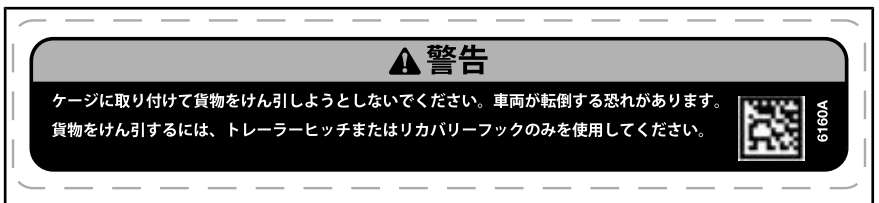
ラベル 10



ラベル 11



ラベル 12



ラベル 13



ラベル 14



ラベル 15



ラベル 16

適合ラベル

これらのラベルは、車両の適合状態を示しています。



代表例

1. 助手席の後ろにある適合ラベル

| | | | |
|-----------|--|---------------------|-------------------------|
| 704904653 | | CAN ICES-2/NMB-2 | |
| | | POWER / 出力 | <input type="text"/> kW |
| | | WET WEIGHT / 総重量 | <input type="text"/> kg |

| | | | |
|---|---|---------------------------------|------------|
| | 排出ガスの制御について | | |
| | この車両は無鉛ガソリンで走行することが認可されており、 米国環境保護庁およびカリフォルニア州の オフロードスポーツ車両に関する排出ガス EVAP 規制に適合しています。 | | |
| エンジンファミリー | <input type="text"/> | ENGINE FAMILY | |
| 透過性ファミリー | <input type="text"/> | PERMEATION FAMILY | |
| 規格 (FEL) | <input type="text"/> | CERTIFICATION STANDARD (FEL) | |
| エンジン排気量 | <input type="text"/> | ENGINE DISPLACEMENT | |
| 排出ガス | <input type="text"/> | EXHAUST EMISSION | |
| 制御システム | <input type="text"/> | CONTROL SYSTEM | |
| EMISSION CONTROL INFORMATION | | | |
| THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND CONFORMS TO <input type="text"/> U.S. EPA & CALIFORNIA EMISSION / EVAP REGULATIONS FOR ATV AND OFF-ROAD SPORT VEHICLE. | | | |
| SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SCHEDULE メンテナンススケジュールについてはオペレータースガイドを参照してください。 | | | |
| BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. | | | |
| | | | 704 904653 |

代表例：カナダおよび米国向けの全モデルに適用。カナダと米国以外の地域においては、認定された当社モデルと同等のモデルに適用。米国環境保護庁基準

技術情報ラベル

エアフィルターのメンテナンス
オペレータースガイドで規定されているようにメンテナンスを行う必要があります。より過酷な（粉塵の多い）条件であれば、フィルターメンテナンスの回数を増やす必要があります。

AIR FILTER MAINTENANCE
MAINTENANCE MUST BE PERFORMED AS SPECIFIED IN THE OPERATOR'S GUIDE. AIR FILTER MAINTENANCE SHOULD INCREASE IN FREQUENCY IN MORE SEVERE (DUSTY) CONDITIONS.

位置：エンジンのエアフィルターハウジングカバーの上

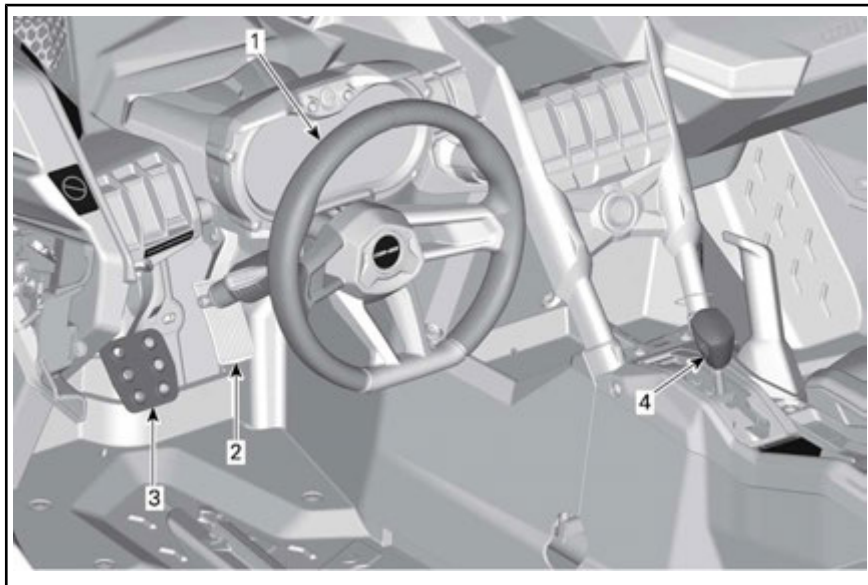
**このページは
意図的に空白になっています**

車両についての情報

基本操作部

すべての操作部の位置と操作方法を知り、それらをスムーズかつ上手に使用できるように練習する必要があります。

注：一部の車体の警告ラベルは図に表示されていません。車両の警告ラベルの情報については「車両警告ラベル」のサブセクションを参照してください。



代表的な例 - わかりやすいように部品を取り外した状態

1) ステアリングホイール

ステアリングホイールは、運転席の前にあります。

ステアリングホイールは、車両を左または右へと向かわせます。

行きたい方向にステアリングホイールを切ってください。

ステアリングホイールを両手で握り、親指はステアリングホイールにかけないようにします。

⚠注意 トレイル条件が粗い場合や障害物乗り越えるときは、ステアリングホイールが片方に急に引っ張られる場合がありますため、親指をステアリングの周りにかけていると、手や手首を負傷することがあります。

DPSは、ステアリングホイールを回す労力を減らします。

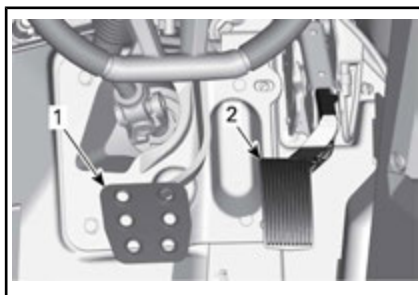
2) アクセルペダル

アクセルペダルは、ブレーキペダルの右側にあります。

アクセルペダルは、エンジンの回転数を制御します。



1. ステアリングホイール



1. ブレーキペダル
2. アクセルペダル

車速を上げるまたは維持するには、右足でアクセルペダルを踏みます。

車速を下げるには、アクセルペダルを放します。

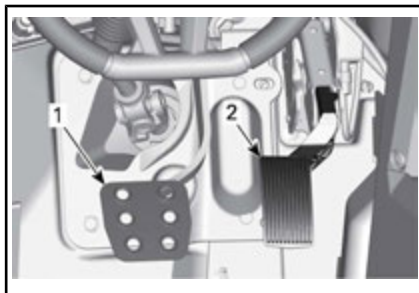
アクセルペダルにはスプリングが付いており、踏んでいないときは静止位置（アイドルング）に戻ります。

注：アクセルペダルは絶対に分解しないでください。

3) ブレーキペダル

ブレーキペダルは、アクセルペダルの左側にあります。

ブレーキペダルの機能は、速度を下げたり車両を停止することです。



1. ブレーキペダル
2. アクセルペダル

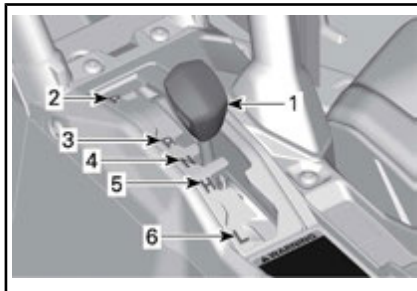
車速を下げる、または車両を停止するには、右足でブレーキペダルを踏みます。

ブレーキペダルにはスプリングが付いており、踏んでいないときは静止位置に戻ります。

4) シフトレバー

シフトレバーは、下部コンソールにあります。

シフトレバーは、ギアを変更するのに使用します。



1. シフトレバー
2. パーキング
3. リバース
4. ニュートラル
5. ハイレンジ（前進）
6. ローレンジ（前進）

車両にブレーキをかけて停止してから、ギアを選択する必要があります。

注記 このギアボックスは、車両が動いている間にシフトするように設計されていません。

パーキング

パーキング位置はギアボックスをロックして、車両の動作防止を補助します。

警告

車両が動作していないときは、必ずパーキング（P）位置にしてください。シフトレバーがP（パーキング）になっていない場合、車両が進む場合があります。

リバース

リバース位置にすると、車両を後進させることができます。

注：後進時はエンジン回転数が制限されるため、車両の後進速度も制限されます。

警告

下り坂を後進するときは、重力により、設定されている後進速度よりも車速が上昇します。

ニュートラル

ニュートラル位置にすると、ギアボックスが切り離されます。

ハイレンジ（前進）

この位置にすると、ギアボックスの高速レンジが選択されます。これは、通常の走行速度レンジです。車両は、最高速度に到達できます。

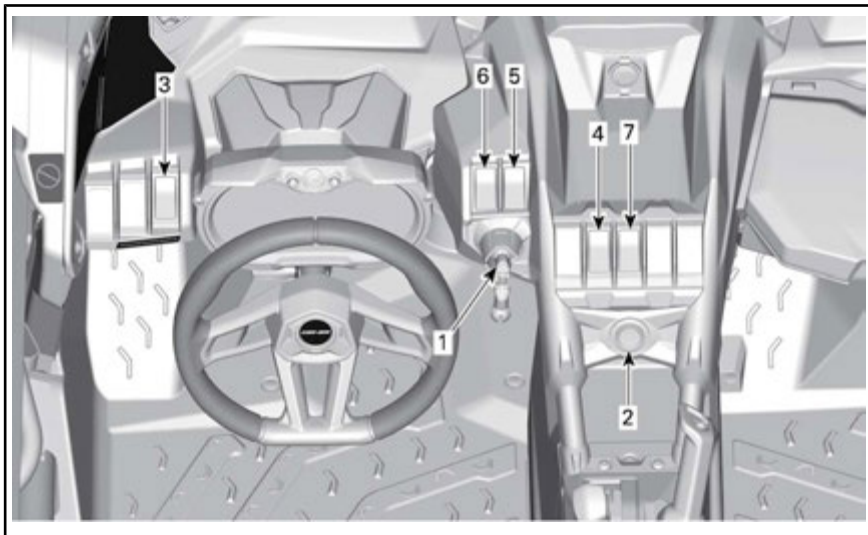
ローレンジ（前進）

この位置にすると、ギアボックスの低速レンジが選択されます。車両は低速で動き、ホイールは最大のトルクを発揮します。

注記 トレーラーをけん引するとき（ヒッチが装備されている場合）、重い貨物を運搬するとき、障害物を横切るとき、傾斜を上ったり下ったりするには、ローレンジを使用してください。

二次コントロール

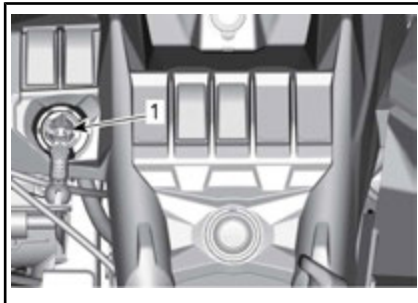
注：一部の車体の警告ラベルは図に表示されていません。車両の警告ラベルの情報については「車両警告ラベル」のサブセクションを参照してください。



1) RF D.E.S.S キーおよび RF D.E.S.S. ポスト

RF D.E.S.S. ポスト

D.E.S.S. ポストは上部コンソールにあります。



代表例

1. D.E.S.S. ポスト

RF D.E.S.S. キー

デジタル暗号化セキュリティシステム (D.E.S.S.)

D.E.S.S. キーには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路が組み込まれています。

D.E.S.S. システムは、キーコードを読み取り、キーを認識できる場合だけエンジンの始動を許可します。

キーの種類

この車両は、2種類のイグニッションキーを使って操作できます。

- ラーニングキー (緑色)
- パフォーマンスキー (グレー)

キーの種類は色によって区別されています。

警告

パフォーマンスキーまたはラーニングキーを使用すると、重傷や死亡事故につながる横転、転倒、衝突、および制御不能な状態を引き起こす可能性があります。通常のキーの使用が、オペレーターの準備や要件の満足、慎重な運転の代わりになることはありません。

ラーニングキー

車両には、ラーニングキーが付属しています。

ラーニングキーでは、エンジンのトルクが制限されます。また、車速が 70 km/h に制限されます。

警告

急な下り坂では、エンジン回転数リミッターがあっても、この速度の超過を防止できない場合があります。

このキーは、徐々に加速することを好むオペレーターや、最高速度や急加速が望まれない環境にいるオペレーターにとって有用となる場合があります。例えば、細くてカーブの多いトレイルでは、オペレーターがラーニングキーを好む場合があります。

パフォーマンスキー

車両にはパフォーマンスキーが付属しています。このキーにより、ユーザーはエンジンの最大トルクや車両の最高速度を発揮できるようになります。

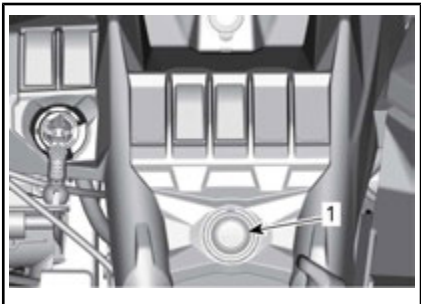
急加速を好むオペレーター、そして高速や急加速が適した環境で、このキーが有用になる場合があります。例えば、広く開かれた直線のトレイルでは、オペレーターがパフォーマンスキーを好む場合があります。

2) エンジンのスタート/ストップボタン

エンジンのスタート/ストップボタンは上部コンソールにあります。これを押したままにするとエンジンが始動します。

注：エンジンを始動するには、RF D.E.S.S. キーを RF D.E.S.S. ポストに取り付ける必要があります。

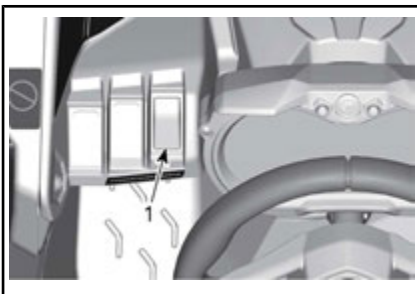
エンジンを始動せずに電装システムの電源を入れるには、「電装システムの起動」を参照してください。



1. エンジンのスタート/ストップボタン

3) ロー/ハイビームヘッドライトスイッチ

ロー/ハイビームヘッドライトスイッチは、ダッシュボードの左側にあります。



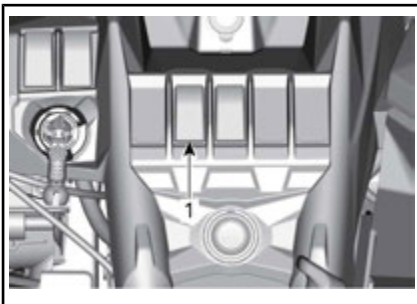
代表例

1. ロー/ハイビームヘッドライトスイッチ

このスイッチは、ヘッドライトのローまたはハイビームを選択するのに使用します。

4) 2WD/4WD スイッチ

2WD/4WD スイッチは上部コンソールにあります。



代表例

1. 2WD/4WD スイッチ

車両が停止してエンジンが動作しているときに、このスイッチで2輪駆動または4輪駆動モードを選択します。

注記 2WD/4WD スイッチの入/切を行うには、車両が停止していなければなりません。走行中にスイッチの入/切を行うと、機械的な損傷が生じる場合があります。

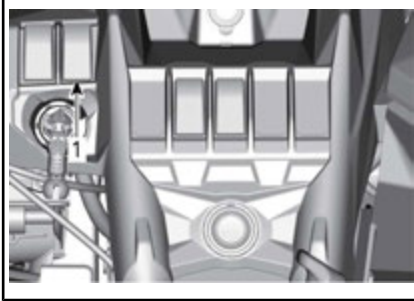
スイッチを上側に押すと 4WD モードになります。

スイッチを下側に押すと 2WD モードになります。この場合、車両の後輪のみが駆動します。

5) スポーツ／ECO モードスイッチ

スポーツ／ECO スwitchは上部コントロールにあります。

このスイッチは、ハイレンジでスポーツまたは ECO モードを選択するのに使用します。



代表例

1. スポーツ／ECO スwitch

スポーツモードでは、きびきびとしたスロットルレスポンスが得られます。

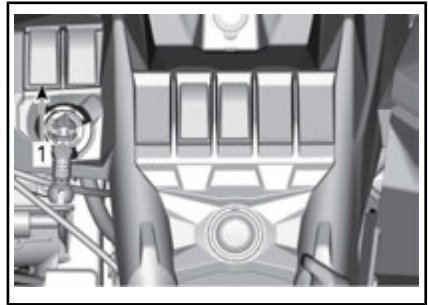
注：スポーツモードはどの種類のキーでも作動させることができ、使用されたキーで最大のパワーを発揮します。

ECO（燃料節約モード）の設定は、最適なクルーズ設定を保つためにスロットルの応答性を制限してスロットル開度を最適にすることで、燃料消費を削減します。

注：ECO モードは、凹凸の激しいトレイルでスムーズな走行状態を実現するために使用します。

6) オーバーライドスイッチ

オーバーライドスイッチは下部コントロールにあります。



1. オーバーライドスイッチ

オーバーライドスイッチの主な機能は次の通りです：

1. 後進時にエンジン回転数リミッターを回避して、エンジンの最大トルクを発揮します。

⚠ 警告

泥や柔らかい地形で身動きが取れなくなった車両を脱出させるためだけに使用してください。通常の後進ではオーバーライドを使用しないでください。通常時に使用すると過剰な速度での後進となり、制御不能となるリスクが高まります。

2. 一時的に電子式ドライブベルト保護機能を無効にします（車両において利用可能で、有効になっている場合）。

⚠ 警告

ローレンジにシフトできない場合にのみオーバーライドを使用してください。通常運転時はオーバーライドを使用しないでください。使用するときは周囲に気を付けてください。

3. 「MAINTENANCE REQUIRED（メンテナンスが必要）」メッセージを消去します。「多機能ディスプレイ」のサブセクションを参照してください。
4. ペダルが故障した場合に車両を動かすには、「トラブルシューティングガイドライン」のサブセクションを参照してください。

オーバーライド機能の起動は、次のように行います。

1. 車両が停止していることを確認します。

2. オーバーライドスイッチを押したままにして、アクセルペダルを徐々に踏み込みます。

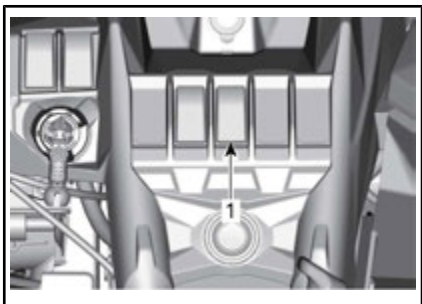
注：リバースの状態ではオーバーライド機能を使用している間、ゲージは **OVERRIDE**（オーバーライド）のメッセージをスクロール表示して、機能が起動していることを知らせます。

3. オーバーライド機能は、オーバーライドスイッチを放すだけ解除されます。

7) DPS スイッチ

DPS スイッチは、DPF（ダイナミックパワーステアリング）モードを変更するのに使用します。

モードを変更するには、DPS スイッチを2秒以上保持する必要があります。保持する時間が2秒未満であれば、選択されたモードが多機能ゲージに表示されます。



1. DPS スイッチ

多機能ゲージ (アナログ/デジタル)

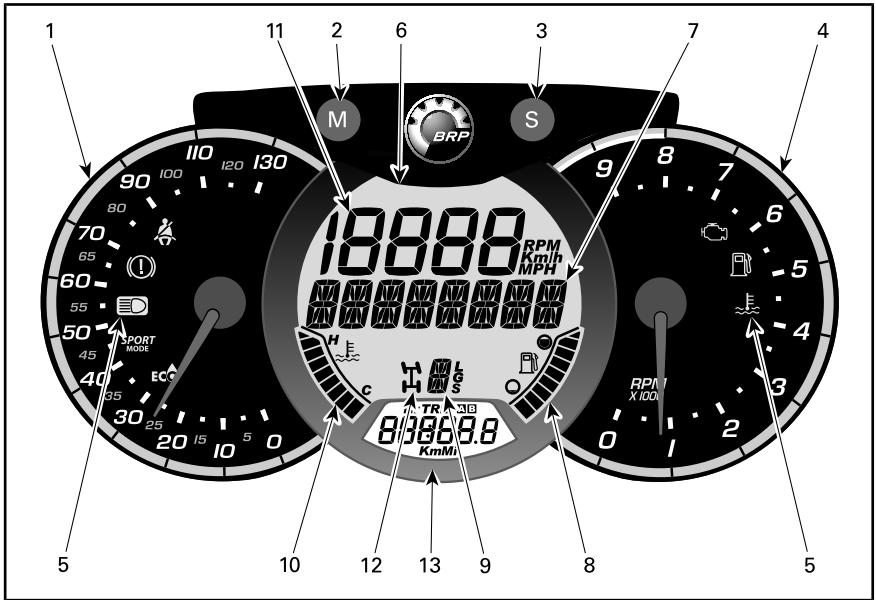
多機能ゲージの説明

多機能ゲージ (アナログ/デジタル) はステアリングコラムにあります。

多機能ゲージ (アナログ/デジタル) は、1つのデジタルゲージと2つのアナログゲージ (スピードメーターおよびタコメーター) で構成されています。

エンジン温度と燃料レベルの棒グラフは、デジタルゲージにあります。

インジケータランプは両方のアナログゲージにあります。



警告

運転中に表示を調整しないでください。バランスを崩す可能性があります。

1)アナログスピードメーター

車速を km/h または mph で計測します。

2) モード (M) ボタン

モード (M) ボタンを押すと、メインデジタルディスプレイの機能をスクロールします。

| 機能の順序 | オプション |
|-----------|---|
| 数字表示が点滅 | セット (S) を押してスクロールし、希望する機能を選択して、モード (M) を押して確定します。 |
| 多機能ゲージが点滅 | セット (S) を押してスクロールし、希望する機能を選択して、モード (M) を押して確定します。 |

3) セット (S) ボタン

セット (S) ボタンを押すと、補助デジタルディスプレイの機能をスクロールします。

| 機能の順序 | 表示される情報 |
|-----------------------|---|
| 時計 | XX:XX (24:00時間基準) XX:XX A または P (12:00 AM/PM 時間基準) |
| 積算距離計オドメーター | XXXXX.X km または mi |
| 走行距離—オドメーターA (走行A) | XXXXX.X km または mi |
| 走行距離—オドメーターB (走行B) | XXXXX.X km または mi |
| エンジン時間クロノメーター (Hr) | XXXXX.X |
| 走行時間用クロノメーター (HrTRIP) | XXXXX.X |

走行機能をリセットする場合、セット (S) ボタンを 3 秒間押し続けます。





4)アナログ式タコメーター (RPM)

1 分当たりのエンジン回転数 (RPM) を測定します。メーター上の数字を 1,000 倍した値が実際の回転数です。

5) インジケータースランプ

インジケータースランプはさまざまな状態や問題を示します。

インジケータースランプは単独で点滅するか、別のランプとともに点滅します。

| インジケータースランプ | | 説明 |
|---|----|--|
| すべてのインジケータースランプ | ON | D.E.S.S. キーが付いているときエンジンが始動してないと、すべてのインジケータースランプが作動します |
|  | ON | 燃料が少なくなっています |
|  | ON | エンジン点検の必要あり |
|  | ON | エンジンが高温になっています |
|  | ON | ヘッドライトがハイビームポジションになっています |
|  | ON | ブレーキペダルが 15 秒以上踏まれています |
|  | ON | オペレーターシートベルトが締められていません。エンジン出力が制限され、車両の速度と操作性が低下します。 メインデジタルディスプレイ：FASTEN SEAT BELT (シートベルトを締めてください) |
|  | ON | スポーツモードが起動しています |
|  | ON | ECO モードが起動しています |

6) メインデジタルディスプレイ

役に立つ情報をリアルタイムでオペレーターに示します。

7) 多機能ディスプレイ

車速やエンジン回転数 (rpm) を表示できます。このセクションの「モード (M) ボタン」を参照してください。

重要なメッセージも表示できます。下記表を参照してください。

エンジンの状態が異常になると、メッセージとパイロットランプと一緒に作動します。詳細は「トラブルシューティング」のセクションを参照してください。

| メッセージ | 説明 |
|--|---|
| BRAKE (ブレーキ) | ブレーキを連続して 15 秒間かけたときに表示されるメッセージ。(速度は 5 km/h を超えている必要があります) |
| PERFORMANCE KEY (パフォーマンスキー) | パフォーマンスキーを使用した状態で電源が入ったときに表示されます。 |
| LEARNING KEY (ラーニングキー) | ラーニングキーを使用した状態で電源が入ったときに表示されます。 |
| ワークキー | ワークキーを使用した状態で電源が入ったときに表示されます。 |
| OVERRIDE (オーバーライド) | オーバーライドスイッチが押されてシフトレバーがリバースギアになっているときに、オーバーライドが表示されません。 |
| SEAT BELT (シートベルト) | オペレーター用シートベルトが締められておらず車速が 10km/h 以下のときに、メッセージが表示されてパイロットランプが点灯します。エンジンのトルクは制限されません。 |
| ENGINE LIMITATION ENGAGED FASTEN SEAT BELT (エンジン制限、シートベルトを締めてください) | オペレーター用シートベルトが締められておらず車速が 10km/h を超えているときに、メッセージが表示されてパイロットランプが点灯します。エンジンマネジメントがトルク制限を行い、車速を約 20 km/h に制限します。 |
| SPORT MODE ACTIVE (スポーツモード有効) | スポーツモードが有効なときに表示されます。 |
| ECO MODE ACTIVE (エコモード有効) | ECOモードが有効のときに表示されます。 |
| MAINTENANCE REQUIRED (メンテナンスが必要) ⁽¹⁾ | メンテナンスの時期が来たときに表示されます。 |
| LOW GEAR (ローギア) | ハイギアでベルトプロテクションが有効なときに表示されます。(車両において利用可能で、有効になっている場合) |

⁽¹⁾MAINTENANCE REQUIREDのメッセージを消去するには、次のようにします：

1. パーキングを選択します。

2. 電装システムを起動します。「電装システムの起動」を参照してください。

注：ステップ3～9は、**5秒**以内に完了させる必要があります。

3. オーバーライドスイッチを押したままにします。
4. ブレーキペダルを踏んで放します。
5. オーバーライドスイッチを放しません。
6. ブレーキペダルを踏んで放します。
7. オーバーライドスイッチを押したままにします。
8. ブレーキペダルを踏んで放します。
9. オーバーライドスイッチを放しません。

8) 燃料レベルインジケーター

燃料タンク内の残量を常時示す棒グラフです。

9) ギアボックスポジションインジケーター

選択されたギアボックスのポジションを表示します。

10) エンジン温度インジケーター

エンジンの冷却水温度を常時示す棒グラフです。

11) 数値表示

車速やエンジン回転数 (rpm) を表示できます。このセクションの「モード (M) ボタン」を参照してください。

12) 2WD/4WD インジケーター

このインジケーターが点灯していると、4WD システムが有効になっています。

13) 補助デジタルディスプレイ

役に立つ情報をリアルタイムでオペレーターに示します。表示機能の情報については、「セット (S) ボタン」を参照してください。

ゲージの設定

メートル法とヤード・ポンド法単位の設定

調整については、Can-Am ディーラーにご相談ください。

時計の設定

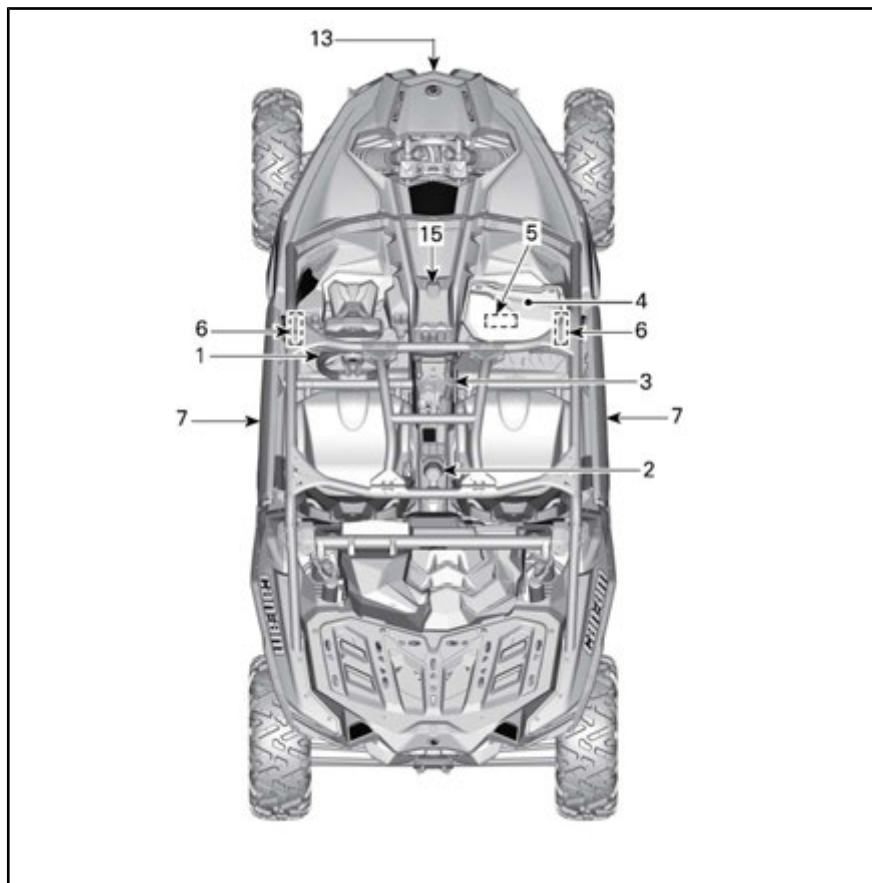
1. 時計表示を選択するにはモード (M) ボタンを押します。
2. モード (M) ボタンを3秒間押し続けます。
3. モード (M) ボタンを押して、12時間表示または24時間表示を選択します。
4. 12時間表示を選択した場合は、A または P が点滅します。モード (M) ボタンを押して A (AM) または P (PM) を選択します。
5. セット (S) ボタンを押して時間を変更します。
6. モード (M) ボタンを押して分に切り替えます (分が点滅します)。
7. セット (S) ボタンを押して分を変更します。
8. モード (M) ボタンを押します。

言語の設定

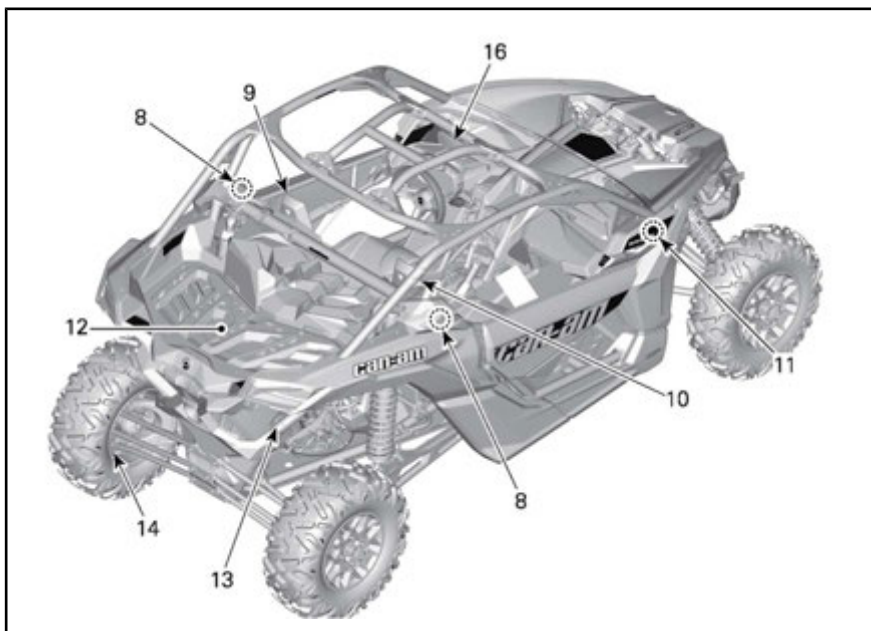
ゲージ表示の言語は変更することができます。利用できる言語について認定 Can-Am ディーラーに問い合わせ、好みに合わせてゲージを設定してください。

装備

注：一部の車体の警告ラベルは図に表示されていません。車両の警告ラベルの
情報については「車両警告ラベル」のサブセクションを参照してください。



代表例



代表例

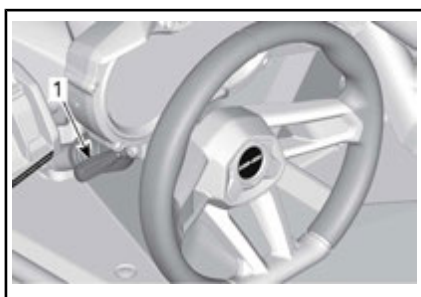
1) チルトステアリング

ステアリングホイールの高さは調整可能です。

ステアリングホイールが自分自身の胸を向くように調整します。頭の方に向けないでください。

ステアリングホイールの高さは次のように調整します：

1. チルトレバーを手前に引いてステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングホイールを希望の位置に移動します。
3. チルトレバーを放してステアリングホイールをその位置にロックします。



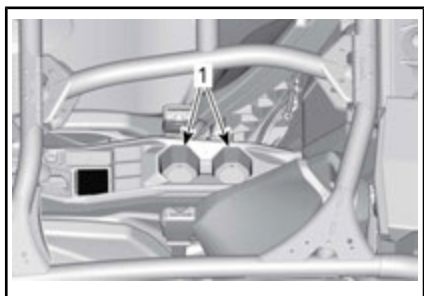
1. チルトレバー

警告

走行中は絶対にステアリングホイールの高さを調整しないでください。制御不能になる可能性があります。

2) カップホルダー

下部コンソール後部に2つのカップホルダーがあります。



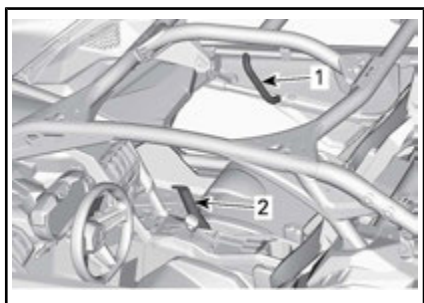
代表例

1. カップホルダー

注：起伏が激しい条件で走行している間は、カップホルダーを使用しないでください。

3) 同乗者用ハンドグリップ

ハンドグリップがコンソール上に1つ、右側ドアに1つあります。



1. ドアのハンドグリップ
2. コンソールのハンドグリップ

ハンドグリップを握ることは、同乗者が車両の動きに身構えるときの補助となり、横転の場合には体をコックピット内に維持するときの補助となります。

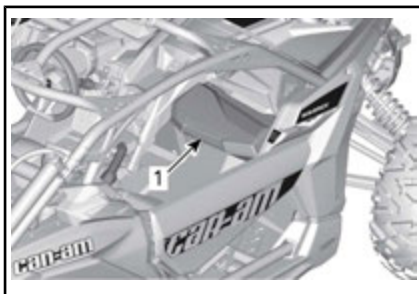


警告

車両のケージの一部をハンドグリップとして絶対に使用しないでください。手がコックピット外部の物に当たったり、横転の際に引っかかったり押しつぶされたりする可能性があります。

4) グローブボックス

車両には、軽量物を運ぶために作られた閉じるタイプのグローブボックスが装備されています。



1. グローブボックス

グローブボックス容量

| | |
|-------|------|
| 最大積載量 | 5 kg |
|-------|------|

5) 工具キット

基本的な工具を含む工具キットが付属しています。これは、グローブボックス内にあります。



1. 工具キット

6) フットレスト

車両には、足を車両のフロアにしっかり置けるように、オペレーターおよび同乗者用のフットレストが装備されています。これにより、走行中に体を正しい位置に維持することができます。

フットレストは、脚や足が負傷するリスクを最小限に抑えるうえで役立ちます。

必ず適切な靴を履いてください。「走行時の衣類・装備類」のサブセクションを参照してください。

7) ドア

車両には、乗員が体および手足全体を車内に維持するのに役立つドアが装備されており、負傷するリスクを減らしています。また、ドアは木の枝や異物がコックピットに入らないようにします。

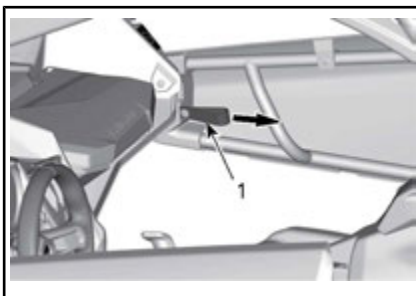
警告

両方のドアを閉じて固定するまでは車両を絶対に運転しないでください。



1. ドアが閉じられて、所定位置でロックされた状態

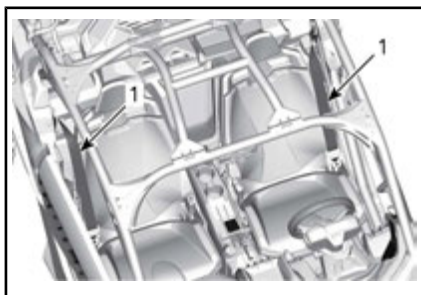
ドアのロックを解除するには、ストラップを引いてラッチを解除します。



1. ラッチストラップ

8) シートベルト

この車両には、衝突、横転または転倒の際にオペレーターと同乗者を保護し、コックピット内に同乗者を維持するうえで役立つシートベルトが装備されています。



1. シートベルト

警告

常にシートベルトを正しく着用してください。シートベルトが体に対してしっかり締め付けられていることを確認してください。シートベルトは衝突時に負傷するリスクを減らし、横転や事故の際に手足をコックピット内に維持するのに役立ちます。

運転席のシートベルトが締められていないと：

- スタートボタンが押されたときに、シートベルトシンジケーターが点滅します。
- エンジンを開始してシフトレバーがパーキング以外の位置になっていないと、車速が最大で約20km/h（平地での速度）に制限されます。

警告

傾斜によっては、車速が上がったり下がったりする場合があります。

シートベルトの着用を思い出させるために、多機能ゲージが ENGINE LIMITATION ENGAGED FASTEN SEAT BELT（エンジン制限、シートベルトを締めてください）というメッセージを表示します。

警告

同乗者のシートベルトに関するインジケーターライトやメッセージはありません。オペレーターは、同乗者の安全に関する責任を負っているため、同乗者がシートベルトを締めていることを確認する必要があります。

3 点式シートベルトの締め付けと調整

シートベルトにはスライドロックングタブが装備されています。

この装置は、調整した位置にシートベルトを固定します。



締め付けた状態のシートベルト

1. スライドロックングタブ

シートベルトのラッチプレートをバックルに差し込み、ベルトを引っ張って正しく締め付けられていることを確認します。

ロックするには：ショルダーベルトを上方向に引くことで、体に対してシートベルトがきつくなるように調整します。



警告

シートベルトを正しく着用してください。シートベルトが体に対してしっかり締め付けられていることを確認してください。ベルトにねじれや不具合がないことを確認してください。

ロックを解除するには：シートベルトを写真のように移動して、示されているベルトの部分を押します。



シートベルトを解除するには、シートベルトバックルの赤いボタンを押します。

9) 運転席

運転席の高さは調整可能です。詳細は「シート高さの調整」を参照してください。

シートを調整するには、シートレバーを動かしてシートのロックを解除します。レバーを放すと、希望の位置にシートをロックできます。

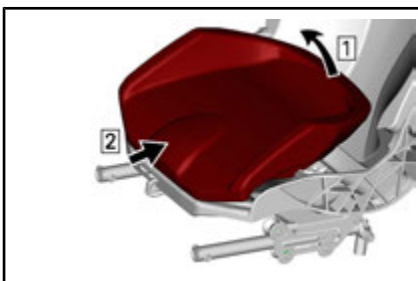
警告

絶対に走行中にシート位置を調整しないでください。

運転席は、シートをフレームに固定している固定ナットを取り外すことで取り外し可能です。「シート高さの調整」を参照してください。

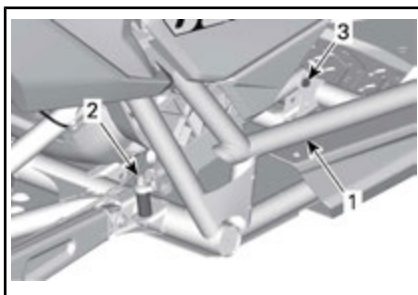
シートクッションの取り外しおよび取り付け

クッション後部を引き上げてから後方へ引いて、クッションをシートフレームから取り外します。



シート高さの調整

シート高さは調整可能です。



1. フレームサポート
2. リア調整構造部
3. フロント調整構造部



シート高さ調整構造部

1. リア調整構造部
2. フロント調整構造部

⚠ 警告

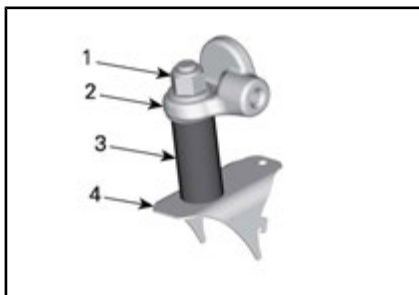
車両走行前に、フロント側の両構造部、およびリア側の両構造部が同じ位置（高または低）に設定されていることを確認します。

高位置への設定

リア調整構造部アッセンブリーを固定している両方の固定ナットを取り外します。

フロント調整構造部を所定位置に固定している両方の固定ナットを取り外します。

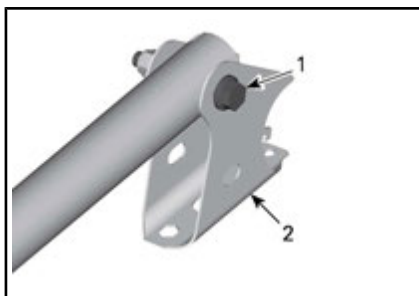
両方のリア調整構造部を下に示すように組み立てます。



高位置のリア調整構造部

1. 固定ナット
2. シートフレーム
3. スリーブ
4. 車両フレーム

両方のフロント調整構造部を下に示すように組み立てます。



高位置のフロント調整構造部

1. 固定ボルト
2. ブラケットサポート

⚠ 警告

車両走行前に、フロント側の両構造部、およびリア側の両構造部が同じ位置（高または低）に設定されていることを確認します。

両方のナットを規定のトルクで締め付けます。

| 締め付けトルク | |
|-----------|--------------------|
| リア調整構造部 | 105 N・m ± 15 N・m |
| フロント調整構造部 | 24.5 N・m ± 3.5 N・m |

低位置への設定

リア調整構造部アッセンブリーを固定している固定ナットを取り外します。

フロント調整構造部を所定位置に固定している固定ナットを取り外します。

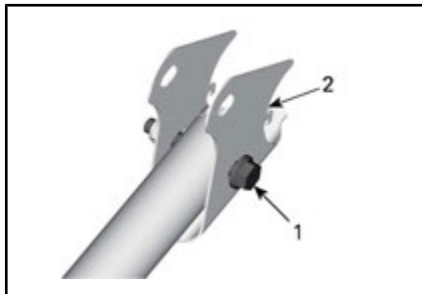
両方のリア調整構造部を下に示すように組み立てます。



低位置のリア調整構造部

1. 固定ナット
2. スリーブ
3. シートフレーム
4. 車両フレーム

両方のフロント調整構造部を下に示すように組み立てます。



低位置のフロント調整構造部

1. 固定ボルト
2. ブラケットサポート

警告

車両走行前に、フロント側の両構造部、およびリア側の両構造部が同じ位置（高または低）に設定されていることを確認します。

両方のナットを規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク

| | |
|-----------|--------------------|
| リア調整構造部 | 105 N・m ± 15 N・m |
| フロント調整構造部 | 24.5 N・m ± 3.5 N・m |

10) 助手席

助手席の高さは調整可能です。詳細は「シート高さの調整」を参照してください。

シートを調整するには、シートレバーを動かしてシートのロックを解除します。レバーを放すと、希望の位置にシートをロックできます。

警告

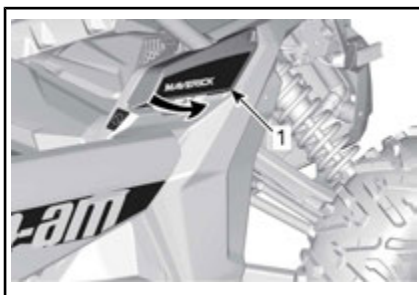
絶対に走行中にシート位置を調整しないでください。

助手席は、シートをフレームに固定している固定ナットを取り外すことで取り外し可能です。「シート高さの調整」を参照してください。

シートクッションは簡単に取り外せません。手順については、「シートクッションの取り外しおよび取り付け」を参照してください。

11) 燃料タンクキャップ

燃料タンクキャップカバーを開きます。



1. 燃料タンクキャップカバー

燃料タンクキャップは、車両右側の前方にあります。

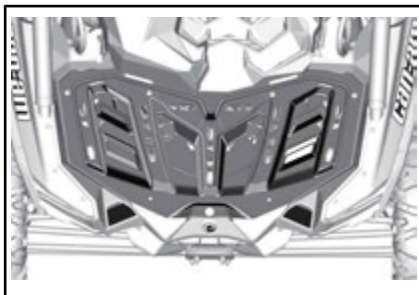


1. 燃料タンクキャップ

給油手順および給油要件については、「燃料」のサブセクションを参照してください。

12) カーゴラック

カーゴラックは、装備品やさまざまな荷物を運搬するのに便利です。絶対に人を運ぶためには使用しないでください。



カーゴラック

⚠ 警告

- 絶対にカーゴラックで人を運搬しないでください。
- 荷物がオペレーターの視線を妨げたり、車両の正常な操舵能力に影響を与えないようにしてください。
- 車両に過剰の荷物を積みすぎないでください。
- すべての荷物が正しく固定され、ラックの外に出ていないことを必ず確認してください。
- ガソリン容器や液体危険物は、この車両用に設計されたり承認されたものでない限り、絶対にカーゴラックに置いて運搬しないでください。

荷物の推奨荷重については、「仕様」のサブセクションを参照してください。

13) リカバリーフック

身動きの取れなくなった車両を救出することができる便利なフックです。



1. フロントリカバリーフック



1. リアリカバリーフック

14) ホイールスクレーパー

リアホイールの内側にあつて、ホイール内の部品を損傷する恐れのあるホイールへの泥の堆積を減らします。



1. ホイールスクレーパー

ホイールスクレーパーの状態を確認します。いずれかの場所で摩耗が摩耗限度を超えている場合は交換します。



1. 摩耗限度

15) 12 ボルト電源出力

懐中電灯などの携帯機器の使用に便利です。



1. 12V電源出力

保護キャップを取り外して使用します。環境から保護するために、使用後は必ず保護キャップを再度取り付けてください。

定格容量を超えないでください。「仕様」のサブセクションを参照してください。

16) センターミラー

この車両にはセンターミラーが装備されています。

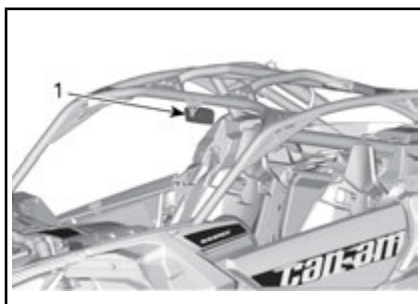
ミラーは、オペレーターの好みに合わせて調整できます。

ミラーを調整するには、ミラー裏側でロックされているノブを緩め、希望の位置でミラーを固定します。



警告

走行中はミラーを調整しないでください。制御不能になる可能性があります。



1. センターミラー

乗り心地の調整

サスペンションの調整ガイドライン

車両の操作性と快適性は、サスペンションの調整具合によって変わります。



サスペンションの調整は、車両の操作性に影響を与える可能性があります。サスペンションの調整後、必ず時間を取って車両に慣れるようにしてください。

サスペンションの調整で選択した状態は、車両の荷重、個人の好み、走行速度および地形条件によって変化します。

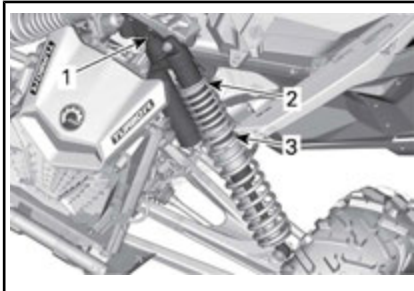
最も良いサスペンションの設定方法は、工場設定の状態から始めて、一度に1つずつ調整をカスタマイズすることです。

フロントとリアの調整は相互に関係しています。例えば、フロントショックアブソーバーの調整後に、リアショックアブソーバーを再調整しなければならない場合があります。

トレイル、速度、負荷などの条件を同じにして、車両の試運転を行います。調整を1つ変更して、再度テストします。満足するまで、系統立てて作業を進めてください。

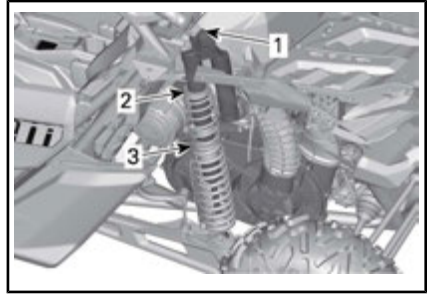
以下の示すのは、サスペンションの微調整のガイドラインです。

位置の調整



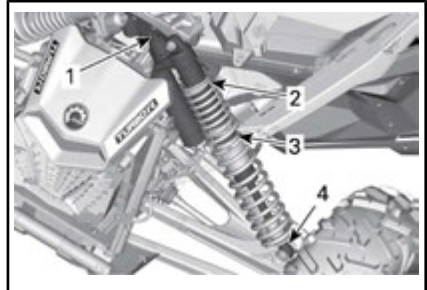
代表例 - MAVERICK X3 モデル - フロントサスペンション

1. 圧縮ダンパー
2. プリロード
3. スプリングクロスオーバー



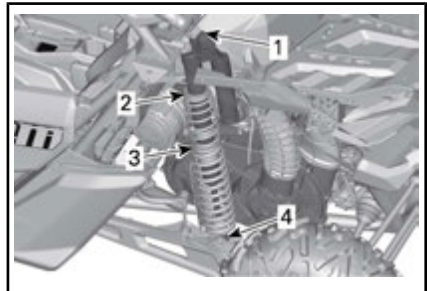
代表例 - MAVERICK X3 モデル - リアサスペンション

1. 圧縮ダンパー
2. プリロード
3. スプリングクロスオーバー



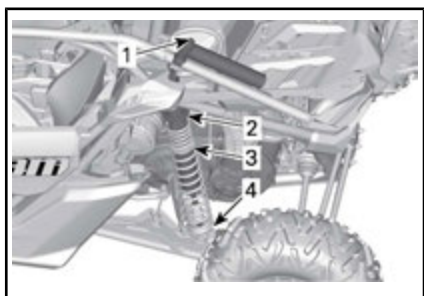
TYPICAL - MAVERICK X3 X DS および X RS モデル - フロントサスペンション

1. 圧縮ダンパー (高速および低速)
2. プリロード
3. スプリングクロスオーバー
4. リバウンドダンパー



代表例 - MAVERICK X3 X DS モデル - リアサスペンション

1. 圧縮ダンパー (高速および低速)
2. プリロード
3. スプリングクロスオーバー
4. リバウンドダンパー



代表例 - MAVERICK X3 X RS モデル - リアサスペンション

1. 圧縮ダンパー（高速および低速）
2. プリロード
3. スプリングクロスオーバー
4. リバウンドダンパー

サスペンションの工場設定

調整手順については、このセクションの「スプリングのプリロード調整（フロントおよびリア）」および「ショックダンパーの調整（フロントおよびリア）」を参照してください。

圧縮およびリバウンドダンパーを工場設定に調整するには、次のようにします：

1. アジャスターを時計方向に止まるまで回します。
2. アジャスターを規定量だけ反時計方向に回します。下記表を参照してください。

フロントサスペンションの工場設定

| 調整項目 | モデル | 工場設定 |
|--------------|------------------|----------|
| スプリングプリロード | Maverick X3 | 36.8 mm |
| | Maverick X3 X ds | 38.5 mm |
| | Maverick X3 X rs | 53 mm |
| 圧縮ダンパー | Maverick X3 | ポジション 2 |
| 圧縮ダンパー（低速） | Maverick X3 X ds | 2 回転 |
| | Maverick X3 X rs | 2 回転 |
| 圧縮ダンパー（高速） | Maverick X3 X ds | 2 回転 |
| | Maverick X3 X rs | 3 回転 |
| リバウンドダンパー | Maverick X3 X ds | ポジション 12 |
| | Maverick X3 X rs | ポジション 12 |
| クロスオーバーリング位置 | Maverick X3 | 122.8 mm |
| | Maverick X3 X ds | 120 mm |
| | Maverick X3 X rs | 71 mm |

| リアサスペンションの工場設定 | | |
|------------------|------------------|----------|
| 調整項目 | モデル | 工場設定 |
| スプリングプリロード | Maverick X3 | 89 mm |
| | Maverick X3 X ds | 96.7 mm |
| | Maverick X3 X rs | 105.8 mm |
| 圧縮ダンパー | Maverick X3 | ポジション 2 |
| 圧縮ダンパー (低速) | Maverick X3 X ds | 2 回転 |
| | Maverick X3 X rs | 2 回転 |
| 圧縮ダンパー (高速) | Maverick X3 X ds | 3 回転 |
| | Maverick X3 X rs | 3 回転 |
| リバウンドダンパー | Maverick X3 X ds | ポジション 15 |
| | Maverick X3 X rs | ポジション 12 |
| クロスオーバーリング 位置 | Maverick X3 | 126.1 mm |
| | Maverick X3 X ds | 121.1 mm |
| | Maverick X3 X rs | 154.6 mm |

サスペンション調整

スプリングのプリロード調整

注：スプリングのプリロードは地上高に影響します。

硬めの乗り心地や粗い走行条件、またはトレーラーをけん引するとき（ヒッチが装備されている場合）に、スプリングを短くします。

柔らかい乗り心地やスムーズな走行条件の場合は、スプリングを長くします。



警告

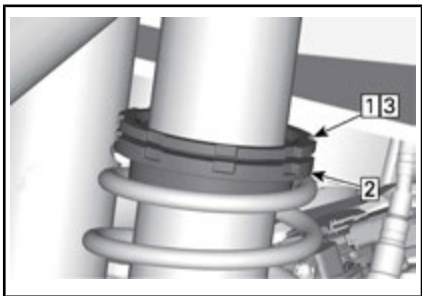
フロントおよびリアサスペンションの左右のショック調整は、必ず同じ位置に設定する必要があります。片方のショックだけを調整しないでください。不均等な調整は、操作性や安定性の低下をもたらす、事故を引き起こす可能性があります。

車両を持ち上げます。スプリングの長さは、ホイールに負荷がかかっていない状態で測定する必要があります。

スプリングの長さは、両側とも同じにする必要があります。

ロックリングを緩めて、アジャスターリングを好みに合わせて調整します。車両の工具キットにある工具を使用してください。

注：工場設定よりも 15 mm を超えてフロント／リアのスプリングプリロードを増やさないでください。



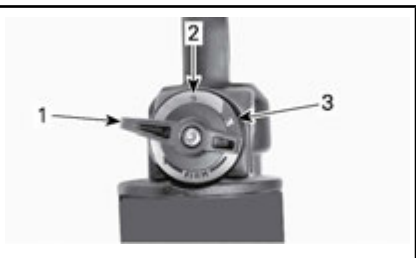
代表例

- 手順1: トップロッキングリングを緩める
 手順2: これに合わせてアジャスティングリングを回す
 手順3: トップロッキングリングを締める

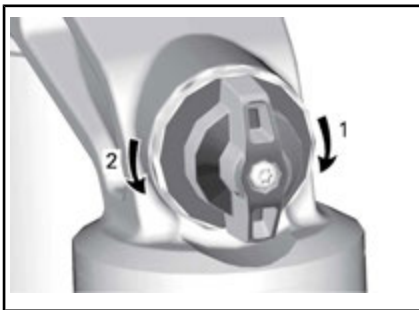
ショックダンパーの調整 (Maverick X3)

圧縮ダンパーは、走行時のショックアブソーバーの応答の仕方を制御します。

| ポジション | 設定 | 大きな起伏での挙動 |
|-------|---------------|-----------|
| 1 | 柔らかい | 柔らかめの圧縮減衰 |
| 2 | 中程度 (工場設定) | 中程度の圧縮減衰 |
| 3 | 硬い | 硬めの圧縮減衰 |



1. ポジション1
 2. ポジション2
 3. ポジション3



圧縮ダンパー

1. 減衰力を**増やす** (硬め)
 2. 減衰力を**減らす** (柔らかめ)

ショックダンパーの減衰力を**増やす**には、アジャスターを時計方向に回します (硬め)。

ショックダンパーの減衰力を**減らす**には、アジャスターを反時計方向に回します (柔らかめ)。

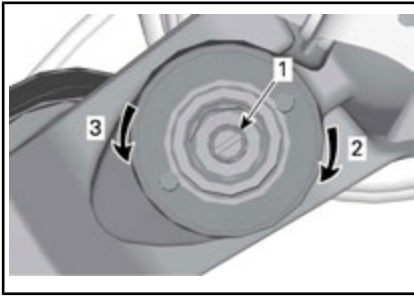
| 措置 | 結果 |
|-----------|-----------|
| 圧縮減衰力を増やす | 硬めの圧縮減衰 |
| 圧縮減衰力を減らす | 柔らかめの圧縮減衰 |

警告
 圧縮減衰の設定が両側とも同じになっていることを確認します。

低速圧縮ダンパー (Maverick X3 Xds および Maverick X3 Xrs)

低速圧縮ダンパーは、低サスペンション速度 (遅い圧縮ストローク、ほとんどは低速で走行しているとき) に対するショックアブソーバーの応答の仕方を制御します。

| 措置 | 大きな起伏での挙動 |
|-------------|------------------|
| 低速圧縮減衰力を増やす | 硬めの圧縮減衰 (低速圧縮) |
| 低速圧縮減衰力を減らす | 柔らかめの圧縮減衰 (低速圧縮) |



低速圧縮ダンパー（スクリウドライバーを使用）

1. 調整スクリュー
2. 圧縮減衰力を**増やす**（硬め）
3. 圧縮減衰力を**減らす**（柔らかめ）

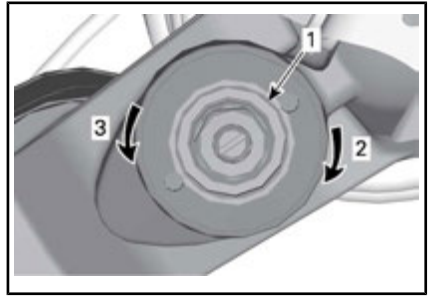
時計方向（H）に回すと、ショックダンパーの減衰力が**増加します**（硬め）。

反時計方向（H）に回すと、ショックダンパーの減衰力が**減ります**（柔らかめ）。

高速圧縮ダンパー（Maverick X3 X ds および Maverick X3 X rs）

高速圧縮ダンパーは、高サスペンション速度（速い圧縮ストローク、ほとんどは高速で走行しているとき）に対するショックアブソーバーの応答の仕方を制御します。

| 措置 | 大きな起伏での挙動 |
|-------------|-----------------|
| 高速圧縮減衰力を増やす | 硬めの圧縮減衰（高速圧縮） |
| 高速圧縮減衰力を減らす | 柔らかめの圧縮減衰（高速圧縮） |



高速圧縮ダンパー（17MMレンチを使用）

1. 調整スクリュー
2. 圧縮減衰力を**増やす**（硬め）
3. 圧縮減衰力を**減らす**（柔らかめ）

リバウンドダンパー（Maverick X3 X ds および Maverick X3 X rs）

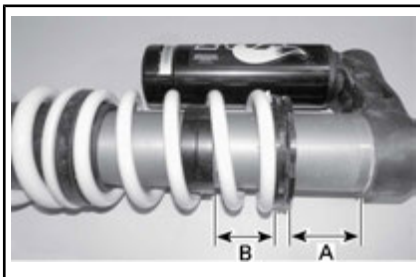
マイナスドライバーを使用して調整します。



1. リバウンドアジャスター
2. リバウンドを**増やす**（硬め）
3. リバウンドを**減らす**（柔らかめ）

スプリングクロスオーバーの調整

クロスオーバーリングの位置を調整することで、デュアルコンプレッションレートクロスオーバーポイントを変更できます。認定Can-Amディーラーにお問い合わせください。



代表例-クロスオーバーの調整-リアショック

- A. スプリングプリロード
- B. クロスオーバーリング位置

DPS 機能

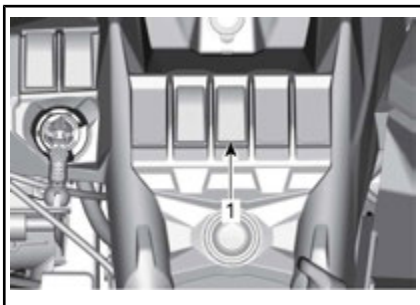
該当のモデルには、ダイナミックパワーステアリング (DPS) システムが装備されています。DPSは、ステアリングホイールを回す労力を減らします。

車両には、次に示すDPSモードがあらかじめ設定されています。

| DPS モード | |
|----------|------------------|
| DPS MAX. | 最大のステアリングアシスト機能 |
| DPS MED. | 中程度のステアリングアシスト機能 |
| DPS MIN. | 最小のステアリングアシスト機能 |

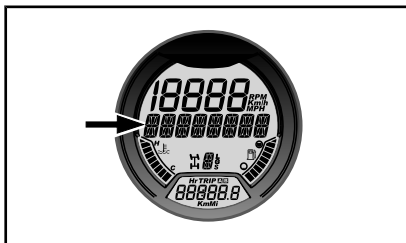
有効なDPSモードを表示するには、以下の手順に従ってください：

1. **DPS** スイッチを押して放します。



1. DPS スイッチ

2. 多機能ゲージを見て、有効なDPSモードを確認します。



アナログ/デジタルゲージ

1. DPS モード表示

DPSモードを変更するには、以下の手順に従ってください：

1. **DPS** スイッチを2秒間押したままにして、次の設定に進みます。
2. **DPS** スイッチを放します。
3. 希望の設定が選択されるまで繰り返しします。

注：車両のトランスミッションが**REVERSE (後進)**に設定されている場合は、DPSの調整が可能です。

燃料

燃料に関する要件

注記 必ず新しいガソリンを使用してください。ガソリンは酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の喪失、およびガム質やワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷することがあります。

アルコール燃料の混合は、国および地域によって異なります。車両は、推奨燃料を使用して動作するように設計されていますが、次のことに注意してください。

- 国の規制によって定められた割合を超えるアルコールを含んだ燃料の使用は、推奨されていません。使用した場合、燃料システムコンポーネントに次のような問題が発生することがあります。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の劣化。
 - 金属部品の腐食。
 - エンジンの内部部品の損傷。
- ガソリンのアルコール含有量が国の規制を超えていると疑われる場合は、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか頻繁に点検してください。
- アルコールを混ぜた燃料は水分を引き寄せて保持するため、燃料の相分離が生じ、エンジン性能の問題やエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

オクタン価 91の AKI (R+M)/2、またはオクタン価 95の RON を含んだプレミアム無鉛ガソリンを使用してください。

注記 他の燃料を試さないでください。不適切な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を引き起こす場合があります。

注記 E85のラベルがある燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S.EPA (米国環境保護庁) の規制により禁止されています。

車両への給油手順

警告

- 燃料は、一定の条件下で可燃性および爆発性を持ちます。
- 裸火を明かりにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。
- 絶対に近くでタバコを吸ったり、炎や火花を発生させたりしないでください。
- 換気のよい場所で作業してください。
- 給油時は、車両を水平面に駐車してください。

1. 車両を水平面に駐車します。
2. エンジンを停止します。

警告

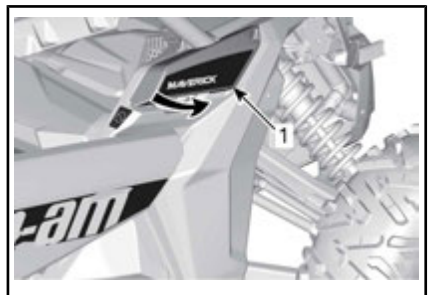
給油前に必ずエンジンを停止してください。

3. オペレーターと同乗者は車両から降りてください。

警告

給油中、誰も車両に乗せないでください。給油中に火災や爆発が起きた場合、車両に乗っていると、その場所から直ちに逃げるできない可能性があります。

4. 燃料タンクキャップカバーを開きます。



1. 燃料タンクキャップカバー
5. 燃料タンクキャップを反時計回りにゆっくり回して、キャップを外します。



1. 燃料タンクキャップ

⚠ 警告

差圧が感じられた（燃料タンクキャップを緩めるときに笛のような音が聞こえた）場合、作業を続ける前に車両を点検または修理してください。

6. 給油ノズルをフィルターネックに差し込みます。
7. タンクから空気を逃がして燃料が逆流しないように、燃料をゆっくり注ぎます。燃料をこぼさないように注意してください。
8. 燃料がフィルターネックの根元のところまで達したら、給油を止めます。**入れすぎないでください。**

⚠ 警告

車両を温かい場所に停車する前に、絶対に燃料タンクに補充しないでください。温度上昇につれて、燃料が膨張し流出する可能性があります。

9. カチッと音がするまで、燃料タンクキャップを反時計方向にしっかり締めます。

⚠ 警告

車両からこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

ガソリン容器への給油

⚠ 警告

- 燃料の保管には、許可されたガソリン容器だけを使用してください。
- 絶対に車両上でガソリン容器にガソリンを補充しないでください。静電気の放電により燃料に着火する恐れがあります。

慣らし運転期間

慣らし運転中の運転

この車両には、10時間または300kmの慣らし運転期間が必要です。


エンジン

慣らし運転期間中は：

- アクセル全開での運転は避けてください。
- アクセルペダルをストロークの3/4以上踏み込むのは避けてください。
- 加速を維持し続けるのは避けてください。
- 巡航速度での長時間の運転は避けてください。

ただし、短い加速や速度の変動は、慣らし運転の質を向上させます。

ブレーキ

| |
|---|
|  警告 |
| 新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、十分注意してください。 |

ベルト

新品のベルトには、50kmの慣らし期間が必要です。

慣らし運転期間中は：

- 激しい加速や減速は避けてください。
- 貨物のけん引は避けてください。
- 高速での巡航は避けてください。

基本手順

エンジンの始動

D.E.S.S. キーを D.E.S.S. ポストに取り付けます。

ブレーキペダルを踏みます。

注：シフトレバーをパーキング (P) にしていない場合は、ブレーキペダルを踏んでエンジンを始動できるようにする必要があります。

エンジンが始動するまで、エンジンスタートボタンを押し続けます。

注：アクセルペダルを踏み込まないでください。アクセルペダルを 20% 以上踏み込むと、エンジンは始動しません。

エンジンが始動したら、エンジンスタートボタンを直ちに放します。

注記 数秒経ってもエンジンが始動しない場合は、エンジンスタートボタンを 10 秒以上押し続けたままにしないでください。「トラブルシューティング」のセクションを参照してください。

約 10 秒待って、エンジンオイルがエンジンとターボを流れるようにします。

電装システムの起動

スタートボタンを 1 秒弱押し放すと、

- D.E.S.S. キーが D.E.S.S. ポストに取り付けられていない場合は、いずれの装置類にも電源を供給しない状態で電装システムが 20 秒間オンになります。
- D.E.S.S. キーが D.E.S.S. ポストに取り付けられている場合は、10 秒間オンになって装置類に電源を供給します。D.E.S.S. キーが取り外された場合は、20 秒後に電装システムが遮断されます。

注記 電装システムを頻繁に起動したり、電気装置を使用すると、バッテリーを消耗してエンジンを始動できなくなる場合があります。

トランスミッションのシフト

ブレーキをかけて、希望するシフトレバー位置を選択します。

ブレーキを解除します。

注記 選択したギアを変更するときは、必ずブレーキをかけて車両を完全に停止してからシフトしてください。そうしない場合、トランスミッションが損傷する恐れがあります。

適切なレンジ（ローまたはハイ）の選択

ドライブベルトが過剰にスリップする既知の状況を限定することが重要です。この主な理由は、ギアボックスがローレンジであるべきときにハイレンジになっていると、ドライブベルトがスリップするためです。

以下の点に注意してください：

ローレンジ

ローレンジは下記のときに使用する必要があります：

- 引く作業
- 押す作業
- 貨物のけん引
- 4 輪駆動用途
- 泥穴
- 水穴
- 障害物を乗り越えるとき
- トレーラーに載せるとき
- 傾斜を上るとき

また、24 km/h 未満で長時間走行する場合も、ローレンジを使用するよう推奨しています。

ベルトの慣らし期間に関する詳細は、このガイドの「慣らし運転期間」のサブセクションを参照してください。

ハイレンジ

ハイレンジは、最初に設定されている走行レンジです。

電子式ドライブベルト保護（車両において利用可能で、有効になっている場合）

一部の車両では、電子式ドライブベルト保護機能が有効になっています。

利用可能かどうかは、認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。

この機能は、下記状況など、**ハイレンジ**に対して極めて遅い速度で走行するときに有効になります。

- 引く作業
- 押す作業

- 貨物のけん引
- 4輪駆動用途
- 泥穴
- 水穴
- 障害物を乗り越えるとき
- トレーラーに載せるとき
- 傾斜を上るとき

上述の状況では、電子式ドライブベルト保護機能がエンジントルクリミッターを起動させることで、CVTドライブベルトの損傷防止に役立ちます。ゲージは、LOW GEAR (低速ギア) というメッセージもスクロール表示して、車両を動かさないためローギアにするようオペレーターに提案します。

電子式ドライブベルト保護機能が起動したときは、必ずシフトをローレンジにシフトする必要があります。「トランスミッションのシフト」を参照してください。

状況によりローレンジにシフトできない場合は、オーバーライドスイッチを押して、一時的に電子式ドライブベルト保護機能を無効にすることができます。「オーバーライドスイッチ」を参照してください。

警告

傾斜が急すぎて転倒するリスクがある場合は、オーバーライドスイッチを使用しないでください。ブレーキをかけて車両を止めてください。シフトレバーをリバース (R) に入れて、傾斜を後進して下ります。ブレーキをわずかに緩めて、低速を維持してください。転回しようとししないでください。絶対に車両をニュートラルの状態にして傾斜を下りないでください。転倒のリスクが高まるため、急ブレーキをかけないでください。

エンジンの停止と車両の駐車

警告

車両が動き出す恐れがあるため、急な傾斜での駐車は避けてください。

警告

動き出すのを防止するため、停車および駐車時は必ずシフトレバーをパーキングにしてください。

警告

高温部品で火災が生じるような場所には駐車しないでください。

停車および駐車時は必ずシフトレバーをパーキング位置にしてください。これは、傾斜地で駐車するときに特に重要です。急な傾斜や車両が荷物を運搬している場合は、右やレングを使用し、車両に輪止めをかけてください。

駐車する際は、最も平坦な地形を選択します。

アクセルペダルを放し、ブレーキを使って車両を完全に停止します。

シフトレバーをパーキング位置にします。

スタート/ストップボタンを押してエンジンを停止します。

ポストから D.E.S.S. キーを取り外します。

急な傾斜地に駐車せざるを得ない場合や車両が荷物を運搬している場合は、岩やレングを使ってホイールに輪止めをかけてください。

激しい走行の後には、エンジンを停止して車両を駐車する前に、車両を 20 ～ 30 秒間アイドリングさせてターボシステムを冷ましてください。

ドライブベルトの耐久性を最大限にするためのアドバイス

走行スタイルや条件は、ドライブベルトの耐久性に直接影響を与えます。この車両は、最高の性能を発揮するために最適化された CVT システムデザインを特徴としており、CVT とドライブベルトは、長距離にわたる耐久試験にも問題なく耐えています。しかし、ドライブベルトの耐久性を最大限にして早期故障を防止するためには、オペレーターが CVT システムによって駆動されるベルトの限度を理解し、それに従って走行スタイルや速度を適応させることが重要です。

下記のいずれかの条件で走行する場合、BRP では、5 分を超えてアクセル全開 (WOT) の状態を維持しないよう強く推奨しています。

- 周辺温度が高い (30°C を超える)
- 積載物 (乗員/荷物) が重い
- 抵抗が強い (柔らかい砂地/登坂/泥/トラックキットの使用)

WOT の状態で数分経った後は、アクセルペダルを少し解除して、CVTを冷やすようにしてください。

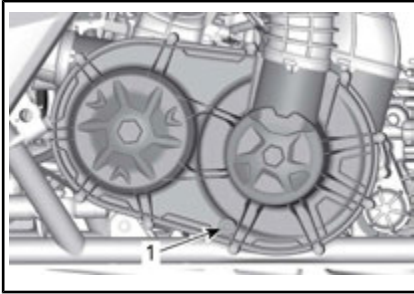
ドライブベルトの耐久性を最大限にするためのアドバイスの詳細は、「適切なレンジ（ローおよびハイ）の選択」を参照してください。

特殊手順

CVTに水が混入した場合の対処

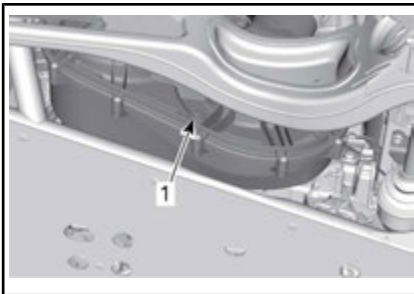
CVT内に水がある場合、エンジンは加速しますが、車両は静止したままになります。

注記 エンジンを停止して水を抜き取り、CVTの損傷を防止してください。



1. CVTのドレイン

CVTのドレインには、車両左側の後部下側からアクセスできます。



1. CVTのドレイン

認定Can-Amディーラーに相談して、CVTの点検と清掃を行ってください。

バッテリーがあがった場合の対処

赤 (+) のケーブルをバッテリーのプラス極および黒 (-) のケーブルを車両のシャーシに接続して、車両のジャンプスタートを行うことができます。

注記 ステアリングコラムには電源を接続しないでください。

車両が横転したときの対処

急な操作、急な転回、斜面の横断、または事故により、車両が横転する場合があります。

車両が横転した場合は、車両を認定Can-Amディーラーに移送してできるだけ早く点検する必要があります。**絶対にエンジンを始動しないでください。**

確認すべき項目は下記のとおりです（ただし、これらに限定されません）：

- すべてのフルードの量
- シートベルト（リトラクター、バックルおよびロックングタブを含む）
- ケージ
- ステアリングシステム
- サスペンション

車両が水に沈んだ場合の対処

車両が水に沈んだ場合は、車両を認定Can-Amディーラーに移送してできるだけ早く点検する必要があります。

注記 車両の水没は、正しい再始動手順に従わないとエンジンに重大な損傷が生じる恐れがあるため、絶対にエンジンを始動しないでください。

車両の移送

車両を移送する必要がある場合は、適切なサイズと能力を持つ平床トレーラーで移送してください。

注記 この車両をけん引しないでください。けん引すると、車両の駆動システムに重大な損傷が生じる場合があります。

けん引または移送サービスに問い合わせる場合は、平床トレーラーがあるか、車両を安全に搭載するための道板または動力式の道板、および固定用ストラップがあるか尋ねてください。このセクションで規定したように車両を適切に移送してください。

注記 チェーンを使用した車両を固定は避けてください。表面仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷する恐れがあります。

警告

車両にウィンドシールドが装備されている場合は、損傷を防ぐためにウィンドシールドを前方に向けて移送してください。

移送のために車両をプラットフォームに積み込むには、以下の手順に従ってください。

1. シフトレバーをニュートラル (N) にします。
2. その後、
 - 2.1 フロントリカバリーフックの周りにストラップを巻きます。



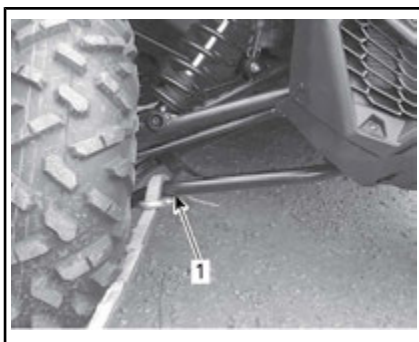
1. フロントリカバリーフック

- 2.2 ストラップを、けん引車両のウィンチケーブルに取り付けます。
 - 2.3 ウィンチを使って車両を平床トレーラーに引っ張りこみます。
3. D.E.S.S. ポストからキーを取り外します。

4. リア側で、ストラップをセンターサスペンションアームのできるだけホイールに近い側に巻いて、車両の両側を固定します。



1. リアセンターサスペンションアーム
5. フロント側で、ストラップをロアサスペンションアームのできるだけホイールに近い側に巻いて、車両の両側を固定します。



1. フロントロアサスペンションアーム
6. タイヤけん引ストラップを使用してリアタイヤを縛ります。
7. ラチェットを使用して、リアサスペンション固定ストラップをトレーラーの後部両側にしっかり取り付けます。
8. 前輪および後輪の両方がトレーラーにしっかり固定されていることを確認します。

警告

車両移送中に車内に固定されていない物がないことを確認してください。

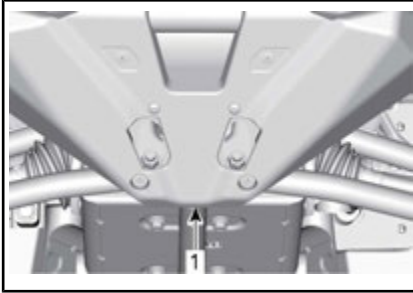
車両の持ち上げおよび支持

車両フロント部

車両を滑りにくい平らな地面に駐車します。

シフトレバーがパーキング位置になっていることを確認します。

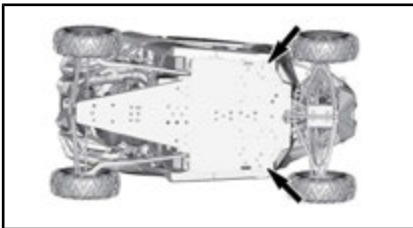
円形のチューブの下に油圧ジャッキを取り付けます。



車両フロント部

1. 油圧ジャッキ位置

車両フロント部を持ち上げて、下の図のように、ジャッキスタンドを各側のフレームの下に取り付けます。



ジャッキスタンド位置 - 車両フロント部

油圧リフトを下げて、車両が両方のジャッキスタンドで安全に支えられていることを確認します。

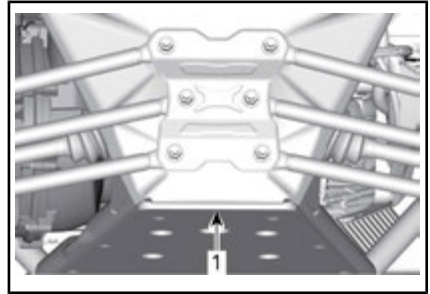
車両リア部

車両を滑りにくい平らな地面に駐車します。

4WD モードを起動します。

シフトレバーがパーキング位置になっていることを確認します。

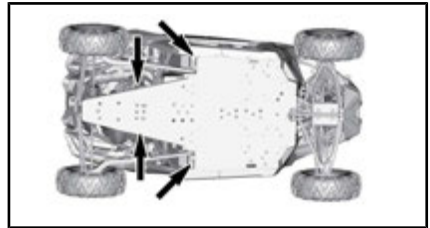
車両の下に油圧ジャッキを取り付けます。



車両リア部

1. 油圧ジャッキ位置

車両リア部を持ち上げて、下の図のように、ジャッキスタンドを各側のフレームの下に取り付けます。



ジャッキスタンド位置 - 車両リア部

油圧リフトを下げて、車両が両方のジャッキスタンドで安全に支えられていることを確認します。

**このページは
意図的に空白になっています**

メンテナンス

メンテナンススケジュール

車両を安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。適切なメンテナンスを行うのは所有者の責任です。車両は、メンテナンススケジュールに基づいて整備してください。

修理工場または所有者が指定した整備士が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順では、コンポーネントや BRP または認定 Can-Am ディーラーによる整備は必要ありません。認定 Can-Am ディーラーは、Can-Am SSV を整備するための高度な知識や工具を有していますが、排出ガス関連保証は、認定 Can-Am ディーラーまたは BRP と取引のある工場の使用を条件としていません。排出ガス関連保証の請求では、BRP は排出ガス関連部品の診断と修理を認定 Can-Am ディーラーに限定しています。詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。適切なメンテナンスを行うのは所有者の責任です。所有者またはオペレーターによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

本書の「給油」のセクションに記載されている、燃料要件に関する指示に従ってください。エタノールの含有率が 10 体積 % を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国 EPA はエタノールの含有率が 10 体積 % を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されます。このエンジンに、エタノールの含有率が 10 体積 % を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

メンテナンスの要件を思い出すために、ゲージには **50 運転時間毎に MAINTENANCE REQUIRED (メンテナンスが必要)** というメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、「多機能ディスプレイ」のサブセクションを参照してください。

スケジュールどおりにメンテナンスを行っていても、走行前点検は必要です。



警告

メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な動作が損なわれます。

粉塵が非常に多い条件

エアフィルターのメンテナンスガイドライン

エアフィルターのメンテナンスは、走行条件に応じて調整する必要があります。エアフィルターのメンテナンスは、次のような粉塵の多い条件下では回数を増やす必要があります：

- 乾燥した砂地での走行
- 乾燥した泥で覆われた表面での走行
- 乾燥した砂利道またはそれに類似した条件での走行

注：これらの条件下でグループで走行する場合は、エアフィルターのメンテナンスの回数がさらに増えることになります。

メンテナンススケジュールの例

トレイルでの走行条件での使用

過酷な走行条件（粉塵または泥が多い）、または重量物を運搬する条件での使用

メンテナンススケジュール

表に示された推奨間隔で適切なメンテナンスを行うようにしてください。メンテナンススケジュールの一部の項目は、走行距離または運転時間に関わらず、暦どおりに行う必要があります。

| |
|--|
| 毎年、または 3,000 km もしくは 100 時間毎 (いずれか早い方) |
| 毎年、または 1,500 km もしくは 50 時間毎 (いずれか早い方) |
| 故障コードを確認する |
| 走行前点検で示されたすべての項目を実施する |
| エンジンオイルとフィルターを交換する |
| ギアボックスオイルの量を点検し、汚れがないか調べる |
| エンジンエアフィルターを点検して清掃する。必要に応じて交換する |
| ステアリングシステム (コラム、ラックおよびピニオン、ベローズ) に異常な遊びや損傷がないか点検する |
| タイロッドエンドとボールジョイントに遊びがないか、およびブーツの状態を点検する |
| ホイールベアリングに異常な遊びがないか点検する |
| サスペンションアームブッシングおよびウェアプレートを点検する。必要に応じて交換する |
| フロントおよびリアショックアブソーバーの球面ベアリングのOリングを点検する (損傷している場合は、清掃して潤滑し、Oリングを再度取り付ける) |
| サスペンションアームとスタビライザーブッシング (フロント/リア) を潤滑する |
| CV ジョイントとラバーブーツの状態を点検する (ジョイントに異常な遊びがないか、ラバーブーツが切れていないか確認する) |
| ブレーキシステム (フルードレベル、パッド、ディスク、ライン、キャリパー) を点検し、清掃する |
| フロントディファレンシャルオイルのレベルを点検して汚れがないか探し、全体の状態 (ベント、マウントボルトトルク、シール) を確認する |
| バッテリーの状態と接続部を点検する |
| プロペラシャフトのUジョイントに異常な遊びがないか点検する |
| エキゾーストパイプとマフラー部分を清掃する |
| マフラースパークアレスターを清掃する |
| 燃料ベントブリーザーフィルターを交換する |
| CVT ドライブベルトを点検し、CVT プーリーを清掃する |

| |
|---|
| 毎年、または 3,000 km もしくは 100 時間毎 (いずれか早い方) |
| 毎年、または 1,500 km もしくは 50 時間毎 (いずれか早い方) |
| ドライブプーリーのニードルベアリングを点検、清掃、および潤滑する |
| 遠心式レバーおよびドライブプーリーのローラーを点検する |
| インプットおよびアウトプットシャフトシール (エンジン、ギアボックス、ディファレンシャル) を点検する |
| ビードロックボルト (装備されている場合) を点検する |
| リアホイールスクレーパーのウェアプレートを点検する |
| ケージファスナーを締め付ける (交換用ケージが装備されている場合) |
| シートベルトリトラクター、バックルおよびロッキングタブの点検、清掃、および正常動作の確認を行う |
| 冷却水レベルを確認し、必要に応じて調整する |

| |
|--|
| 最初の 3,000 km および 6,000 km の走行後に実施し、以降は定期スケジュールに従ってください |
| 最初の 1,500 km および 3,000 km の走行後に実施し、以降は定期スケジュールに従ってください |
| ギアボックスオイルを交換します |

| |
|--|
| 2 年毎、または 6,000 km もしくは 200 時間走行毎 (いずれか早い方) |
| 2 年毎、または 3,000 km もしくは 100 時間走行毎 (いずれか早い方) |
| 故障コードを確認する |
| 走行前点検で示されたすべての項目を実施する |
| フロントディファレンシャルオイルを交換する |
| ギアボックスオイルを交換する |
| ブレーキオイルを交換する (2 年に一度行ってください) |
| エンジン冷却水の濃度と量を確認する |
| 燃料システムに漏れがないか確認する |
| 燃料ポンプ圧を確認する (アイドリング時およびアクセル全開時) |
| スパークプラグを交換する |
| 車速センサーを清掃する |

5年毎、または 12,000 km 走行毎 (いずれか早い方)

5年毎、または 6,000 km 走行毎 (いずれか早い方)

エンジン冷却水を交換する

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

注：メンテナンスのメッセージは、起動時にオーバーライドスイッチとブレーキペダルを交互に3回押すと消去できます。

警告

特に指示がない限り、必ず D.E.S.S. キーをD.E.S.S.ポストから取り外してから、メンテナンスを実行してキーを取り外します。

警告

ロック装置（ロックタブ、戻り止めファスナーなど）の取り外しが必要な場合、必ず新品と交換してください。

エンジンエアフィルター

注記 エアインテークシステムを改造しないでください。改造した場合、エンジン性能の低下や損傷が生じる可能性があります。エンジンは、特にこれらのコンポーネントとともに動くように校正されています。

エンジンエアフィルターの交換ガイドライン

エンジンエアフィルターは、適切なエンジン性能と寿命を確保するうえで重要であるため、その交換回数は走行条件によって調整する必要があります。

下記の過酷な走行条件下では、エンジンエアフィルターの交換回数を増やす必要があります。

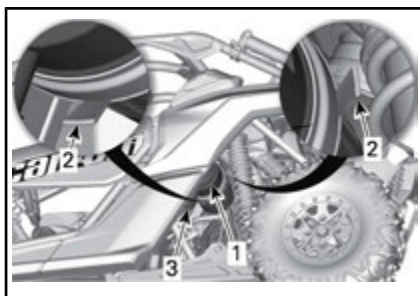
- 乾燥した砂地での走行。
- 乾燥した泥で覆われた表面での走行。
- 乾燥した砂利のあるトレイルまたはそれに類似した条件での走行。
- 種や穀物の殻が多くある場所での走行。
- 激しい積雪条件での走行。

注記 粉塵の多い条件下または砂地で走行するときは、各走行前にエアボックスを清掃する必要があります。

注：これらの条件下でグループで走行する場合は、エアフィルターの交換回数がさらに増えることになります。

エンジンエアフィルターの取り外し

ファブリックタブを使って、アウトワシールを外側へ引きまします。



車両左側リア部

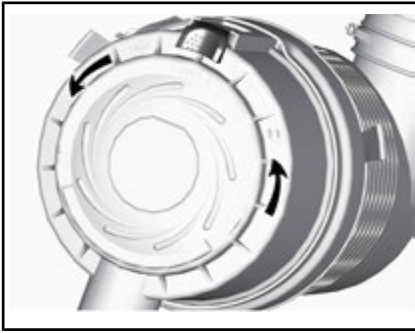
1. エアフィルターカバー
2. ファブリックタブ
3. ダックビルバルブ

黄色のプラスチックタブを引いて、フィルターカバーのロックを解除します。



1. プラスチックカバー

フィルターカバーを反時計方向に回して取り外します。



フィルターカートリッジを取り外します。

エンジンエアフィルターハウジングの清掃

エアフィルターハウジングが汚れていないか点検します。

【注記】 砂などの粒子がエアフィルターハウジング内に見つかった場合は、掃除機を使用して清掃します。

エンジンエアフィルターの清掃

大量の粉塵をペーパーエレメントから叩き出して、エンジンエアフィルターを清掃します。これにより、汚れや粉塵をペーパーフィルターから取り除くことができます。

【注記】 ペーパーエレメントに圧縮エアを当てることは推奨していません。圧縮エアを当てるとペーパーフィルターが損傷して、粉塵の多い場所で使用するときのろ過能力が低下します。エンジンエアフィルターが極度に汚れていて、推奨手順に従ってもきれいにならない場合は、交換する必要があります。

エンジンエアフィルターの取り付け

エアフィルターカートリッジを取り付けます。

「TOP」のマークが上を向いた状態（タックビルバルブが下向きの状態）でフィルターカバーを取り付けます。カバーを時計方向に回して固定します。

プラスチックタブを内側へ押しつけてカバーをロックします。

プラスチックタブを使って、アウターシールを所定位置へスライドさせます。

フロントグリルキット

1. フロントグリルから異物を取り除きます。
2. フロントグリルを水で洗浄します。

CVT エアフィルター

CVTエアフィルターは、適切なエンジン性能と寿命を確保するうえで重要であるため、その点検と清掃の回数は走行条件によって調整する必要があります。

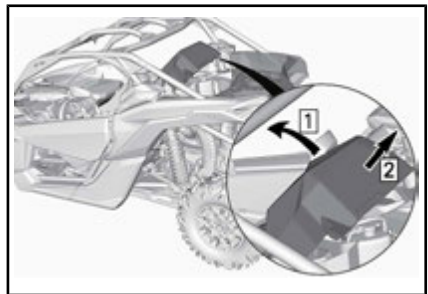
下記の過酷な走行条件下では、CVTエアフィルターの点検と清掃の回数を増やす必要があります。

- 乾燥した砂地での走行。
- 乾燥した泥で覆われた表面での走行。
- 乾燥した砂利のあるトレイルまたはそれに類似した条件での走行。
- 泥地での走行。
- 種や穀物の殻が多くある場所での走行。
- 激しい積雪条件での走行。

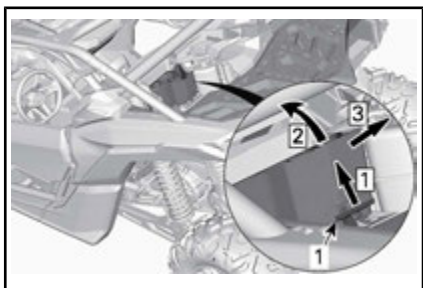
注：これらの条件下でグループで走行する場合は、エアフィルターの交換回数がさらに増えることになります。

CVT エアフィルターの取り外し

エアボックスカバーを開きます。



CVTフィルターを車両から取り外します。



1. CVTエアフィルター

手順1: ラッチを外す

手順2: リア部を持ち上げる

手順3: 引く

CVT エアフィルターの点検と清掃

フィルターを点検し、必要に応じて交換します。

CVTフィルターを取り外します。「CVTフィルターの取り外し」を参照し、軟せっけんと水でフィルターを洗浄して水ですすぎます。

軽く揺すって水を落とし、フィルターを室温で乾燥させます。

CVT エアフィルターの取り付け

下記手順でフィルターを取り付けます：

- フィルター前部の3つのタブを対応するスロット穴に挿入します。
- フィルターをしっかりと固定します。

エアボックスカバーを取り付けます。エアボックスカバーが正しく固定されているか確認してください。

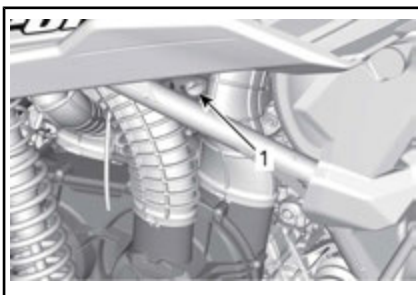
エンジンオイル

エンジンオイルレベルの確認

注記 不適切なオイルレベルのままエンジン運転すると、エンジンに重大な損傷が生じる場合があります。

エンジンが通常の動作温度のときに、車両を水平面に駐車し、以下の手順でオイルレベルを確認します：

1. エンジンを始動し、20秒以上アイドリングさせます。
2. エンジンを停止します。
3. オイルレベルゲージを緩めて取り外し、拭いてきれいにします。



車両左側リア部

1. オイルレベルゲージ

4. オイルレベルゲージを奥まで完全に差し込んで、元通りに取り付けます。
5. オイルレベルゲージを外して、オイルレベルを確認します。オイルが、上側のマーク位置またはその付近に達していなければなりません。



代表例

1. 最低
2. 最高
3. 変動範囲

オイルを追加するには、オイルレベルゲージを取り外します。オイルレベルゲージのチューブにじょうごを入れます。

推奨オイルを少量追加して、オイルレベルを再度確認します。

オイルレベルがオイルレベルゲージの上側のマークに達するまで、上記手順を繰り返します。

注：入れすぎないでください。こぼれたオイルは必ず拭き取ってください。

オイルレベルゲージを正しく締め付けます。

推奨エンジンオイル

| 推奨エンジンオイル | |
|-----------|--|
| シーズン | タイプ |
| 夏季 | XPS 4 ストローク合成ブレンドオイル (P/N 293 600 121) |
| 全シーズン | XPS 4 ストロール合成オイル (P/N 293 600 112) |

注：XPSオイルは、このエンジンの潤滑要件を満たすために特別に配合されています。BRP では、このXPS 4 ストロークオイルの使用を推奨しています。XPS エンジンオイルが入手できない場合は、API サービスクラス SJ、SL、SM または SN の要件を満足するかそれを超える 4 ストローク用 SAE 5W 40 エンジンオイルを使用してください。オイルの容器に貼付されている API サービスラベルに、上記のクラスのうち1つ以上のものが記載されていることを必ず確認してください。

注記 このエンジンに適していないオイルの使用が原因で生じた損傷には、BRP の限定保証が適用されない場合があります。

エンジンオイル交換

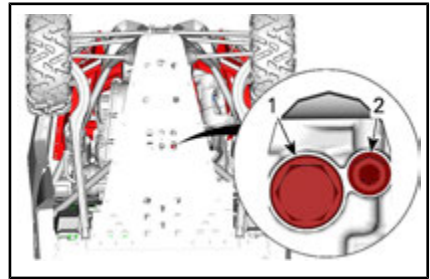
車両を水平面に駐車します。

オイルとオイルフィルターの交換は、エンジンが温まっているときに行う必要があります。

注意 エンジンオイルは非常に高温になります。エンジンオイルが適度な温度になるまで待ってください。

オイルレベルゲージを取り外してください。

エンジンのドレインプラグの下にドレインパンを置きます。

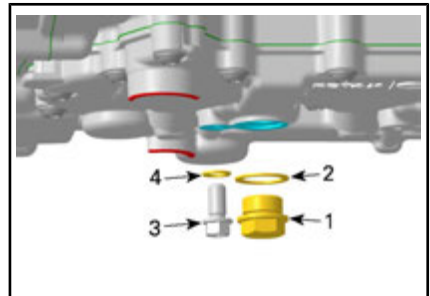


車両後部の下

1. 磁気ドレインプラグ
 2. セカンダリドレインプラグ
- ドレインプラグ部を清掃します。

注：ドレイン穴とスキッドプレートの間でじょうごを使用して、こぼれを防止することができます。

ドレインプラグを取り外して、ガスケットリングを廃棄します。



1. 磁気ドレインプラグ
2. ガスケットリング
3. セカンダリドレインプラグ
4. ガスケットリング

クランクケースからオイルを完全に排出させます。

磁気ドレインプラグから金属粉や残渣を取り除きます。破片がある場合は、エンジン内部の損傷を示しています。

新品のガスケットリングをドレインプラグに取り付けます。

注記 ガスケットリングを再使用しないでください。必ず新しいものと交換してください。

ドレインプラグを取り付けて推奨トルクで締め付けます。

| 締め付けトルク | |
|-------------------|----------------|
| セカンダリー ドレインプラグ | 15 N・m ± 2 N・m |
| 磁気ドレイン プラグ | 30 N・m ± 3 N・m |

オイルフィルターを交換します。「オイルフィルター」を参照してください。

推奨エンジンオイルをエンジンに補充します。

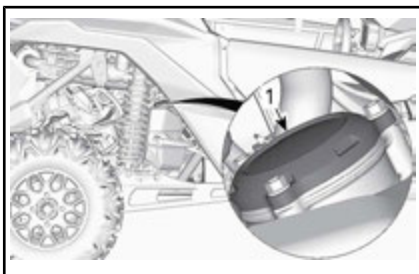
オイルレベルを確認します。「エンジンオイルレベルの確認」を参照してください。

| エンジンオイル容量 | |
|---|-------|
| エンジンオイルと エンジンオイル フィルターを交換 したとき | 3.5 L |

オイルフィルター

オイルフィルターのアクセス

車両右側後部からオイルフィルターにアクセスします。

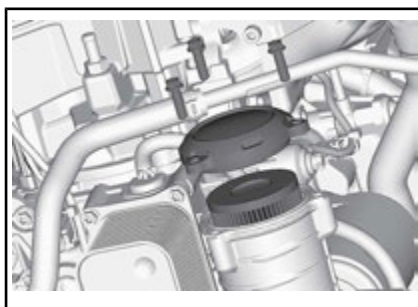


1. オイルフィルターカバー

オイルフィルターの取り外し

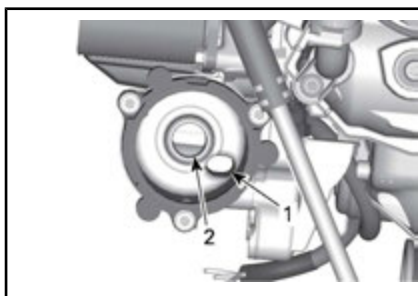
オイルフィルター部を清掃します。
オイルフィルターカバーを取り外します。

オイルフィルターを取り外します。



オイルフィルターの取り付け

オイルフィルターの入口および出口に泥などの汚れがないか点検し、清掃します。

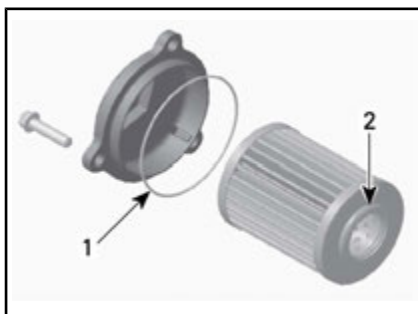


1. エンジンオイル供給システムの出口
2. オイルポンプからオイルフィルターへの入口

新品のOリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。

フィルターをカバーに取り付けます。

エンジンオイルを O リングとフィルターシールに塗布します。



1. オイルを若干塗布する
 2. オイルを若干塗布する
- カバーをエンジンに取り付けます。

オイルフィルターカバーのボルトを推奨トルクで締め付けます。

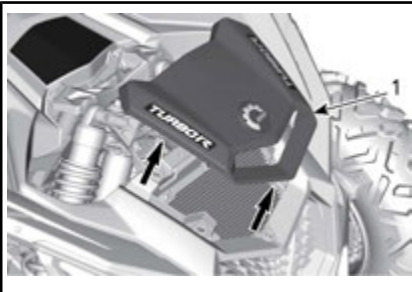
| 締め付けトルク | |
|-----------------|----------------|
| オイルフィルターカバーのボルト | 10 N・m ± 1 N・m |

ラジエーター

ラジエーターの点検と清掃

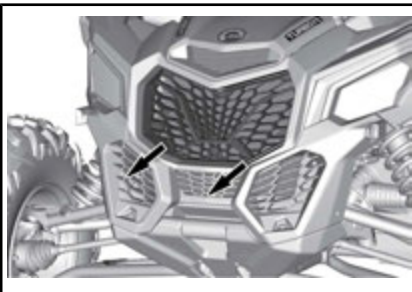
ラジエーターにアクセスするには、フェイスカバーを取り外します。

⚠️ 注意 ラジエーターが冷めるのを待ってから、作業を進めます。



フェイスカバー

ラジエーターグリルを引き抜いて取り外します。



注記 ロアグリルを取り外そうとしないでください。

ラジエーターとホースに漏れや損傷がないか点検します。

放熱フィンを点検します。放熱フィンはきれいで、ラジエーターの正常な冷却を妨げるような泥や汚れ、落ち葉などの堆積物が付いていない状態でなければなりません。

利用できる場合は、散水用のホースを使って、放熱フィンを水ですすぎます。

⚠️ 注意 放熱フィンが高温のときは、ラジエーターを手で清掃しないでください。ラジエーターを冷ましてから清掃してください。

注記 清掃時に放熱フィンを損傷しないよう注意してください。フィンを損傷するような物／工具を使用しないでください。ホースを使うときは、低圧で使用してください。高圧洗浄機を使用しないでください。

フェイスカバーとグリルを取り付けます。

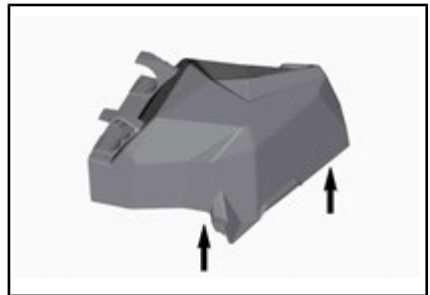
エンジン冷却水

エンジン冷却水レベルの確認

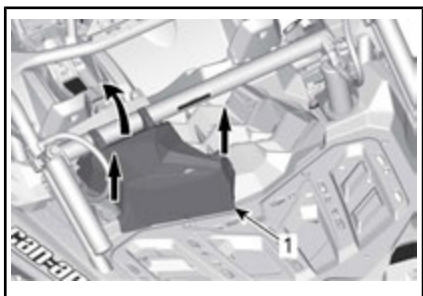
⚠️ 警告

冷却水レベルは、エンジンが冷めている状態で確認してください。

1. 車両を水平面に駐車します。
2. サービスカバー後部を上を持ち上げて解除して、サービスカバーを取り外します。



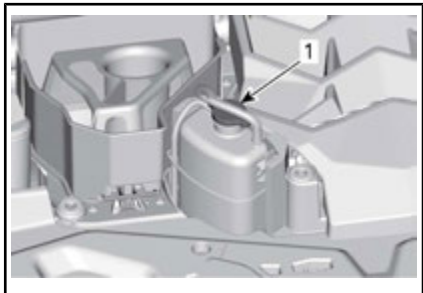
サービスカバー後部の持ち上げ



1. サービスカバー
3. 圧力キャップを取り外します。

警告

やけどをしないように、エンジンが高温の場合は圧力キャップを取り外さないでください。



1. 圧力キャップ
4. 冷却システムがMAXのラインまで充填されていることを確認します。



5. 必要に応じてシステムに冷却水を加えます。こぼさないように、じょうごを使ってください。**入れすぎないでください。**
6. クーリングタンクに圧力キャップを取り付けます。

注：冷却水レベルは、冷却水ボトル側面を見て確認できます。

推奨するエンジン冷却水

| 国 | 推奨冷却水 |
|---------------------|---------------------------------|
| フィンランド、ノルウェー、スウェーデン | ロングライフ不凍液 (F) (P/N 619 590 204) |
| その他のすべての国 | ロングライフ不凍液 (P/N 219 702 685) |
| 代替品、または推奨品が入手できない場合 | 蒸留水と不凍液の溶液 (蒸留水 50%、不凍液 50%) |

注記 内燃機関であるアルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

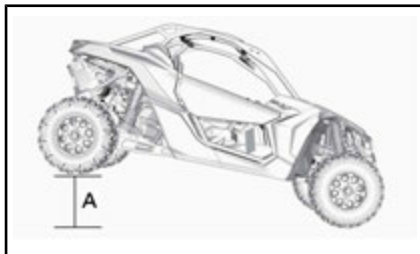
エンジン冷却水の交換

冷却システムからの抜き取り

警告

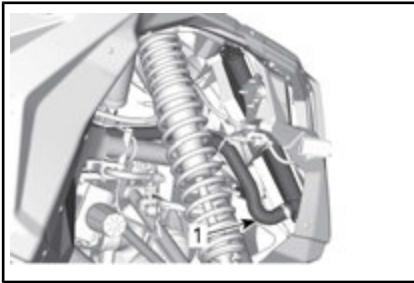
やけどを負う危険を避けるため、エンジンがまだ熱いときはプレッシャーキャップを外したり、冷却水のドレインプラグを緩めたりしないでください。

車両後部を約 30 cm 持ち上げます。



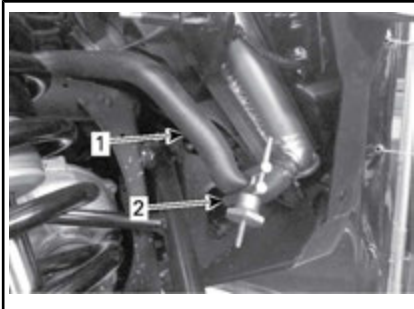
A. 30 cm

ドレインパンをラジエーターの下側ホースの下に置きます。



1. 下側ホース

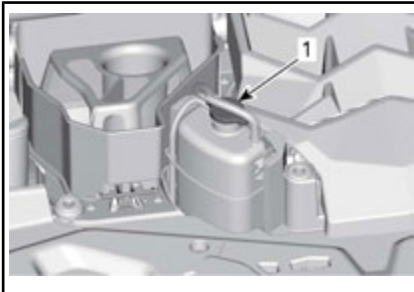
大きめのホースピンチャーをラジエーターの下側ホースに取り付けます。



1. ラジエーターの下側ホース
2. ホースピンチャー

ホースをゆっくりとラジエーターから外します。

冷却水ボトルの圧力キャップを取り外します。



1. 圧力キャップ

冷却水の流れが止まるか減るまで待ちます。

ホースピンチャーを取り外して、残りの冷却水を抜き取ります。

ラジエーターホースクランプを取り付けます。

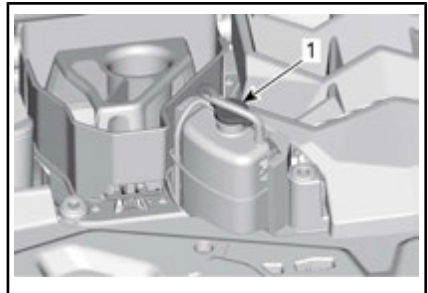
締め付けトルク

| | |
|-----------------------|-------------------|
| ラジエーター ホースクラン プ | 2.5 N・m ~ 3.5 N・m |
|-----------------------|-------------------|

冷却システムに冷却水を充填します。
「冷却システムの充填とエア抜き」の手順を参照してください。

冷却システムの充填とエア抜き

1. 圧力キャップを取り外します。



1. 圧力キャップ
2. 冷却水レベルが冷却水リザーバーのMAXのラインに達するまで、冷却システムに充填します。



3. 圧力キャップを取り付けます。
4. 圧力キャップを**取り付けられた状態で**、冷却ファンが2回循環するまでエンジンをアイドリングさせます。
5. アクセルペダルを2、3回踏み込みます。
6. エンジンを止めて冷まします。
必要に応じてクーラントを追加します。

警告

やけどをしないように、エンジンが高温の場合は圧力キャップを取り外さないでください。

- この手順の実施後に走行した後、冷却水レベルを確認します。必要に応じて冷却水を追加してください。「エンジン冷却水レベルの確認」を参照してください。

マフラースパークアレスター

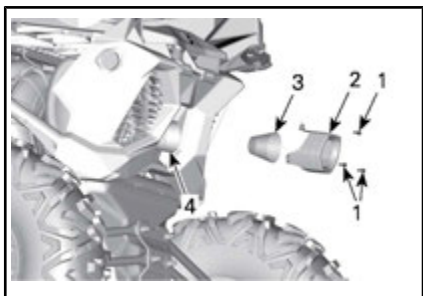
マフラースパークアレスターの清掃

マフラーについては、堆積したカーボンを定期的に除去する必要があります。

注意 エキゾーストシステムが大変高温になるため、エンジンを作動させた直後にこの作業を行わないでください。

マフラーカバーを所定位置に固定している固定ボルトを取り外して、マフラーを取り外します。

スパークアレスターを引き出し、ブラシを使用してカーボンの堆積物を取り除きます。



- 固定ボルト
- マフラーカバー
- スパークアレスター

注記 柔らかいブラシを使用して、スパークアレスターを損傷しないように注意してください。

スパークアレスターのメッシュに損傷がないか点検します。必要に応じて交換してください。

マフラー内のスパークアレスターチャンバーを点検します。必要に応じて異物を取り除いてください。

取り外しと逆の手順で、スパークアレスターを再度取り付けます。規定のトルクで固定ボルトを締め付けます。

締め付けトルク

| | |
|------------|----------------|
| マフラーカバーボルト | 10 N・m ± 2 N・m |
|------------|----------------|

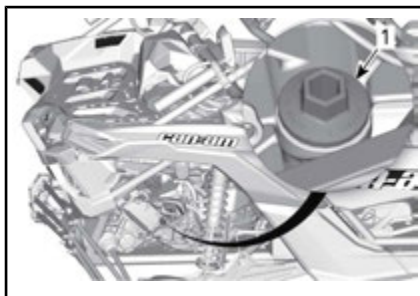
ギアボックスオイル

ギアボックスオイルレベルの確認

車両を水平面に駐車します。シフトレバーをパーキング位置にします。

車両後部右側にあるギアボックスオイルレベルプラグを取り外して、ギアボックスのオイルレベルを確認します。

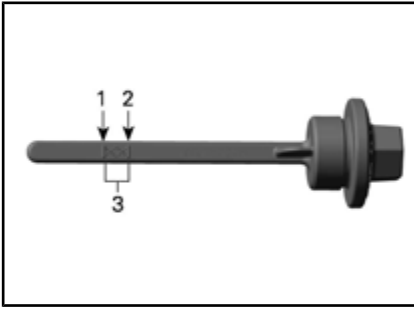
注記 オイルレベルプラグのOリングを緩めないように気を付けてください。



- ギアボックスオイルレベルプラグ

プラグを奥まで完全に差し込んで、元通りに取り付けます。

プラグを再び取り外して、オイルレベルゲージ上のオイルレベルを確認します。オイルが、上側のマーク位置またはその付近に達していなければなりません。



1. 最低
2. 最高
3. 変動範囲

オイルを追加するには、じょうごをオイルレベルプラグ穴に置きます。

推奨オイルを少量追加して、オイルレベルを再度確認します。

オイルレベルがオイルレベルゲージの上側のマークに達するまで、上記手順を繰り返します。

注：入れすぎないでください。こぼれたオイルは必ず拭き取ってください。

注記 オイルレベルが不適切なままギアボックスを動作させると、ギアボックスに重大な損傷を与える可能性があります。

プラグを適切に締め付けてください。

| 締め付けトルク | |
|-----------------|-----------------|
| ギアボックスオイルレベルプラグ | 5 N・m ± 0.6 N・m |

推奨ギアボックスオイル

下記のギアボックスオイルを使用します。

| 推奨ギアボックスオイル |
|------------------------------|
| XPS合成ギアオイル (P/N 293 600 140) |

注：XPSオイルは、このギアボックスの潤滑要件を満たすために特別に配合されています。BRP では、このXPSオイルの使用を強く推奨しています。ただし、XPS合成ギアオイルが入手でき

ない場合は、次の潤滑油を使用してください。

| ギアボックスオイルの要件 |
|--------------------------|
| 75W 140 API GL-5 合成ギアオイル |

注記 整備時に、別のタイプのオイルを使用しないでください。

ギアボックスオイルの交換

オイル交換は、エンジンが暖かい状態で行う必要があります。

警告

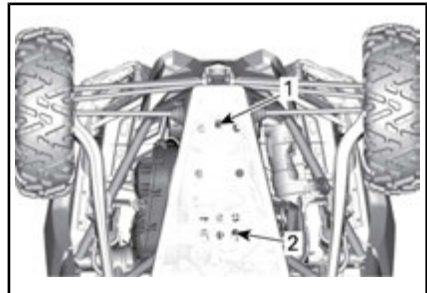
ギアボックスオイルは大変高温になります。

車両を水平面に駐車します。
ドレインプラグ部を清掃します。
オイルレベルプラグ部を清掃します。
車両に下で、ドレインパンを磁気ドレインプラグ部の下に置きます。

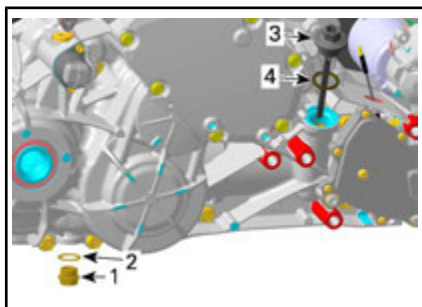
ギアボックスオイルレベルプラグ（オイルレベルゲージ）を取り外します。

注記 プラグ上のOリングが緩まないように気を付けてください。

磁気ギアボックスドレインプラグを取り外し、シーリングリングを廃棄します。



1. ギアボックスドレインプラグ
2. エンジンオイルドレインプラグ



1. 磁気ドレーンプラグ
2. シーリングリング (廃棄)
3. ギアボックスオイルレベルプラグ (オイルレベルゲージ)
4. Oリング

オイルをギアボックスから完全に排出させます。

ドレーンプラグを取り付けます。

注：取り付ける前に、ドレーンプラグから金属粒子を取り除きます。

磁気ドレーンプラグを取り付けます。必ず**新品**のシーリングリングを取り付けてください。

| 締め付けトルク | |
|-----------|----------------|
| 磁気ドレーンプラグ | 30 N・m ± 3 N・m |

ギアボックスに充填します。

注記 推奨するオイルのタイプのみを使用してください。

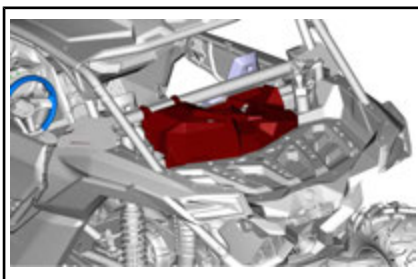
オイルレベルを確認します。「ギアボックスオイルレベルの確認」を参照してください。

地域の環境規制の従ってギアボックスオイルを処分してください。

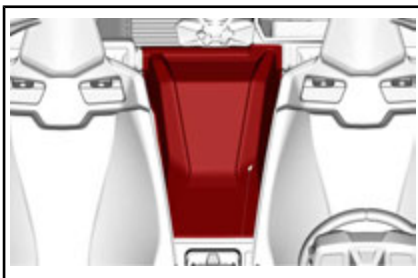
スパークプラグ

スパークプラグへのアクセス

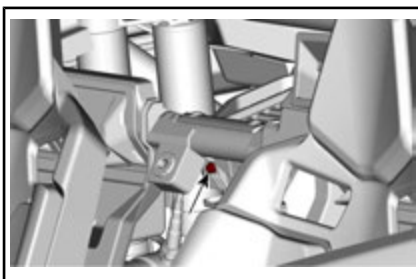
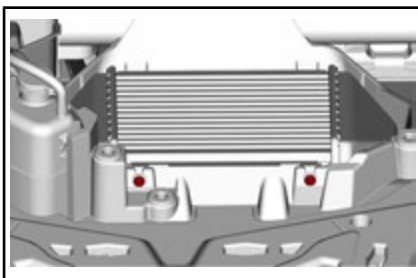
次の部品と締結具を取り外します。

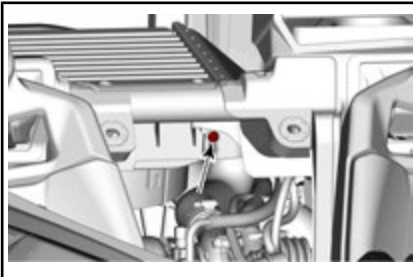


リアサービスカバーを取り外します。

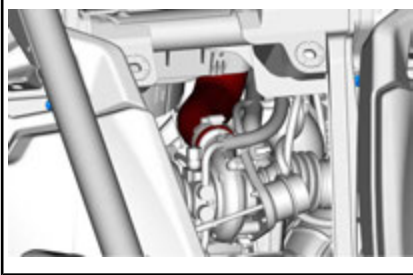


インタークーラーボルトを取り外します。





インタークーラーホースを外します。



インタークーラーアッセンブリーを持ち上げます。

インタークーラーファンコネクターの接続を外します。

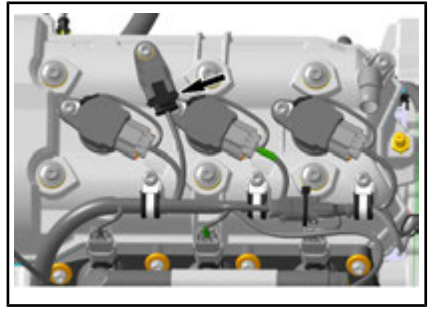
インタークーラーアッセンブリーを脇へ置きます。



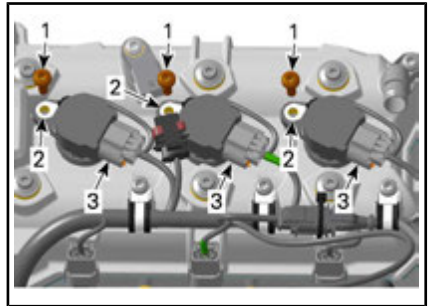
1. インタークーラーアッセンブリー
2. インタークーラーファンコネクター

スパークプラグの取り外し

1. CAPS (カムシャフトポジションセンサー) 外します。



2. 下記のものを取り外します：
 - イグニッションコイル固定ボルト
 - アースコネクター
3. イグニッションコイルのコネクターを外します。



1. 固定ボルト
 2. アースコネクター
 3. イグニッションコイルコネクター
- 注記** イグニッションコイルを工具でこじらないでください。
4. イグニッションコイルを引き上げながら左右に回転させて、スパークプラグからガスケットとともにコイルを取り外します。
 5. 圧縮エアでスパークプラグとシリンダーヘッドを清掃します。

注意 圧縮エアを使用するときは必ず保護めがねを着用してください。

6. スパークプラグを完全に外します。
7. プラーとしてイグニッションコイルを使用します。

スパークプラグの取り付け

取り付ける前に、シリンダーヘッドやスパークプラグの接触面に汚れが付いていないことを確認します。

すきまゲージを使用して、スパークプラグのギャップを設定します。

| スパークプラグのギャップ | |
|--------------|--|
| 0.8 mm | |

スパークプラグのねじ部にHEAT-SINK PASTE P12 (P/N 420 897 186)を塗布します。

スパークプラグを手でシリンダーヘッドにねじ込み、トルクレンチを使用して規定のトルクで締め付けます。

⚠注意 スパークプラグを締め付けすぎないでください。エンジンが損傷する場合があります。

| 締め付けトルク | |
|---------|--------|
| スパークプラグ | 11 N・m |

イグニッションコイルをスパークプラグに取り付けます。

イグニッションコイルの固定ボルト穴を、バルブカバーのねじ穴に合わせます。

イグニッションコイルを奥まで押し下げて、バルブカバーに接するようにします。

固定ボルトを取り付けて、締め付けます。

| 締め付けトルク | |
|------------------|---------------|
| イグニッションコイルの固定ボルト | 9 N・m ± 1 N・m |

取り外しと逆の手順で、取り外したその他の部品を取り付けます。

注：インタークーラーファンコネクターを必ず接続してください。

CVT カバー

注：わかりやすくするために、一部の図ではエンジンが表示されていません。以下の指示を実施する際は、エンジンを取り外す必要はありません。

このCVTは潤滑不要です。

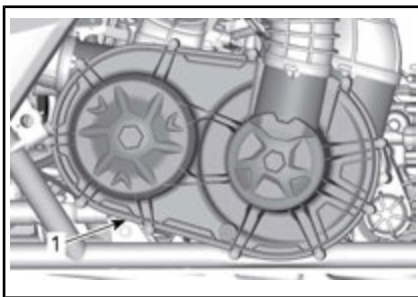
⚠警告

エンジンが動作しているときは、CVTに触らないでください。CVTカバーが取り外されているときは、絶対に車両を走行しないでください。

⚠注意 エンジンを冷ましてからCVTカバーを取り外してください。車両を水平面に駐車します。シフトレバーをパーキング位置にします。

CVT カバーへのアクセス

CVTカバーは、車両後部左側からアクセスできます。

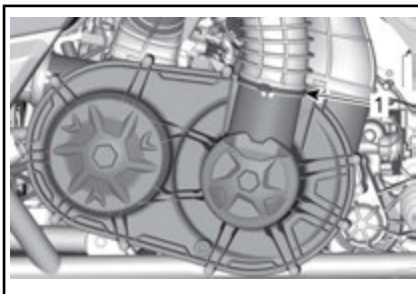


わかりやすくするために、一部の部品は表示されていません

1. CVTカバー

CVT カバーの取り外し

CVTインレットホースクランプを緩めます。



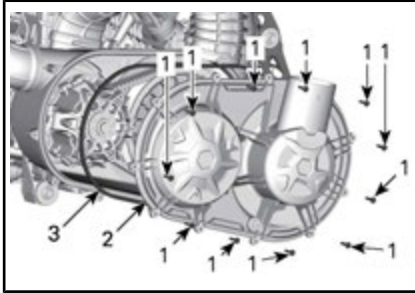
1. クランプ

工具キットに付属のレンチを使用して、13個あるCVTカバーボルトを取り外します。

取り外しの際にカバーを支えるため、上部中央のボルトは最後に取り外します。

注記 CVT カバーボルトを取り外そうとして、インパクトツールを使用しないでください。

CVT カバーとそのガスケットを取り外します。



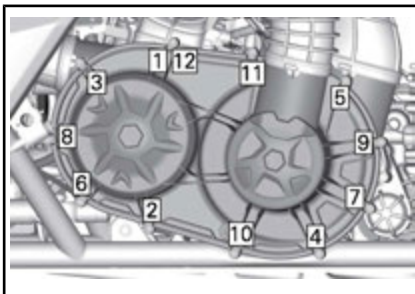
1. CVT カバーボルト
2. CVT カバー
3. ガスケット

フロントおよびリアCVTアウトレットホースの内側を点検して、異物がないか確認します。

CVT カバーの取り付け

上部中央のボルトを最初に取り付けます。

次の順序に従って、CVT カバーボルトを締め付けます。



締め付けトルク

| | |
|------------|-----------------|
| CVT カバーボルト | 7 N・m ± 0.8 N・m |
|------------|-----------------|

ドライブベルト

ドライブベルトの取り外し

注記 ドライブベルトに不具合がある場合は、CVT、カバーおよびエアアウトレットを清掃する必要があります。

重要情報について、「ドライブベルトの耐久性を最大限にするためのアドバイス」を参照してください。

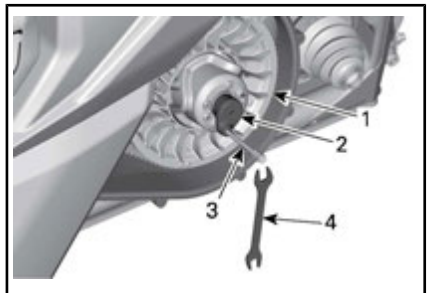
CVT カバーを取り外します。

ドリブンプーリーを開きます。

| 必要な工具 | |
|---|--|
| プラー/ロッキングツール (P/N 529 000 088) (工具キットに付属) | |
| ドリブンプーリーアダプター (P/N 708 200 720) (工具キットに付属) | |

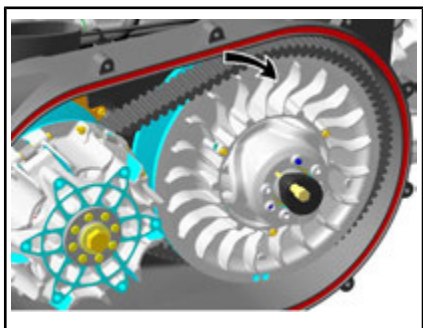
プーリーアダプターをドリブンプーリーのねじり穴に挿入して、ねじ込みます。

プラー/ロッキングツールをプーリーアダプターのねじり穴に挿入してねじ込み、プーリーを開きます。



1. ドリブンプーリーの固定シーブ
2. アダプター (グローブボックス内)
3. プラー/ロッキングツール (工具キットに付属)
4. レンチ (工具キットに付属)

ベルトを取り外すには、図のようにベルトを固定シーブの上端上を滑らせます。

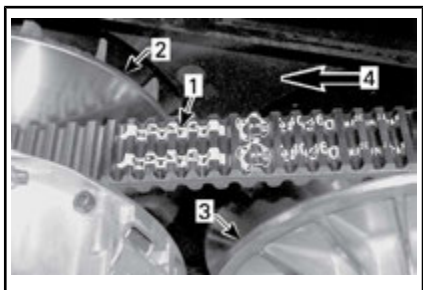


1. 歯の一番低い部分がドライブベルト外面と面一になっている状態

ドライブベルトの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。次の点に注意してください。

ドライブベルトの回転方向が正しいときに、ドライブベルトの最大の寿命が得られます。ベルトに印刷されている矢印が上面から見て車両前方を向くように、ドライブベルトを取り付けます。



1. ベルトに印刷されている矢印
2. ドライブプーリー (フロント)
3. ドリブンプーリー (リア)
4. 回転方向

ドライブベルトの外面にある歯の一番低い部分が、ドリブンプーリーの端部と面一になるまで、ドリブンプーリーを回します。

ドライブおよびドリブンプーリー

ドライブおよびドリブンプーリー

この点検は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am ディーラー、修理工場または担当整備士が実施しなければなりません。

ドライブプーリー

ドライブプーリーのスライディングシープのブッシングを点検し、摩耗した部品を交換します。

ドリブンプーリー

ドリブンプーリーのスライディングシープのブッシング、およびカムブッシングを点検し、摩耗した部品を交換します。

バッテリー

バッテリーのメンテナンス

注記 車両に取り付けたままで絶対にバッテリーを充電しないでください。

これらの車両には VRLA バッテリー (Valve Regulated Lead Acid: 制御弁式鉛蓄電池) が搭載されています。これはメンテナンスフリーのバッテリーであり、電解液レベルを調整するために水を追加する必要がありません。

注記 バッテリーシーリングキャップを取り外さないでください。

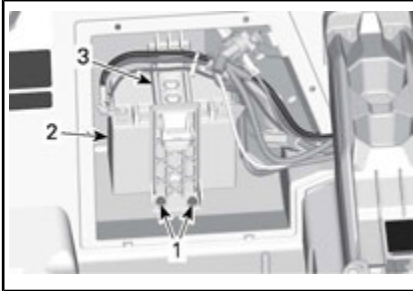
バッテリーの取り外し

助手席を前方いっぱいに移動します。「助手席」を参照してください。

最初に黒 (-) のケーブルを、そして赤 (-) のケーブルを外します。

注記 取り外すときは、必ずこの順序に従ってください。黒 (-) のケーブルを最初に外してください。

バッテリーホルダー固定ボルトを取り外します。



1. バッテリーホルダー固定ボルト
2. バッテリー
3. バッテリーホルダー

バッテリーホルダーを取り外します。

バッテリーを取り外します。

バッテリーの清掃

重曹と水の溶液で、バッテリー、バッテリーケース、ケーブルおよびバッテリーポストを清掃します。

硬めのワイヤーブラシを使用して、バッテリーケーブルターミナルおよびバッテリーポストの腐食物を取り除きます。バッテリーケースは、柔らかいブラシと重曹溶液で清掃します。

バッテリーの取り付け

バッテリーの取り付けは、取り外しと逆の順序で行います。

注記 バッテリーの極性が逆になっていると、電圧レギュレーターが損傷します。

注意 先に必ず赤 (+) のケーブルを接続してから、黒 (-) のケーブルを接続してください。

ヒューズ

ヒューズの交換

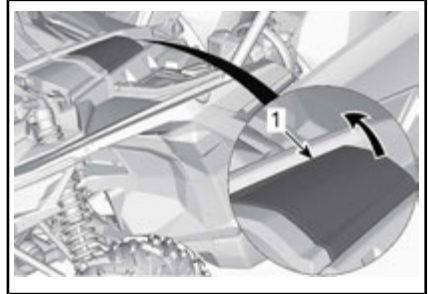
ヒューズが切れている場合は、同じ定格値のヒューズと交換します。

注記 本来のヒューズより定格値の高いものを使わないでください。重大な損傷の原因になることがあります。

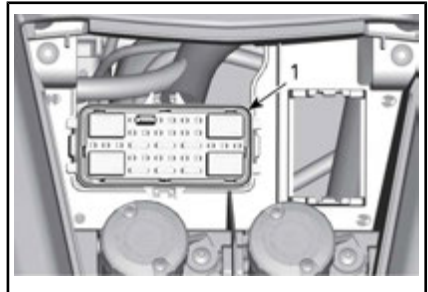
ヒューズとヒューズブルリングの位置

メインヒューズボックス

メインヒューズボックスにアクセスするには、前部サービスカバーを取り外します。



1. 前部サービスカバー

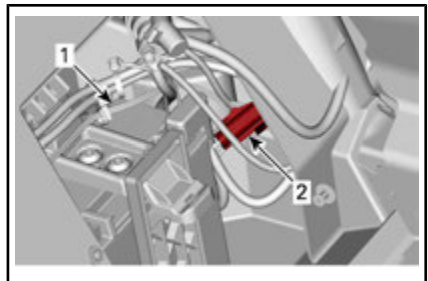


1. メインヒューズボックス

ダイナミックパワーステアリング (DPS) ヒューズ

DPSヒューズはバッテリー付近にあります。

DPSヒューズにアクセスするには、助手席を前方いっぱいに移動します。「助手席」を参照してください。



1. バッテリー
2. DPS ヒューズ

ヒューズブルリンク

ヒューズブルリンクは、スターターソレノイドハーネス上にあります。

ヒューズブルリンクが溶断した場合は、Can-Am SSV ディーラー、修理工場、または担当整備士にご相談ください。

ヒューズボックス詳細

| DPS ヒューズホルダー | | |
|--------------|-----------------------|------|
| 番号 | 名称 | 定格 |
| - | ダイナミックパワーステアリング (DPS) | 40 A |

| ヒューズブルリンク | | |
|-----------|-----|--------|
| 番号 | 名称 | 定格 |
| 1 | メイン | 16 AWG |
| 2 | ACC | 16 AWG |

| メインヒューズボックス | | |
|-------------|-----------------------|------|
| 番号 | 名称 | 定格 |
| F4 | ゲージ/リレー | 10 A |
| F5 | イグニッション/インジェクター | 10 A |
| F6 | エンジンコントロールモジュール (ECM) | 10 A |
| F7 | 2WD/4WD | 10 A |
| F8 | D.E.S.S. ポスト | 10 A |
| F9 | 冷却ファン | 25 A |
| F11 | ライト | 10 A |
| F12 | DC アウトレット | 20 A |
| F14 | アクセサリー 2 | 30 A |

| メインヒューズボックス | | |
|-------------|-------------|------|
| 番号 | 名称 | 定格 |
| F16 | テールライト | 10 A |
| F17 | インタークーラーファン | 20 A |

注：ヒューズは、ヒューズボックスカバーの内側で特定されます。

ライト

交換後に必ずライトの動作を確認してください。

ヘッドライトおよびテールライトは LED (発光ダイオード) です。この技術は、その信頼性が証明されています。

作動しない場合は、認定 Can-Am SSV ディーラー、修理工場または担当整備士に確認してもらってください。

ドライブシャフトブーツ

ドライブシャフトブーツの検査

ドライブシャフトブーツの状態を目視で点検します。

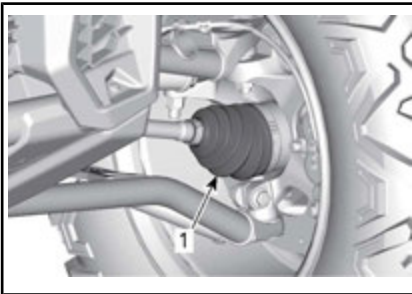
亀裂、裂け、グリースの漏れなどがないか確認します。

必要に応じて損傷した部品を修理または交換します。



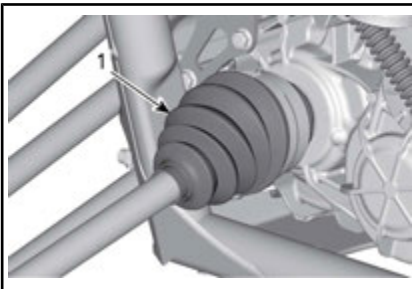
車両フロント部

1. インナードライブシャフトブーツ



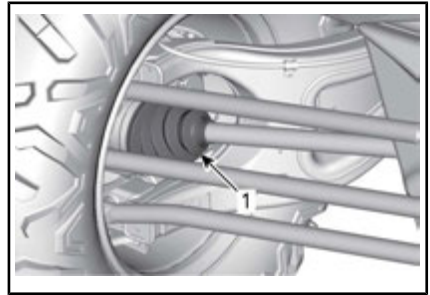
車両フロント部

1. アウタードライブシャフトブーツ



車両リア部 (わかりやすくするために他の部品は表示されていません)

1. インナードライブシャフトブーツ



車両リア部

1. アウタードライブシャフトブーツ

ホイールベアリング

ホイールベアリングの点検

車両を持ち上げて支えます。「車両情報」のセクションの「車両の持ち上げおよび支持」を参照してください。

上端からホイールを押し引きして、遊びを確認します。

異常な遊びがある場合は、認定 Can-Am デイラー、修理工場または担当整備士にご相談ください。



代表例

ホイールおよびタイヤ

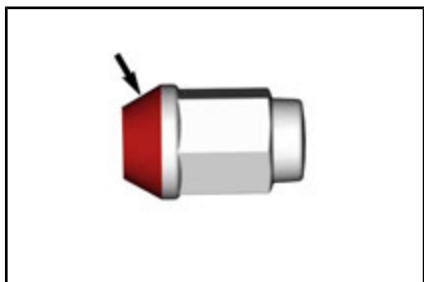
ホイールの取り外し

ナットを緩めてから、車両を持ち上げて支えます。「車両情報」の「車両の持ち上げおよび支持」を参照してください。

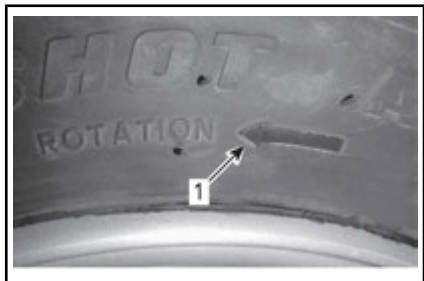
ナットを取り外してから、ホイールを取り外します。

ホイールの取り付け

取り付けの際、ナットの接触面(テーパー部)のみに固着防止剤を塗布するよう推奨します。



タイヤは一方方向性のものであるため、正常に機能させるには、タイヤの回転を特定の方向に維持する必要があります。



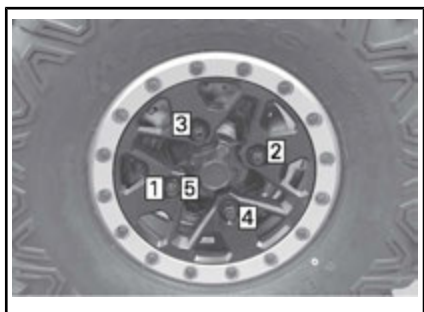
代表例

1. 回転方向

ホイールラグナットを、図に示す順序で規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク

| | |
|-----------|------------------|
| ホイールラグナット | 120 N・m ± 10 N・m |
|-----------|------------------|



注記 必ずホイールの種類に対して推奨されているホイールナットを使用してください。異なるナットを使用すると、リムやスタッドが損傷することがあります。

タイヤ空気圧

警告

タイヤ空気圧は、車両の操作性や安定性に大きく影響します。空気圧が不十分だとタイヤが収縮して、タイヤがホイールに対して滑る場合があります。過剰な圧力は、タイヤの破裂につながる可能性があります。必ず推奨圧力に従ってください。タイヤ空気圧を絶対に最低圧力未満にしないでください。タイヤがリムから外れる原因となります。

車両を使う前のタイヤが冷たい状態で空気圧を確認します。タイヤ空気圧は、温度と高度で変化します。これらの条件のうちいずれかが変化した場合は、空気圧を再確認してください。

適用圧力については、「仕様」のサブセクションまたは車両上のラベルを参照してください。

空気圧を測定できるように、工具キットには圧力ゲージが付属しています。

注：タイヤはオフロード専用設計されたものですが、パンクする可能性があります。そのため、空気入れと修理キットを持ち運ぶよう推奨します。

タイヤの点検

タイヤに損傷や摩耗がないか確認します。必要に応じて交換してください。

警告

タイヤのローテーションは行わないでください。フロントタイヤとリアタイヤはサイズが異なります。左側および右側のタイヤのトレッドパターンは、方向性が異なります。

タイヤの交換

タイヤ交換は、認定 Can-Am ディーラー、修理工場または担当整備士が実施しなければなりません。

警告

- タイヤは、元のタイヤと同じ種類とサイズのタイヤと交換してください。
- トレッドパターンが一方方向性であるため、タイヤが正しい回転方向に取り付けられていることを確認してください。
- タイヤは、熟練した整備士がタイヤ業界の基準と工具に基づいて交換する必要があります。

ビードロックホイールへのタイヤの取り付け

1. タイヤをホイールに取り付けます。
 - 1.1 ビードロックの反対側で、タイヤ取り付け用潤滑剤をタイヤとホイールのインナービードに塗布して、空気を入れたときに正しく接するようにします。インナービードをホイールに取り付けます。

注記 タイヤは、必ずビードロック側から取り付けてください。

- 1.2 タイヤを、ビードロックインナーリングのショルダー部に配置して、タイヤの中心位置を合わせます。



代表例

1. タイヤのアウトタービード
2. ビードロックインナーリングのショルダー部

2. すべてのビードロックボルトを取り付けます。ねじ山の損傷を避けるため、最初はどのボルトも手で取り付けます。

注記 ビードロックボルトを取り付けるときは、インパクトレンチを使用しないでください。インパクトレンチを使用すると、ボルトが破損したり、ボ

ルトがなめてしまうリスクが高くなります。



1. 手で締め付けるビードロック

3. 下記のトルクと順序でビードロックボルトを締め付けます。

注：ビードロックランプリングにかかる圧力を均一にするために、ボルトは一度につき数回転だけ締め付けます。

| 締め付けトルク | |
|-------------------|----------------|
| ビードロックボルト（最初のトルク） | 14 N・m ± 1 N・m |



代表例 - 締め付け順序

4. このとき、タイヤとホイールの中心が揃っていることを確認します。必要に応じて位置を直します。
5. ビードロックボルトを同じ順序で、**2回目**の締め付けトルクで締め付けます。

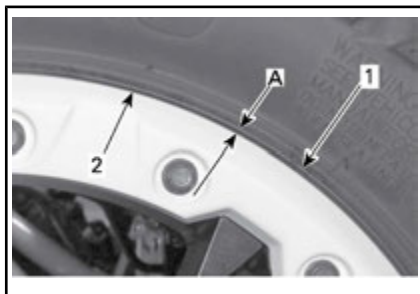
| 締め付けトルク | |
|---------------------|----------------|
| ビードロックボルト (2回目のトルク) | 25 N・m ± 1 N・m |



代表例 - 締め付け順序

注：ビードロッククランプリングがビードロックインナーリングに接触していなければなりません。ビードロッククランプリングは若干たわんでタイヤビードと合致します。これは正常な状態です。

6. タイヤとビードロッククランプリング間の隙を確認します。隙は、リング全周で均一でなければなりません。



1. タイヤ
2. ビードロッククランプリングの端
- A. ビードロッククランプリング全周で隙が均一な状態

隙が許容できない場合は、

- すべてのボルトを緩めます。

- ホイール上のタイヤ位置を確認し、必要に応じて位置を直します。
 - 示されている順序で再び締め付け始めます。
7. 示されている順序に従って、ビードロックボルトの**最後の**締め付けを行います。

| 締め付けトルク | |
|--------------------|----------------|
| ビードロックボルト (最後のトルク) | 25 N・m ± 1 N・m |



代表例 - 最後の締め付け順序

8. タイヤに空気を入れて、インナービードがホイールに取り付くようにします。タイヤ用の安全ケージなど、必ず安全対策を講じてください。

警告

ビードが取り付くためのタイヤの最大推奨圧力を絶対に超えないようにしてください。

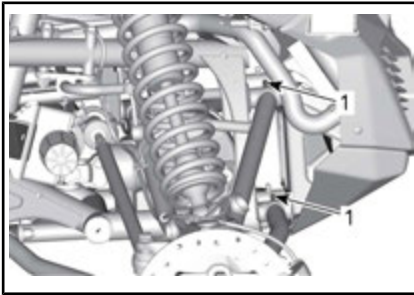
サスペンション

フロントサスペンションの潤滑

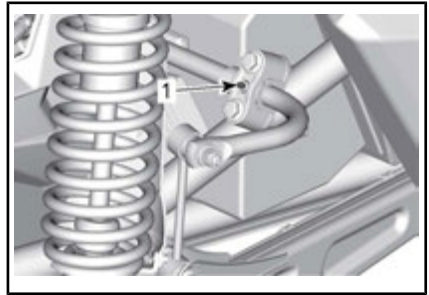
サスペンショングリース (P/N 293 550 033) または同等品を使用します。

アッパーおよびロアサスペンションアームを潤滑します。

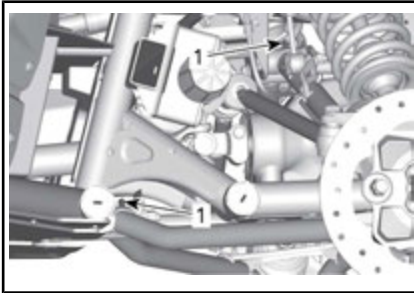
各サスペンションアームにはグリースフィッティングが2つあります。



代表例 - フロントサスペンション
1. グリースフィッティング



代表例 - リアスタビライザーバー
1. グリースフィッティング

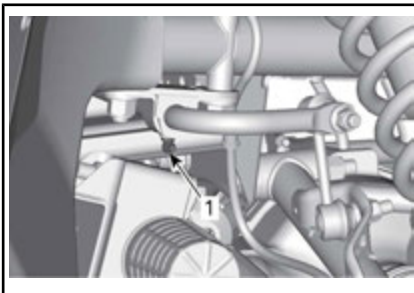


代表例 - フロントサスペンション
1. グリースフィッティング

スタビライザーバーの潤滑

サスペンショングリース (P/N 293 550 033) または同等品を使用します。

各フロントサスペンション側にはグリースフィッティングが 1 つあります。



代表例 - フロントスタビライザーバー
1. グリースフィッティング

各リアサスペンション側にはグリースフィッティングが 1 つあります。

サスペンションの点検

問題が見つかった場合は、認定 Can-Am デイラー、修理工場または担当整備士にご相談ください。

ショックアブソーバー

ショックアブソーバーに漏れ、バンプストップの摩耗などの損傷がないか点検します。締結具がしっかりと締まっていることを確認します。

フロントサスペンションアーム

サスペンションアームに亀裂、曲がり、またはその他の損傷がないか点検します。

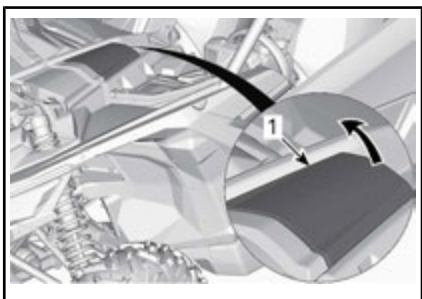
リアサスペンションアーム

サスペンションアーム、トレーリングリンクおよびコントロールリンクに亀裂、曲がり、またはその他の損傷がないか点検します。

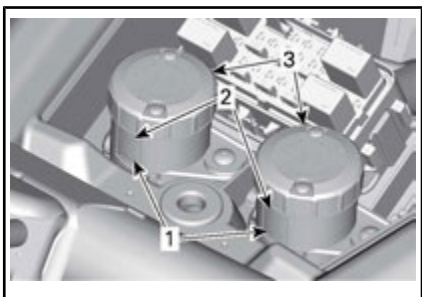
ブレーキ

ブレーキオイルリザーバーレベルの確認

前部サービスカバーを取り外します。



1. 前部サービスカバー



1. 最低
2. 最高

車両を水平面に置き、リザーバー内のブレーキオイルが適正レベルが確認します。ブレーキオイルレベルは、MAX（最高）とMIN（最低）のマークの間になければなりません。

注：オイル量が少ない場合、漏れやブレーキパッドの摩耗が発生している可能性があります。

ブレーキオイルの追加

除去する前に、フィルターキャップをきれいにしてください。

必要に応じてオイルを追加してください。**入れすぎないでください。**

注：ブレーキオイルリザーバーを閉める前に、フィルターキャップのダイヤフラムがキャップの内側に押されていることを確認します。

推奨ブレーキオイル

必ずDOT4の仕様を満足するブレーキオイルだけを使用してください。

警告

ブレーキシステムへの重大な損傷を避けるため、補充の際に推奨オイル以外のオイルを使用したり、異なるオイルを混合したりしないでください。

ブレーキの点検

警告

ブレーキオイルの交換、またはブレーキシステムへのメンテナンスや修理は、認定 Can-Am ディーラーが実施しなければなりません。

認定 Can-Am ディーラーに持ち込むまでの間は次のことを確認してください。

- ブレーキオイルレベル
- ブレーキシステムのオイル漏れ
- ブレーキパッドの摩耗
- ブレーキの汚れ

シートベルト

シートベルトの清掃

シートベルトの汚れや異物を除去するには、中性洗剤と水を含ませたスポンジでストラップをこすります。漂白剤、染料、家庭用洗剤を使用しないでください。

警告

シートベルトのコンポーネントを洗うのに高圧洗浄機を使用しないでください。高圧洗浄機を使用すると、シートベルトのコンポーネントに永久的な損傷が生じる場合があります。

車両のお手入れ

使用後のお手入れ

車両を塩水環境の中で使用したときは、車両とそのコンポーネントを保護するために、車両を真水ですすぐ必要があります。金属部品を潤滑するよう強く推奨します。XPS ループ (P/N 293 600 016) または同等品を使用してください。この作業は、運転した日の最後に行う必要があります。

車両を泥条件の中で使用したときは、車両とそのコンポーネントを保護するために、車両を真水ですすぐよう推奨します。

車両の清掃と保護

車両を洗うのに高圧洗浄機を使用しないでください。**(散水用ホースのように) 水圧を低めて使用してください。**高圧の水は電気系統や機械コンポーネントの損傷につながる可能性があります。

泥や異物が堆積したり、摩耗や干渉、腐食を促進させる可能性がある特定の部位に注意してください。これらの部位には下記のものがあります (ただしこれらに限定されません) :

- エキゾーストシステム、およびマフラーとマフラーカバーの間
- 燃料タンクの下および周辺
- ラジエーター
- ショックアブソーバー
- フロントおよびリアディファレンシャル周辺
- エンジンおよびギアボックスの周辺およびそれらの下
- ホイール内部
- スキッドプレート上面

損傷した塗装部品は、再度塗装して錆を防止する必要があります。

必要に応じて、ボディを温かい石鹼水で洗います (中性洗剤だけを使用してください)。研磨材を含有していないワックスを使用してください。

注記 プラスチック部品の清掃に、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンなどを絶対に使用しないでください。

保管およびシーズン前の準備

4ヶ月を超えて車両を使用しないときは、適切に保管する必要があります。

保管後に車両を使用するときは、準備が必要です。

車両の保管またはシーズン前の準備を行うには、認定Can-Amディーラー、修理工場または担当整備士にご相談ください。

技術情報

車両の識別

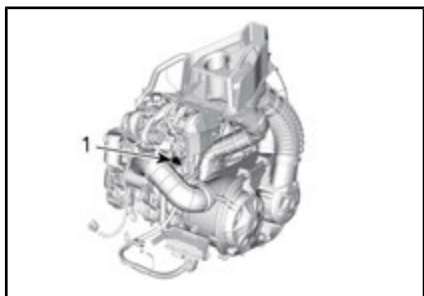
車両の主な構成要素（エンジンやフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探すときなどに、これらの番号を確認しなければならない場合があります。これらの番号は、認定 Can-Am デイラーが保証請求を正しく行う際に必要となります。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

車両識別番号



代表例 — グローブボックス下の車両シリアル番号ラベル

エンジン識別番号



代表例 - エンジンシリアル番号ラベル

1. EIN (エンジン識別番号)

無線周波数デジタルコード化セキュリティシステム (RF D.E.S.S. キー)

この装置は、FCC (米国連邦通信委員会) 第 15 部および Industry Canada (カナダ産業省) ライセンス免除 RSS 基準に準拠しています。操作には、以下の 2 つの条件が伴います：(1) この装置は干渉を発生させません。ま

た、(2) この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC (カナダ産業省) 登録番号：12006A-M01456

FCC ID:2ACERM01456

弊社は、コンプライアンス責任者として、この機器が以下の欧州委員会指令に準拠していることを、弊社単独で責任をもって宣言します。2014/53/EU。この宣言に関連するものは、必須要件およびその他の関連要件に準拠しています。この製品は、以下の指令、整合規格および規制に準拠しています。無線装置指令 (RED) 2014/53/EU および整合規格：EN 300 330-2、EN 60950-1

騒音放射制御システムの規制

アメリカおよびカナダのみ

騒音コントロールシステムを改ざんすることは禁止されています。

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

これらの行動の中で、改ざんとみなされるものは、以下のリストに掲載されている行動です。

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. インテークシステムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の可動部品、またはエキゾーストまたはインテークシステムの部品を、メーカーの指定品以外のものと交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。

EC適合宣言は『オペレーターズガイド』のこのバージョンには含まれていません。

車体に付属の印刷バージョンを参照してください。

仕様

| モデル | | 903 |
|-------------|-------------------------|---|
| エンジン | | |
| エンジンタイプ | | ROTAX® 903 ターボ R 4 ストローク、デュアルオーバーヘッドカムシャフト (DOHC)、水冷 |
| 気筒数 | | 3 |
| バルブ数 | | 12バルブ (調整不要-油圧タペット) |
| ボア | | 74 mm |
| ストローク | | 69.7 mm |
| 排気量 | | 899 cm ³ |
| エキゾーストシステム | | 米国農務省森林局承認のスクリーンタイプ |
| エンジンエアフィルター | | 合成紙 |
| 潤滑システム | | |
| タイプ | | ドライサンプ、交換式オイルフィルター |
| オイルフィルター | | BRP Rotax® ペーパータイプ、交換式 |
| エンジンオイル | 容量 (フィルターを付けた状態でのオイル交換) | 3.5 L |
| | 推奨オイル | 夏季用としてXPS 4 ストローク合成ブレンドオイル (P/N 293 600 121)を使用してください。 全シーズン用としてXPS 4 ストローク合成オイル (P/N 293 600 112)を使用してください。 入手できない場合は、API サービスクラス SJ、SL、SM または SN の要件を満足する 5W 40 エンジンオイルを使用してください。 |

| モデル | | 903 |
|----------------|-----------|--|
| 冷却水 | タイプ | エチルグリコール／水混合物（クーラント 50%、水 50%）。 ロングライフ不凍液 (P/N 219 702 685) または (P/N 619 590 204) (フィンランド、ノルウェーおよびスウェーデン)、もしくはアルミエンジン専用設計された冷却水を使用してください。 |
| | 容量 | 4.8 L |
| CVT トランスミッション | | |
| タイプ | | クイックレスポンスシステム (QRS) CVT (連続可変トランスミッション) |
| 締結回転数 | | 1,800 rpm |
| ギアボックス | | |
| タイプ | | デュアルレンジ (ハイ、ロー)、パーキング、ニュートラル、リバースあり |
| ギアボックスオイル | 容量 | 400 ml |
| | 推奨オイル | XPS 合成ギアオイル (P/N 293 600 140) または 75W 140 API GL-5 |
| 電装システム | | |
| マグネトージェネレータ出力 | | 625 W @ 6,000 rpm |
| イグニッションシステムタイプ | | IDI (誘導放電点火) |
| イグニッションタイミング | | 調整不可 |
| スパークプラグ | 数量 | 3 |
| | メーカーおよび型式 | NGK 97225 Laser iridium または同等品 (ヒートシンクペースト P12 (P/N 420 897 186) を塗布) |
| | ギャップ | 0.8 mm ± 0.1 mm |

| モデル | | 903 |
|----------------|------------|-------------------|
| エンジン回転リミッターの設定 | | 8,300 rpm |
| バッテリー | タイプ | ドライバッテリータイプ |
| | 電圧 | 12 ボルト |
| | 公称定格 | 18 A・h |
| | パワースターター出力 | 1.34 kW |
| ヘッドライト | | 2 x 20W LED |
| シグネチャーライト | | 2 x 2W LED |
| テールライト | | 2 x 3W LED |
| ヒューズ | | 「ヒューズ」のサブセクションを参照 |

| モデル | | 903 |
|-------------------------|-----|--|
| 燃料システム | | |
| 燃料供給 | タイプ | 電子制御式燃料噴射 (EFI)、 iTC 装備 |
| スロットルボディ | | 54 mm、ETA 装備 |
| 燃料ポンプ | タイプ | 電動 (燃料タンク内) |
| アイドリング回転 | | 1350 ± 50 rpm (ECOモード) 1500 ± 50 rpm (スポーツモード) |
| 燃料 | | 無鉛プレミアムガソリン 91 Pump Posted AKI (95 RON) - 「燃料に関する要件」のサブセクションを参照 |
| 燃料タンク容量 | | ± 40 L |
| 燃料低下インジケーターが点灯したときの燃料残量 | | ± 12 L |
| 駆動システム | | |
| 駆動システムのタイプ | | 選択式 2WD/4WD |
| フロントディファレンシャルオイル | 容量 | 400 ml |
| | タイプ | XPS 合成ギアオイル (75W 90 API GL-5) (P/N 293 600 043) または合成オイル 75W 90 API GL5 |
| フロントドライブ | | スパイラルギア Visco-lok + オートロックフロントディファレンシャル |
| フロントドライブレシオ | | 3.6:1 |
| リアドライブ | | アングルドライブ/スパイラルベベルギア |
| リアドライブレシオ | | 3.43:1 |
| CV ジョイントグリース | | CV ジョイントグリース (P/N 293 550 062) |
| プロペラシャフトグリース | | プロペラシャフトグリース (P/N 293 550 063) |

| モデル | 903 |
|--------------------|-------------------------------------|
| ステアリング | |
| ステアリングホイール | 調整式チルトステアリング |
| 回転半径 | 528 cm |
| トータルトーフロント（車両接地状態） | $0.6^{\circ} \pm 0.4^{\circ}$ |
| トータルトーリア（車両接地状態） | $0^{\circ} \pm 0.2^{\circ}$ 調整不可 |

| モデル | | 903 | |
|-----------------|--------------------------------|--|--|
| フロントサスペンション | | | |
| サスペンションタイプ | | スタビライザー付きのダブルサスペンションアーム | |
| プリロード調整タイプ | | ねじ式 | |
| サスペンショントラベル | Maverick X3 Maverick X3 Xds | | 508 mm |
| | Maverick X3 Xrs | | 559 mm |
| ショックアブソーバー | 数量 | 2 | |
| | タイプ | Maverick X3 | ピギーバックリザーバー付き HPG ショック。QS3+ 圧縮およびプリロード調整 |
| | | Maverick X3 Xds | ピギーバックリザーバー付き HPG ショック、およびデュアルスピード圧縮およびリバウンド調整 |
| Maverick X3 Xrs | | ピギーバックリザーバーおよびバイパス付き HPG ショック、デュアルスピード圧縮およびリバウンド調整 | |
| リアサスペンション | | | |
| サスペンションタイプ | | 独立式トーショナルトレーニングサスペンションアーム、外部スタビライザー付き | |
| プリロード調整タイプ | | ねじ式 | |
| サスペンショントラベル | Maverick X3 Maverick X3 Xds | | 508 mm |
| | Maverick X3 Xrs | | 609.6 mm |

| モデル | | 903 | |
|------------|-----------------|---|--|
| ショックアブソーバー | 数量 | 2 | |
| | タイプ | Maverick X3 | ピギーバックリザーバー付き HPGショック。QS3+ 圧縮およびプリロード調整、ボトムアウトコントロール付き |
| | | Maverick X3 Xds | ピギーバックリザーバー付き HPGショック、およびデュアルスピード圧縮およびリバウンド調整、ボトムアウトコントロール |
| | Maverick X3 Xrs | リモートリザーバー付き HPGショック、およびデュアルスピード圧縮およびリバウンド調整 | |

| モデル | | 903 | |
|---------------|------|--|--------------------------|
| ブレーキ | | | |
| フロントブレーキ | タイプ | デュアル262mmベンチレーテッドディスクブレーキ、油圧ツインピストンキャリパー付き (32 mm) | |
| リアブレーキ | タイプ | デュアル248mmベンチレーテッドディスクブレーキ、油圧ツインピストンキャリパー付き (28 mm) | |
| ブレーキオイル | 容量 | 310 ml | |
| | タイプ | DOT 4 | |
| キャリパー | | フローティング | |
| ブレーキパッド材質 | フロント | 高性能焼結材 | |
| | リア | 高性能焼結材 | |
| 最小ブレーキディスク厚 | | 0.5 mm | |
| 最小ブレーキパッド厚 | フロント | 4 mm | |
| | リア | 4 mm | |
| ブレーキディスクの最大歪み | | 0.2 mm | |
| タイヤ | | | |
| 空気圧 | フロント | Maverick X3 | 最大：159 kPa 最小：152 kPa |
| | | Maverick X3 Xds | 最大：138 kPa 最小：131 kPa |
| | | Maverick X3 Xrs | 最大：124 kPa 最小：117 kPa |
| | リア | Maverick X3 | 最大：207 kPa 最小：152 kPa |
| | | Maverick X3 Xds | 最大：186 kPa 最小：138 kPa |
| | | Maverick X3 Xrs | 最大：214 kPa 最小：165 kPa |
| 最小タイヤ溝深さ | | 3 mm | |

| モデル | | | 903 |
|------------|---------------------------------|--------------------------------------|---------------------------|
| タイヤ (続き) | | | |
| タイヤサイズ | フロント | Maverick X3 | 28 x 9 x 14 (in) |
| | | Maverick X3 X ds | 29 x 9 x 14 (in) |
| | | Maverick X3 X rs | 30 x 10 x 14 (in) |
| | リア | Maverick X3 | 28 x 11 x 14 (in) |
| | | Maverick X3 X ds | 29 x 11 x 14 (in) |
| | | Maverick X3 X rs | 30 x 10 x 14 (in) |
| ホイール | | | |
| タイプ | | Maverick X3 | アルミダイカストホイール |
| | | Maverick X3 X ds Maverick X3 X rs | アルミダイカストビードロックホイール |
| リムサイズ | フロント | | 14 x 7 (in) |
| | リア | Maverick X3 Maverick X3 X ds | 14 x 8 (in) |
| | | Maverick X3 X rs | 14 x 7 (in) |
| ホイールナットトルク | | | 120 N・m ± 10 N・m |
| シャーシ | | | |
| ケージタイプ | | | 直径 47 mm、高強度鋼、ROPS承認済みケージ |
| 寸法 | | | |
| 全長 | Maverick X3 Maverick X3 X ds | | 332.7 cm |
| | Maverick X3 X rs | | 335.3 cm |

| モデル | | 903 |
|---------|------------------------------------|----------|
| 全幅 | Maverick X3 Maverick X3 X ds | 162.5 cm |
| | Maverick X3 X rs | 182.9 cm |
| 全長 | Maverick X3 Maverick X3 X ds | 168 cm |
| | Maverick X3 X rs | 170.2 cm |
| ホイールベース | | 259 cm |

| モデル | | 903 | |
|---|------|------------------------------------|----------|
| 寸法 (続き) | | | |
| 輪距 | フロント | Maverick X3 Maverick X3 X ds | 136 cm |
| | | Maverick X3 X rs | 156.3 cm |
| | リア | Maverick X3 Maverick X3 X ds | 133.1 cm |
| | | Maverick X3 X rs | 153.4 cm |
| 地上高 | | Maverick X3 Maverick X3 X ds | 35.6 cm |
| | | Maverick X3 X rs | 38.1 cm |
| 積載量および重量 | | | |
| 乾燥重量 | | Maverick X3 | 666.9 kg |
| | | Maverick X3 X ds | 675.9 kg |
| | | Maverick X3 X rs | 718.9 kg |
| 重量配分 (フロント/リア) | | 45/55 | |
| カーゴラック容量 | | 90 kg | |
| 許容される車両総積載量 (オペレーター、その他すべての貨物、追加されたアクセサリーを含む) | | 286 kg | |
| 車両総重量 (GVWR) | | Maverick X3 | 982 kg |
| | | Maverick X3 X ds | 991 kg |
| | | Maverick X3 X rs | 1,034 kg |

**このページは
意図的に空白になっています**

トラブルシューティング

トラブルシューティングガイドライン

CVT ベルトが滑る

1. CVT に水が浸入している。
 - 「特殊手順」のサブセクションを参照してください。

トランスミッションポジションディスプレイに「--」が表示される

1. シフトレバーが2つのポジション間にある。
 - シフトレバーを希望する位置に正しく入れてください。
2. シフトレバーが正しく調整されていない。
 - 認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。
3. 電気通信エラー。
 - 認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。

エンジンが回らない

1. D.E.S.S. キーが D.E.S.S. ポストに取り付けられていない。
 - キーをしっかり D.E.S.S. ポストに取り付けてください。
2. シフトレバーがパーキングまたはニュートラルに入っていない。
 - シフトレバーをパーキングまたはニュートラルのいずれかに入れるか、ブレーキペダルを踏み込んでください。
3. ヒューズ切れ。
 - ヒューズを点検してください。
4. バッテリーが弱いまたは接続不良。
 - 充電システムのヒューズを確認してください。
 - クラスタ内の故障メッセージを確認してください。
 - バッテリー接続部と端子の状態を確認してください。
 - 認定 Can-Am ディーラーにバッテリーを点検してもらってください。
5. エンジンスタートボタンの不具合。
 - 認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。
6. スターターソレノイドの不具合。
 - 認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。
7. 多機能ゲージに、D.E.S.S. キーが認識されていないと表示される。
 - D.E.S.S. キーの汚れを除去してください。

エンジンを回しても始動しない

1. エンジンに水が浸入している（スパークプラグを取り外すと濡れている）。
 - 燃料がかぶってエンジンが始動しない場合、ド라운드モードが作動して燃料噴射を防ぎ、クランク中にイグニッションをカットします。次の手順に従ってください：
 - キーを D.E.S.S. ポストに取り付けます。
 - アクセルペダルを完全に踏み込んだままにします。
 - エンジンスタートボタンを押します。
 - エンジンのクランキングが 10 秒間行われます。エンジンスタートボタンを放します。
 - アクセルペダルを放して、再びエンジンのスタート／クランキングを行って始動します。
 - この手順が機能しない場合：**
 - スパークプラグを取り外します（工具は工具キットに付属）。「メンテナンス手順」のセクションの「スパークプラグ」を参照してください。
 - エンジンのクランキングを数回行ってください。
 - 可能であれば新品のスパークプラグを取り付けるか、スパークプラグを乾かします。
 - エンジンが始動しない場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am ディーラー、修理工場、または担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
2. エンジンに燃料が供給されない（スパークプラグを取り外すと乾燥している）。
 - 燃料タンクレベルを確認してください。
 - 燃料ポンプのヒューズを確認してください。
 - 燃料ポンプのプレフィルタールが詰まっているか、燃料ポンプが故障しています。メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am ディーラー、修理工場、担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
3. スパークプラグ／イグニッション（点火しない）。
 - イグニッションヒューズを確認してください。
 - スパークプラグを取り外して、イグニッションコイルに再び接続してください。
 - スパークプラグをエンジンにアースして、スパークプラグ穴から離してエンジンを始動します。火花が見えない場合は、スパークプラグ穴を交換してください。
 - 問題が解消されない場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am ディーラー、修理工場または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。

エンジンが加速しないまたは出力が低い

1. シートベルトがバックルに正しく掛かっていない。クラスターのメッセージを確認する。
 - シートベルトを締めてください。
2. スパークプラグが汚れているか損傷している。
 - スパークプラグを交換してください。
3. エンジンエアフィルターが詰まっているか汚れている。

- エアフィルターを確認し、必要に応じて交換してください。
 - エンジンエアフィルターハウジングに堆積物がないか確認する。
4. CVT に水が混入
- CVT から水を排出してください。「特殊手順」のサブセクションを参照してください。
5. CVT が汚れているか摩耗している。
- 認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。
6. 燃料不足
- 燃料ポンププレフィルターが汚れているか、詰まっています。メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am ディーラー、修理工場、担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
7. エンジンがリンプホームモードになっている。
- 多機能ゲージディスプレイのメッセージを確認します。
 - 多機能ゲージの「CHECKENGINE」インジケーターランプが点灯し、ディスプレイに「LIMP HOME」と表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am ディーラー、修理工場、または担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。

エンジンのオーバーヒート

1. 冷却システムの冷却水レベルが低い。
- 冷却水レベルを点検し、充填します。「メンテナンス手順」を参照してください。メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am ディーラー、修理工場、担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
2. 冷却ファンが作動していない。
- 冷却ファンが固着していないこと、および正常に動作していることを確認します。
 - ファンのヒューズを確認してください。「メンテナンス手順」のサブセクションの「ヒューズ」を参照してください。
3. ラジエーターフィンが汚れている。
- ラジエーターフィンを確認し、清掃します。「メンテナンス手順」のサブセクションを参照してください。

エンジンの失火

1. スパークプラグの汚れ／損傷／摩耗。
- 必要に応じてスパークプラグを交換してください。
2. 燃料に水が混入。
- 燃料システムの抜き取りを行い、新品の燃料を充填します。

回転数は上昇するが、車両が動かない

1. CVT に水が混入している。
- CVT から水を排出してください。「特殊手順」のサブセクションを参照してください。
2. CVT が汚れているか摩耗している、またはベルトの損傷。
- 認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。

アクセルペダル入力に対する応答が一部しかない、または全くない（エンジンが作動し PPS FAULT のメッセージが表示されているか確認）

1. アクセルペダルセンサーの一部故障（PPS）。
 - オーバーライドスイッチを使用して、アクセルペダルの正常動作を回復させてください。認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。
2. アクセルペダルセンサー全体の故障（PPS）。
 - 車両を動かすために、オーバーライドスイッチを使用してアクセルペダルを回避してください。認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。

多機能ゲージのメッセージ

エンジンの状態が異常になると、下記のメッセージとパイロットランプが一緒に作動します。

| メッセージ | 説明 |
|---|--|
| D.E.S.S. KEY NOT RECOGNIZED (D.E.S.S. キーが認識されていない) | D.E.S.S. キーの汚れを取り除く必要があります。 |
| BAD KEY (不正なキー) | 間違ったイグニッションキー または D.E.S.S. キーを使用したことを示します。この車両の正しいキーを使用してください。 |
| CHECK ENGINE (エンジンの点検) | 現在発生しているまたは以前発生した故障に注意してください。 エンジンの機能は制限されません。 |
| LIMPHOME (リンプホーム) | 直ちに診断が必要な重大な故障です。 エンジンの機能が制限され、エンジンの動きが変化します。 |
| ECM CRC ERROR (ECM CRC エラー) | ECM からのエラーメッセージです。 |
| TPS FAULT (TPS の不具合) | スロットルボディの不具合。通常はLIMPHOMEのメッセージが続きます。 |
| BRAKE SWITCH FAULT (ブレーキスイッチの不具合) | ブレーキ信号に不具合があります。 |
| ECM NOT RECOGNIZED (ECMが認識されない) | ゲージがECMを特定できないときに表示されるメッセージです。 |
| CHECK DPS (DPS の点検) | エンジンのパイロットランプの点灯を確認してください。 DPS (ダイナミックパワーステアリング) が正常に機能していないことを示しています。認定 Can-Am ディーラーにお問い合わせください。 |
| PPS FAULT (PPS の不具合) | PPS の一方または両方のセンサーに不具合がある、不規則なまたは範囲外の値を示す、または 2 つのセンサー間の比が正常でないときに、メッセージが表示され、CHECK ENGINE が点灯します。 |
| MANUAL LIMP HOME (マニュアルリンプホーム) | PPS リンプホームが起動すると、このメッセージが表示されます。 |

| | |
|--|--|
| <p>FUEL SENDER RANGE PERFORMANCE (燃料センサーレ ンジパフォーマンス)</p> | <p>燃料センサーの値が範囲外であるとき、多機能ゲージ（アナログ/デジタル）がこれを検出してメッセージを表示します。</p> |
|--|--|

保証

BRP 限定保証（米国およびカナダ）：2017 CAN-AM® SSV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」) * は、米国およびカナダの認定 Can-Am SSV ディーラー (以下に定義) によって販売された 2017 年型の Can-Am サイドバイサイドビークル (以下「SSV」) について、指定の期間の間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1) SSV がいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合 (前の所有者による競技活動も含む)、または、(2) SSV が、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリーを保証しません。該当する部品およびアクセサリーの限定保証に関する文章を参照してください。

2) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない、明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらは所有者には適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRP あるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容は BRP に対して強制できるものではありません。BRP はこの限定保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更しないことに同意します。

3) 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

以下は保証対象ではありません:

- 通常の摩耗および消耗品
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- オペレーターズガイドに示されている適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、もしくは BRP によって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損害、または整備を行う認定 Can-Am SSV ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損害
- 誤用、乱用、過失、または Can-Am SSV オペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損害
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）
- エLEMENTの錆、腐食または露出から生じた損害
- 水や雪が入ったことによる損害
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それら のみに限定されないその種の損害

4) 保証対象期間

この限定的保証は、(1) 最初に購入した消費者に納入された日、または (2) その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次に示す期間有効です。

- 個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間。排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された「米国EPA排出ガス関連保証」も参照してください。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 2017年型 Can-Am SSV は、その販売が行われた国において Can-Am SSV の販売を許可されている Can-Am SSV ディーラー（「Can-Am SSV ディーラー」）から、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRP が指定した納品前点検を完了し、納品前点検チェックリストを作成し、購入者が署名していること。
- 2017年型 Can-Am SSV が、認定 Can-Am SSV ディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2017年型 Can-Am SSV が、購入者が居住する国で購入されていること。
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていること。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を付与しません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に SSV の使用を中断しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から3日以内に、整備を行う BRP ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものを BRP ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

7) BRPが行うこと

この保証に基づく BRP の義務は、本保証に記載される条件の下で、保証期間中に、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、BRP 認定ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと新品の純正 Can-Am SSV 部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRP の責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対する SSV 販売の取り消しの理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、国、州、地域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、所有者は地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) サプライヤーによる追加保証

BRP は、特定の 2017 年型 Can-Am SSV に GPS レシーバーを標準装備として提供することがあります。この GPS レシーバーは、BRP の限定保証ポリシーの対象となっています。BRP の限定保証より期間が長い追加保証の範囲 (GPS レシーバーの「サプライヤー」が提供している場合) については、ディーラーまたは消費者が GPS レシーバーの「サプライヤー」と直接連絡を取り合うものとします。

9) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRP または認定 Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラーが、元の所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

10) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは経営者とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入して BRP に連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

* 米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc. が行います。

© 2016 Bombardier Recreational Products Inc. 無断複写・転載を禁じます。

® Bombardier Recreational Products Inc. またはその関連会社の登録商標です。

米国 EPA 排出ガス関連保証

Bombardier Recreational Products Inc (以下「BRP」) *は、最終購入者および各二次購入者に対して、排気ガス制御システムおよび蒸発ガス制御システムのすべての部品を含むこの新しいエンジンは、下記の2つの事項を満たしていることを保証します。

1. 最終購入者への販売時に、40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件に準拠するように設計、組み立て、装備されています。
2. 40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件への準拠を妨げるような部材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRP は表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

いずれの排出ガス関連保証の請求でも、BRP は、排出ガス関連部品の診断と修理を認定 Can-Am ディーラーに限定して行います。ただし、以下のリストの第 2 項目により要求される緊急修理を除きます。

認証メーカーとして、BRP は下記事項を理由として排出ガス関連保証の請求を拒否することはありません。

1. BRP または BRP 認定工場が行ったメンテナンスまたはその他のサービス。
2. オペレーターがなるべく早くエンジン/機器を適切な構成を復元するために行った、BRP に起因する危険で緊急な状態を矯正するためのエンジン/設備の修理。
3. 補償請求とは無関係な、オペレーターによる処置の有無。
4. BRP が指定する回数よりも頻繁に行われたメンテナンス。
5. BRP の過失または責任であることのすべて。
6. 機器を移動させる場所で一般に入手可能な燃料を使用すること (ただし、BRP のメンテナンス注意事項にその燃料が機器の排出ガス制御システムを損傷すると記載され、オペレーターが適切な燃料を簡単に入手できる場合を除く)。メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

排出ガス関連の保証期間

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

| | 時間: | 月数 | KM |
|----------------|-----|----|-------|
| 排出ガス関連コンポーネント: | 500 | 30 | 5,000 |
| 蒸発ガス関連コンポーネント | 非適用 | 24 | 非適用 |

保証が適用されるコンポーネント

排出ガス関連の保証は、以下に挙げるコンポーネントを含め、故障した場合にエンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させるコンポーネントのすべてを対象とします。

1. 排出ガスについては、以下のシステムに関連するエンジン部品を含む排出ガス関連のコンポーネント
 - 吸気システム
 - 燃料システム
 - イグニッションシステム
 - 排気ガス再循環システム

2. 以下の部品も排出ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
 - 後処理機器
 - クランクケースベンチレーションバルブ
 - センサー
 - 電子制御ユニット
3. 以下の部品は蒸発ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
 - 燃料タンク
 - 燃料キャップ
 - 燃料管路
 - 燃料管路フィッティング
 - クランプ*
 - 圧力安全弁*
 - 制御バルブ*
 - 制御ソレノイド*
 - 電子制御*
 - 真空制御ダイヤフラム*
 - 制御ケーブル*
 - コントロールリンケージ*
 - パージバルブ
 - 蒸気ホース
 - 液体／蒸気セパレータ
 - カーボンキャニスター
 - キャニスターのマウンティングブラケット
 - キャブレターパージポートコネクター
4. 排出ガス関連のコンポーネントには、排出ガスを減少させることだけが目的の他の部品や、故障してもエンジン／機器の性能を大きく低下させずに排出ガスを増加させる部品も含まれています。

適用範囲制限

認証メーカーとして、BRPは所有者またはオペレーターの不適切なメンテナンスや使用、メーカーには一切責任がない事故、または天災や不可抗力によって生じた故障の排出ガス関連の保証請求を拒否する場合があります。例えば、オペレーターによるエンジン／機器の酷使、またはオペレーターによる設計目的以外の使用方法が直接の原因で発生し、メーカーは全く原因に関与していない故障に関しては、排出ガス関連の保証請求は付与されません。

*蒸発ガス制御システム関連

* 米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc. が行います。

BRP 国際限定保証：2017 CAN-AM® SSV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)* は、米国、カナダ、欧州経済地域（「EEA」）の国々（欧州連合にノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される）、独立国家共同体（ウクライナ、トルクメニスタンを含む）の加盟国（「CIS」）、およびトルコ以外の地域に Can-Am SSV を供給するために BRP 認定ディストリビューター／ディーラー（以下「Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラー」）によって販売された 2017 年型 Can-Am SSV について、指定された期間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリーを保証しません。該当する部品およびアクセサリーの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合、この限定保証は無効になります：(1) SSV がいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合（前の所有者による競技活動も含む）、または、(2) SSV が、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それが所有者にも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。（オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項を参照してください）。

Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラーとその他の人物とを問わず、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表明、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3) 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の摩耗および消耗品
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整（部品代および工賃）
- オペレーターズガイドに示されている過失、または適正なメンテナンス／保管を怠ったために発生した損害
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、もしくは BRP によって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、または整備を行う認定 Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷
- 誤用、乱用、過失、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷

- 水や雪が入ったことによる損傷
- 二次的もしくは間接的な損害、または牽引、輸送費、保管、電話、賃貸、タクシー、不便、保険適用、ローンの支払い、時間の損失、収入の損失、もしくは整備作業のための不稼働による時間の損失を含むがそれらに限定されない損害

4) 保証対象期間

この保証は、(1) 最初の小売消費者に納品された日と、(2) その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

- 個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

オーストラリアで販売された製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争消費者法) によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重大故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重大故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます。

- 2017年型 Can-Am SSV は、その販売が行われた国において Can-Am SSV の販売を許可されている Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラーから、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成していること。
- 製品が、認定 Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2017年型 Can-Am SSV が、購入者が居住する国または連邦国で購入されていること。
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていること。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を付与しません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に SSV の使用を中断しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から2日以内に、整備を行う Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディストリビューター/ディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものを Can-Am ディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立っ

て修理／作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRP が行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づく BRP の義務は、本書に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定 Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正 Can-Am SSV 部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRP の責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対する Can-Am SSV の販売の取り消しの理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、国、州、地域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、所有者は地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRP または認定 Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラーが、元の所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、BRP 認定ディストリビューター／ディーラーのサービスマネージャーまたは経営者とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.com にあるお客様連絡先フォームに記入して BRP に連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

* この限定保証が適用される地域では、製品の流通とサービスは Bombardier Recreational Products Inc. または子会社が行います。

© 2016 Bombardier Recreational Products Inc. 無断複写・転載を禁じます。

® Bombardier Recreational Products Inc. またはその関連会社の登録商標です。

欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向け BRP 限定保証：2017 CAN-AM® SSV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)* は、欧州経済地域（「EEA」）の加盟国（欧州連合にノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される）、独立国家共同体（ウクライナ、トルクメニスタンを含む）の加盟国（「CIS」）、およびトルコに Can-Am SSV を供給するために BRP 認定ディストリビューター/ディーラー（以下「Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラー」）によって販売された 2017 年型 Can-Am SSV について、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリーを保証しません。該当する部品およびアクセサリーの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合、この限定保証は無効になります：（1）SSV がいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合（前の所有者による競技活動も含む）、または、（2）SSV が、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それが所有者にも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラーとその他の人物とを問わず、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表明、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3) 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の摩耗および消耗品
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整（部品代および工賃）
- オペレーターズガイドに示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、もしくは BRP によって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、または整備を行う認定 Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷
- 誤用、乱用、過失、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害
- 事故、水没、火災、雪もしくは水の吸入、盗難、破壊行為またはあらゆる天変地異の結果として生じた損傷
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）

- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷
- 二次的もしくは間接的な損害、または牽引、輸送費、保管、電話、賃貸、タクシー、不便、保険適用、ローンの支払い、時間の損失、収入の損失、もしくは整備作業のための不稼働による時間の損失を含むがそれらに限定されない損害

4) 保証対象期間

この保証は、(1) 最初の小売消費者に納品された日と、(2) その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

- 個人使用の場合は、連続する 24 ヶ月間。
- 業務使用およびレンタル用途の場合は、連続する6ヶ月間。

保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、ユーザーの国で適用される関連する法令に従います。

5) 保証の適用を受けるときの条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます。

- 2017 年型 Can-Am SSV は、その販売が行われた国において Can-Am SSV の販売を許可されている Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラーから、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成していること。
- 製品が、認定 Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2017 年型 Can-Am SSV が、購入者が居住する国または連邦国で購入されていること。
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていること。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を付与しません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるとしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に SSV の使用を中断しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から 2 ヶ月以内に、整備を行う Can-Am SSV ディストリビューター／ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディストリビューター／ディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものを Can-Am ディストリビューター／ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理／作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

通知期間はユーザーの国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRP が行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づく BRP の義務は、本書に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定 Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正 Can-Am SSV 部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRP の責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対する Can-Am SSV の販売の取り消しの理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

EEA 以外の地域で整備が必要である場合は、所有者は、輸送、保険、税金、ライセンス料、輸入税、ならびに、国、州、地域およびそれらの各官庁が課す手数料など、あらゆるその他の金融費用を含むがそれらに限定されない、現地の地域の慣行や状況によるすべての追加料金について責任を負います。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この保証も譲渡され、BRP または認定 Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラーが、元の所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Can-Am SSV ディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について BRP 認定ディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは経営者とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.com にあるお客様連絡先フォームに記入して BRP に連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

* EEA では、製品の流通とサービスは BRP European Distribution S.A. および BRP のその他の関連会社または子会社によって行われます。

© 2016 Bombardier Recreational Products Inc. 無断複写・転載を禁じます。

® Bombardier Recreational Products Inc. またはその関連会社の登録商標です。

フランスのみに適用する追加利用規約

次の諸条項はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約に適合する製品を納品し、納品時に認められる瑕疵の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 同等品の通常の使用に適合していること。さらに、該当する場合は、
 - 製品が販売者の説明と一致し、サンプルまたは模型を使用して購入者に説明された品質を有していること
 - 製品が、広告やラベルを含む、販売者、見本の製造業者の公的発表により購入者が合理的に期待する品質を有していること、または
2. 製品が、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること

不適合に関する措置は、納品から 2 年間と定められています。販売者は、製品に購入者の使用目的を満足できなくなるほどの潜在的な欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていればより安価で購入していた可能性がある場合、その潜在的欠陥に対する保証の責任を負います。そのような潜在的欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から 2 年以内に購入者によって行われる必要があります。

**このページは
意図的に空白になっています**

顧客情報

個人情報

お客様の連絡先情報は、安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。また、BRP およびその子会社は、顧客リストを使用して BRP および関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

お客様のデータに関するご相談、訂正またはダイレクトマーケティング用のアドレスリストからの削除については、BRP までご連絡ください。

Eメール： **privacyofficer@brp.com**

郵便： BRP
Senior Legal Counsel-Privacy Officer
726 St-Joseph
Valcourt, Quebec
Canada,
J0E 2L0

お客様窓口

www.brp.com

北米

565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

Sturtevant, Wisconsin, U.S.A.
10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177
U.S.A.

Sa De Cv, Av. Ferrocarril 202
Parque Ind. Querétaro, Lote2-B
76220
Santa Rosa Jáuregui, Qro., Mexico

ヨーロッパ

Skaldenstraat 125
B-9042 Gent
Belgium

Itterpark 11
D-40724 Hilden
Germany

ARTEPARC Bâtiment B
Route de la côte d'Azur, Le Canet
13590 Meyreuil
France

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Trondheim
Norway

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

Formvägen 16
S-906 21 Umeå
Sweden

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne
Switzerland

オセアニア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019
Australia

南米

Rua James Clerck Maxwell, 230
TechnoPark Campinas SP 13069-380 Brazil

アジア

15/F Parale Mitsui Building,8
Higashida-Cho, Kawasaki-ku
Kawasaki 210-0005
Japan

Room Dubai, level 12, Platinum Tower
233 Tai Cang Road
Xintiandi, Lu Wan District
Shanghai 200020
PR China

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法で BRP にご連絡ください。

- 認定 Can-Am デイラーに連絡する。
- **北米のみ**：1 888 272-9222に電話する。
- このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている BRP の住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送する。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRP が必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後も、BRP に連絡することが重要です。BRP に連絡することは所有者の責任です。

盗難に遭った場合：車両が盗難にあった場合は、BRP または認定 Can-Am デイラーにご連絡ください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難が起きた日付をお知らせください。

**このページは
意図的に空白になっています**

✂

住所変更 所有権の移転

スポーツボート識別番号

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

モデル番号 車両登録番号(V.I.N.)

旧住所： _____

名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

国 _____ 電話 _____

新住所： _____

名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

国 _____ 電話 _____

電子メール _____

V00A2F

✂

住所変更 所有権の移転

スポーツボート識別番号

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

モデル番号 車両登録番号(V.I.N.)

旧住所： _____

名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

国 _____ 電話 _____

新住所： _____

名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

国 _____ 電話 _____

電子メール _____

V00A2F

**このページは
意図的に空白になっています**

住所変更 所有権の移転

スポーツボート識別番号

モデル番号

車両登録番号(V.I.N.)

旧住所： _____
名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

国 _____ 電話 _____

新住所： _____
名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

国 _____ 電話 _____

電子メール _____

V00A2F

住所変更 所有権の移転

スポーツボート識別番号

モデル番号

車両登録番号(V.I.N.)

旧住所： _____
名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

国 _____ 電話 _____

新住所： _____
名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

国 _____ 電話 _____

電子メール _____

V00A2F

**このページは
意図的に空白になっています**

警告

重傷や死亡事故のリスクを減らすため、本オペレーターズガイドと警告ラベルを読み、安全に関するビデオをご覧ください。

次の準備を行ってください

- シートベルトを締め、ネットとドアが所定位置にしっかり掛かっていることを確認してください。
- 認定されているヘルメットおよび保護具を着用してください。
- どのオペレーターも背中をシートに当て、足が床またはフットレストに付き、手がステアリングホイールまたはハンドグリップを握った状態で着席できなければなりません。完全に車の内側に入るようにしてください。

運転には責任が伴います

- 制御不能に陥ったり横転したりするような状況避けてください。
- 急な操作、横方向へのスライド、横滑りまたはスリップを避け、ドーナツターンは絶対にしないでください。
- 転回時は、たとえ停止した状態からであっても急加速しないでください。
- 速度を落としてから転回してください。
- 登坂、粗い起伏、わだち、トランクシオンなどの変化に備えてください。
- 舗装面は避けてください。
- 斜面の横断（スロープを横切る走行）は避けてください。

資格を持ち、責任ある行動が必要です。

- 軽はずみで無謀な運転はしないでください。
- ドライバーは、18才以上で運転免許証を所有していなければなりません。
- 薬を服用したりアルコール類を摂取した場合は運転しないでください。
- 公道で運転しないでください（オフハイウェイ車の通行が認められている場合を除く）。乗用車やトラックと衝突する恐れがあります。
- 車両の定員を超えないようにしてください。

219 001 884_JA

オペレーターズガイド、MAVERICK X3 シリーズ / 日本語・日本

U/M.P.C.